

官報

號外 昭和十五年三月十五日

第七十五回衆議院議事速記録第二十六號

昭和十五年三月十四日(木曜日)

午後一時十一分開議

議事日程 第二十五號

昭和十五年三月十四日

午後一時開議

第一 農產物検査法案(政府提出)

第一讀會

第二 陸軍作業會計法、陸軍航空工廠

資金特別會計法及海軍工廠資金會計

法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第三 日本輸出農產物株式會社法案

(政府提出) 第一讀會

第四 農會法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第五 癩癧防法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第六 木炭需給調節特別會計法案(政府提出)

第一讀會

第七 日本瓦斯用木炭株式會社法案

(政府提出) 第一讀會

第八 金華山軌道株式會社及朝倉軌道

株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對ス

ル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案

(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲
茲ニ掲載ス)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別
會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例

ニ關スル法律案

日本輸出農產物株式會社法案

農會法中改正法律案

(以上三月十二日提出)

癩癧防法中改正法律案

木炭需給調節特別會計法案

日本瓦斯用木炭株式會社法案

(以上三月十三日提出)

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

皇紀二千六百年記念一億圓懸賞發明募集

ニ關スル決議案

提出者

星 一君

倉元 要一君

(以上三月十二日提出)

治療師法案

提出者

長野 綱良君

世耕 弘一君

原 夫次郎君

河上 哲太君

中野 邦一君

守屋 榮夫君

野口 喜一君

濱野 徹太郎君

山道 襄一君

朴 春 琴君

木原 七郎君 石坂 繁君
西岡 竹次郎君

(以上三月十三日提出)

一 去十二日提出者ニ於テ撤回シタル質問主

意書左ノ如シ

國民融和ニ關スル質問主意書

提出者

一 去十二日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常

任委員左ノ如シ

第三部選出豫算委員 平川松太郎君

一 去十二日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如

シ

第三部選出

豫算委員 松浦 伊平君(安藤正純君

補關)

第三部選出

豫算委員 平川松太郎君(山道襄一君

補關)

一 去十二日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ

如シ

國民優生法案(政府提出)委員

八木 逸郎君

伊藤東一郎君

中崎 俊秀君

西田 郁平君

泉 國三郎君

曾和 義式君

世耕 弘一君

杉山元治郎君

三浦 虎雄君

一 去十二日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如

シ

日本肥料株式會社法案(政府提出)委員

辭任小山 亮君

辭任岩瀨 亮君

補關吉田 賢一君

村松 久義君

青木 亮貫君

信太儀右衛門君

野方 次郎君

山川頼三郎君

中野 寅吉君

伊東 岩男君

田中 養達君

太田 正孝君

一 去十二日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如

シ

日本肥料株式會社法案(政府提出)委員

辭任小山 亮君

辭任岩瀨 亮君

補關吉田 賢一君

所得稅法改正法律案(政府提出)外三十件
委員

辭任深澤 吉平君 補關渡邊玉三郎君

昭和十二年法律第九十號中改正法律案

(米穀ノ應急措置ニ關スル件)(政府提出)

委員

辭任吉田 賢一君 補關小野 謙一君

一 昨十三日委員長及理事互選ノ結果左ノ如

シ

國民優生法案(政府提出)委員

委員長 八木 逸郎君

理事

村松 久義君

泉 國三郎君

一 昨十三日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常

任委員左ノ如シ

第六部選出豫算委員 板野 友造君

一 昨十三日常任委員補關選舉ノ結果左ノ如

シ

第三部選出

豫算委員 山道 襄一君(平川松太郎

君補關)

一 昨十三日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如

シ

鑛業法中改正法律案(政府提出)外一件委

員

辭任瀧澤 七郎君 補關松尾 孝之君

辭任坂本宗太郎君 補關朴 春 琴君

○議長(小山松壽君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ

提出致シマス、即チ此ノ際松本治一郎君提

出、國民融和ニ關スル緊急質問ヲ許可セラ

レンコトヲ望ミマス

明治二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス——政府ハ議事日程變更ニ同意セラレマシタ、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、國民融和ニ關スル緊急質問ヲ許可致シマス——
松本治一郎君

國民融和ニ關スル緊急質問(松本治一郎君提出)

(松本治一郎君登壇)

○松本治一郎君 本日ハ畏クモ 明治大帝ガ萬古不易ノ國是タル五箇條ノ御誓文ヲ渙發アラセラレタル記念日デアリマス、此ノ記念スベキ日ニ當リマシテ、國民融和ノ問題ニ關シマシテ質問ノ機會ヲ得マシタコトヲ、私衷心ヨリ感謝致ス者デアリマス、融和問題ニ付キマシテ、先ヅ第一ニ考ヘナケレバナラスコトハ、今次支那事變トノ關聯デアリマス、即チ我國ハ今ヤ肇國ノ大精神タル八紘一字ノ理想ニ基キマシテ、東亞新秩序建設デフ有史以來ノ大事業達成ノ爲、全力ヲ擧ゲテ邁進致シテ居ルノデアリマス、申スマデモナク東亞新秩序ノ眞意義ハ、八紘一字ノ大理想ヲ顯現スル、具體的ナル實踐行動デアリマシテ、天下一家、四海同胞ノ大精神ヲ以テ東亞ヲ建直スコトデアリ、歐米列強ノ植民地ナラザル新東亞ヲ建設スルコトデアリマス(拍手)而シテ是ガ指導ノ役ハ、申スマデモナク我國ノ責任デアリ、其ノ指導精神ト云フモノハ、斷ジテ功利主義デアツテハナリマセス、何處マデモ誠意ヲ以テ、總テノ者ニ處テ得セシメ、總テノ者ノ生命ヲ伸バシシメル所ノモ

ノデナクテハナラナイノデアリマス、萬一ニモ民族ノ異ルガ故ニ、誤レル優越感ヲ以テ之ニ臨ムト云フコトガアリマスカラバ、最モ排スベキコトデアリマス、然ルニ私ノ見聞スル所ニ依リマスルト、往々ニ致シマシテ我ガ國民ノ中ニハ、未ダ島國根性ニ因ハレマシテ、支那人ヲ劣等民族視スル風習ガ存スルノデアリマス、現ニ昨年ノ四月九日、都下ノ各新聞ハ天津市長ノ談ト致シマシテ、「支那カラ歐米ニ留學シタ者ハ、皆ソレハ」ニ留學國ノ親善家トナツテ歸ツテ來ルガ、日本カラ歸ツタ者ハ逆ニ排日家トナツテシマフ」ト、斯様ニ報ジテ居ルノデアリマス、私ハ昨年ノ十一月衆議院代表皇皇慰問團ニ參加致シマシテ、北支方面ニ參ツタノデアリマスルガ、其ノ折機會アル毎ニ私ハ支那人達ニ、日支ハ同種同文ノ民族デハナイカ、日支親善コソガ眞ノ東洋平和ノ最大條件デハナイカト申シマスルト、其ノ人達ハ口ヲ揃ヘマシテ、ソレハ能ク分ツテ居リマス、併シ日本ノ一部ノ人達ハ吾々ヲ蔑視致シマス、ドウカ中國人ヲ人並ニ扱ヒヲシテ欲シト申スノデアリマシタ、此ノ一語コソハ肅トシテ底知レヌ反省ニ我ガ國民ヲ導クモノガアリマス、誤レル優越感ヲ以テ橫暴ヲ通シマスレバ、嫌々ナガラモ屈從シナケレバナリマセス、一方ニ橫暴ガアレバ他方ニ屈從ガアル、橫暴ト屈從トアス所ニ眞ノ協和親善ハアリ得マセス(拍手)即チ東亞新秩序ノ建設ノ基調トナルベキモノハ、道義的民族協和デアリマス(拍手)先ヅ東亞諸民族ノ心ヲ把握セズシテ、事變ノ處理ハ到底出來ルモノデアリマセス(拍手)

然ルニ一たび齟齬ツテ國內ヲ顧ミマス時、斯ウシタ民族協和ノ中樞トナリ、指導的地位ニ立ツベキ我ガ國民ノ間ニ、今尙ホ一部國民ニ對スル謂ハレナキ賤視差別ノ陋習ガ、儼然トシテ存在スルノデアリマス
明治大帝ノ大御心ニ依リマシテ、明治四年八月二十八日、太政官布告第六十一號、所謂解放令ガ發布サレテヨリ茲ニ七十年、今日此ノ議場ニ於キマシテ、此ノ問題ニ關スル論議ヲシナケレバナラナイコトヲ、私ハ國家ノ爲ニ悲シマザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)諸君、戰地ニ於ケル皇軍將兵ガ生命ヲ鴻毛ノ輕キニ比シ、有ユル言語ニ絶スル困苦缺乏ト戰ヒ、一身一家ヲ皇國ニ捧ゲテ居ルコトハ、銃後ノ吾々ガ如何ナル言葉ヲ以テ致シマシテモ、到底盡スコトハ出來ナイノデアリマス、而モ其ノ忠誠ト熱情ハ、總テノ將兵ニ共通シ、一兵タリトモ例外ノナイコトハ國民ノ齊シク確信スル所デアリマス、天皇陛下萬歲ヲ奉唱シツツ、敵彈ニ息絶エテ行ク皇軍將兵ノ前ニハ、鬼神モ哭キ、其ノ嚴肅壯絶ナル感激ヲ現ハス言葉モナイノデアリマス、然ルニ支那事變發生以來、全國各地ニ於テ、或ハ護國ノ英靈ニ對シ、或ハ軍人葬、慰靈祭ヲ繞リ、又ハ出征軍人ニ對スル侮辱問題ガアリ、更ニ砲彈彈雨ノ下、明日ノ生命ヲモ期シ難キ戰場ニ於テスラ、數ヘ切レナイ差別事件ガ、頻々トシテ惹起サレテ居ルノデアリマス、砲彈ヲ恐レズ、鬼神ヲ挫グ勇士達モ、此ノ差別迫害ノ前ニハ、血涙ヲ搾ツテ哭イテ居ルノデアリマス、如何ニ差別ハ受ケマシテモ、勿論誠忠ノ念ニハ變リハアリマスマイガ、侮辱ヲ受ケタ兵士ハ、一體ドンナ氣持ガ致スデアリマセウカ、或ハイタイケナイ童心ヲ傷ケル小學校内ノ差別事件、

或ハ工場鑛山等ノ職場ニ於ケル差別問題、延イテハ就職、住居、結婚ノ自由サヘモ奪ハレテ居ルノデアリマス、私ハ斯ウシタ幾多ノ生々シイ事實ヲ知ツテ居リマス、ソレヲ耳ニスル毎ニ、私ノ血ハ逆流スルノデアリマス(拍手)全國數百萬ノ被差別部落大衆ハ、悲憤ノ淚ニ咽ンデ居ルノデアリマス、而モ是等ノ人達ハ、斯ノ如キ差別迫害ノ嵐ノ中ニモ、尙且ツ前線ニ於テハ拔群ノ勳功ヲ立デ、銃後ニ於テモ亦一般ニ率先致シマシテ、模範的ナ獻身の活動ヲ續ケテ居ルノデアリマス、差別ノ苦ミハ差別ヲ受ケル者ノミガ知ル苦ミデアリマス(拍手)タツタニ言、何氣ナシニ使ハレタ其ノ一言ガ、如何ナル惡罵ニモ、拷問ニモ勝ル苦痛デアリ、迫害デアアルノデアリマス(拍手)今ヤ我國ハ千古未會有ノ時局ニ直面シテ居リマス、今日程切實ニ舉國一致、總親和ノ必要ナ時ハナイノデアリマス、此ノ差別觀念ガ、如何ニ數百萬ノ被差別部落大衆ヲ壓迫シ、之ヲ排斥シ、我國ノ戰時體制ヲ攪亂スル非國民的ナモノデアアルカハ、想像ニ餘リアルモノデアリマス、而シテ被差別部落ヲ侮辱スル觀念ハ、直チニ又支那人々々、朝鮮ノ人々ヲ侮辱シ、壓制スル心デアリマス、斯ル差別觀念コソハ、八紘一字ノ肇國精神ニ悖リ、一君萬民ノ國是ヲ攪亂スル、反國體的存在デアアルコトヲ銘記セネバナリマセス(拍手)斯ウシタ國內ノ融和問題ヲ解決セズシテ、ドウシテ民族協和ガ望マレマセウカ、民族協和ナクシテ、何處ニ眞ノ東亞新秩序ガ得ラレマセウ、私ハ是ニ於テ國內融和問題ノ解決コソガ、何ヨリ東亞新秩序建設ヘノ先決問題ナリト絶叫セザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)而シテ、彼ノ徳川幕府ノ壓政下ニ

於テ、階級政策ノ犧牲トサレテ來マシタ、

歴史的、社會的ノ結果ト致シマシタ、將又、

明治維新以後ノ保護政策缺如ノ爲、被差別

部落ノ現狀ガ社會、經濟、文化ノ上ニ、極

メテ不遇ナル地位ニ落サレテ居ルト云フコ

トガ、今日差別觀念存在ノ社會的要因ニナ

ツテ居ルコトハ、否ムコトノ出來ナイ事實

デアルノデアリマス、隨テ眞ニ此ノ問題ノ

解決ヲ圖ル爲ニハ、被差別部落大衆ノ自覺

自勵ハ固ヨリ、一般世人ノ囚ハレタル陋習

ノ蒙ヲ啓クト共ニ、各般ニ互ル地區更生施

設ヲ、一層擴充徹底セシムルコトガ緊要デ

アリマス、而シテ今日マデ此ノ問題ガ唯單

ニ所謂被差別部落ノミノ問題トシテ見ラレ

テ來タコトハ、洵ニ遺憾ニ堪ヘマセス、即

チ此ノ問題ハ被差別者ヤ一部ノ關係者ノミ

ノ問題デハアリマセス、眞ニ國民協力、官

民一致ノ下ニ、全國民の運動トシテ進メラ

ルベキモノデアリマス、更ニ又施政上ノコ

トヲ申上ゲマス、本問題ノ關係ハ行政各

般ニ互ツテ居ルノデアリマシテ、獨リ主務

省ノ善處ノミデハ、到底所期ノ目的ヲ達ス

ルコトハ困難デアリマス、隨テ關係各省ノ

機能ヲ關聯的ニ存分發揮スルコトニ依ツテ、

完全ナル解決ヲ見ルコトガ出來ルト信ズル

ノデアリマス

私ハ此際反國體のナ存在デアリ、東亞新

秩序建設途上ノ一大障礙デアアル本問題ノ完

全解決ヲ促進シ、一億一心、國民一體ノ實ヲ

舉グル爲ニ、國民各階層ノ積極的協力ヲ切

ニ要望致ス次第デアリマス、而シテ私ハ本問

題ノ解決ノ爲ニハ、私ノ全生命ノ限リヲ盡

シテ、最後ノ血ノ一滴マデ働クコトヲ覺悟致

テ居ル者デアリマス(拍手)以上ノ觀點ニ立チ

マシテ、私ハ次ノ諸項ニ關スル政府ノ御所

信ヲ御致シマス

第一ニ、國體ノ本義、竝ニ時局ノ重大性

ニ鑑ミ、融和問題ニ對スル政府ノ所見如何

次ニ、關係各省ヲ網羅シ、之ニ民間ノ有志

ヲモ加ヘ、權威アル融和事業調査審議機關

ヲ設置スル意思アリヤ、是ハ總理大臣ニ御

答辯ヲ願フテ居リマシタガ、總理大臣ノ方

ニ於キマシテ御都合ガ惡イサウデアリマス

カラ、厚生大臣ヨリ代ツテ御答辯ヲ御願ス

ル次第デアリマス、其ノ次ハ、國民教育中

其ノ内容トシテ融和教育ヲ取上グル意思ア

リヤ、一般社會教化事業ノ對象トシテ、融

和問題ヲ取扱フ意思アリヤ、是ハ文部大臣

ニ御願シマス、其ノ次ハ、國民融和進展ニ

資スル檢閲方針樹立ノ意思アリヤ、警察行

政上、國民融和ニ關スル積極的協力ノ意圖

如何、是ハ內務省關係ノ人ニ御答辯ヲ願ヒ

マス、其ノ次ハ農村經濟更生及ビ分村計畫

中ニ含マレル關係地區ニ對シ、特ニ方策ヲ

考慮スル意思アリヤ、農林大臣ニ御答辯ヲ

願ヒマス、軍隊内ニ於ケル差別現象ニ鑑ミ、

具體的融和方策如何、是ハ陸海軍兩大臣ニ

御答辯ヲ願ヒマス、中央地方ノ融和事業機

關ヲ國民組織トシテ、積極的ニ擴充強化ス

ル意思アリヤ、國民融和促進上、一般行政

トノ關係ニ關スル抱負如何、融和完成ノ主

要方策タル地區更生施設ヲ、一層擴充徹底

スルノ意思アリヤ、是ハ厚生大臣ニ重ネテ

御答辯ヲ願フノデアリマス、私ノ質問ハ之

ヲ以テ終リマス(拍手)

(國務大臣吉田茂君登壇)

○國務大臣(吉田茂君) 松本君ノ御質問

中、私ニ對スル部分ニ付キマシテ御答ヲ致

シマス、御質問中ニ述ベラレマシタ如ク、

今日尙ホ國民ノ間ニ差別ノ陋習ノ斷チ難イ

モノノアリマスコトハ、洵ニ遺憾デアリ、

且ツ時局柄深憂ニ堪ヘヌコト考ヘマス、

尤モ近來漸ク差別ノ陋習ノ不合理ナル所以

ガ、世ノ中ニ明ニセラレマシテ、改善ノ跡

モ著々舉ツテハ居ルノデアリマスガ、尙ホ

今日ノ重大時局ニ鑑ミマシテ、一層其ノ差

別打破ト云フコトノ徹底ヲ圖ラネバナラナ

イコトハ、固ヨリデアルト思フノデアリマ

ス、洵ニ此ノ重大時局ノ解決ノ鍵鑰ト致シ

マシテモ、先ヅ第一ニ國內ノ忌ムベキ差別

ト云フヤウナコトガ、徹底的ニ清算セラレ

マスコトハ、最モ肝要デアルト思フノデア

リマス、左様ナ趣意ニ鑑ミマシテ、第一ニ

此ノ問題ハ、行政各般ニ互ル其ノ連絡、關

聯ノ働キヲ以テ解決スル爲ニ、各階級ノ協

力ガ必要デアリ、隨テ權威アル中央のナ調

査機關ヲ設クルノ要ハナイカト云フ御趣意

デゴザイマス、融和ノ問題ノ根本義ニ付キ

マシテハ、既ニ何等調査ノ必要ノナイ程明

カデアルト思フノデアリマスガ、此ノ根本

義實踐上ニ現ハシマスルニ付キマシテ

ハ、松本君ノ述ベラレマスルガ如クニ、種々

工夫調査ヲセネバナラスコトモアルト考

ヘマスルノデ、能ク御趣意ニ鑑ミマシテ、

此ノ調査機關ヲ設クベキヤ、又如何ナル調

査ヲ行フベキカト云フコトニ付キマシテハ、

研究善處致シタイト考ヘマス

次ニ中央地方ノ融和事業機關ヲ國民組織

トシテ、積極的ニ擴充強化スル意圖ガアル

カト云フ御尋デゴザイマス、御承知ノ通り

ニ融和ヲ目的ト致シマスル各種ノ團體ガゴ

ザイマスルノデ、是等ハ今日ト雖モ中央融

和事業協會ノ下ニ、可ナリナ程度マデノ連

絡協調ノ實ヲ舉ゲテ居ルノデアリマスルガ、融

和問題解決ノ爲ニ、更ニソレヲ強化スルニ、

如何シタラバ宜シイカト云フコトニ付キ

マシテモ、前項ノ御質問同様ノ趣意ニ依リマ

シテ、政府ニ於キマシテハ十分ナ研究ヲ遂ゲ、

工夫ヲ致シテ見タイト存ジマス

次ニハ融和ノ促進上一般行政トノ關係ニ

關シテ、厚生大臣トシテノ抱負ハドウカト

云フ御尋デアリマス、松本君ノ御質問ノ中

ニ述ベラレマシタ如クニ、此ノ問題ヲ解決

致シマスニハ、單ニ厚生省所管ノ一部局ノ

働キノミニ俟ツテ、能ク成シ得ベキデハナ

イコト固ヨリデアリマス、關係各方面官廳

ハ固ヨリノコト、官民各方面廣ク連絡ヲ取

リマシテ、此ノ問題ノ徹底的解決ト云フコ

トニ、十分ノ力ヲ致シタイト考ヘテ居リマ

ス

次ニ融和ノ完成上其ノ主要方策デアアル部

落ノ更生施設ヲ、一層擴充強化スル意思ハ

ナイカト云フ御尋デゴザイマス、今日マデ

モ御承知ノ通りニ融和事業完成ノ爲ニ、部

落更生ニ關シマシテ若干ノ經費ヲ支出シ、

種々經營ヲ致シテ居リマスル次第デアリマ

スルケレドモ、此ノ現狀ヲ以テシテ、政府

ト致シマシテハ満足致シテ居ル次第デハゴ

ザイマセヌノデ、財政ノ限度ノ許シマスル

限り、更ニ一層ノ強化擴充ニ盡力致シタイト

思ヒマス、以上ヲ以テ私ニ對シテノ御尋ニ

對スル御答ト致シマス(拍手)

(國務大臣松浦鎮次郎君登壇)

○國務大臣(松浦鎮次郎君) 松本君ノ御尋

中私ニ關スル部分ニ付テ御答ヲ申上ゲマス、

國民融和ニ關シマシテハ、曩ニ重大ナル時

局ニ鑑ミマシテ、昭和十三年八月、特ニ融

和教育ノ徹底ニ關スル訓令ヲ發シタヤウナ

次第デアリマス、之ニ依ツテ此ノ教育ノ普

及ニ努メテ居ルノデアリマスルガ、國民一

體、同胞融和ノ實ヲ擧ゲマシテ、差別的觀念ヲ根絶致スト云フコトニ付キマシテハ、教育教化ヲ通ジテ、一般國民ノ正シキ認識ヲ深メルコトガ緊要ト存ジマスルノデ、此ノ點ニ鑑ミマシテ、教育教化ノ職ニ在ル者ニ對シマシテ、正シキ理解ヲ得セシメ、指導ニ當ラシメル爲ニ、國民教育、社會教育ヲ通ジマシテ、十分ノ努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ今後ニ於キマシテモ、此ノ點ニ付キマシテハ一層ノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマスヤウナ次第デアリマス(拍手)

〔國務大臣伯爵兒玉秀雄君登壇〕

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 今日ノ時局下ニ於キマシテ、今尙ホ融和問題ガ論議セラルルコトハ、洵ニ遺憾ノ極デアリマシテ、此ノ點ニ於キマシテ、松本君ニ深キ同情ヲ表スル者デアリマス(拍手)新聞紙、出版物ノ檢閲ニ付キマシテハ、是等ニ現ハレマシタ一切ノ差別的ノ字句ハ、之ヲ嚴重ニ取締ツテ居ルノデアリマス、今後ニ於キマシテモ同一ノ方針ヲ以チマシテ、指導取締ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ警察當局ニ於キマシテハ、平素各種ノ機會ニ於キマシテ、此ノ誤ツタル觀念ヲ拾テ、正シキ理解ヲ得サシムルベク、全力ヲ盡シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ將來モ一層關係方面ト協調ヲ致シマシテ、國民融和ノ實ヲ擧ゲルコトニ、一層ノ力ヲ致シタイト思フノデアリマス(拍手)

〔國務大臣島田俊雄君登壇〕

○國務大臣(島田俊雄君) 國民融和ノ問題ニ付テ、只今質問演說中ニ、松本君ノ前提トシテ述ベラレマシタ御意見ニ對シマシテハ、全然同感デアリマス、而シテ農村ノ經

濟更生及ビ分付計畫ノ場合ニ、之ニ含マレテ居ル關係地區ノ點ニ關シテ、特ニ考慮ヲスルノ意思ガアルカト云フコトデアリマシタガ、是等ノ問題ニ付キマシテハ、是マデモ斯様ナ事柄ニ付キマシテ、十分注意ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、尙ホ今後此ノ時局ノ關係等カラ考ヘマシテ、一層注意ヲ加ヘマシテ、此ノ問題ニ關シテ努力ヲ致シタイト考ヘル次第デアリマス、是ダケヲ申上デマス(拍手)

〔國務大臣畑俊六君登壇〕

○國務大臣(畑俊六君) 御答致シマス、皇軍將兵ハ上下一體、陛下ノ股肱トシテ軍務ニ精勵シツツアリマシテ、今日尙ホ軍隊ニ於テ御質問ノヤウナ融和ニ關スル云々ト云フ問題ノ如キハ、軍當局トシテハ夢想ダニ致サナイ所デアリマス、若シ御指摘ノヤウナコトガアツタト致シマスナラバ、是ハ御聖諭ニ副ハザルモノデアリマスルカラ、十分訓諭ヲ加ヘマシテ、是ガ絶滅ヲ期シタイト存ジテ居リマス(拍手)

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際日程第八ヲ繰上デ、尙ホ同一委員ニ付託セラレタル政府提出、自動車交通事業法中改正法律案ヲ一括議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍デ日程ハ變更セラレマシタ——日程第八、金華山軌道株式會社及朝倉鐵道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲

公債發行ニ關スル法律案、自動車交通事業法中改正法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長名川侃市君

第八 金華山軌道株式會社及朝倉鐵道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

自動車交通事業法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一金華山軌道株式會社及朝倉鐵道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十五年三月十二日

委員長 名川 侃市

衆議院議長小山松壽殿

報告書

一自動車交通事業法中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十五年三月十四日

委員長 名川 侃市

衆議院議長小山松壽殿

〔名川侃市君登壇〕

○名川侃市君 只今議題トナリマシタ金華山軌道株式會社及朝倉鐵道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案、竝ニ自動車交通事業法中改正法律案、此ノ兩案ニ付テノ特別委員會ノ

經過竝ニ結果ヲ御報告申上デマス

委員會ハ去ル五日ヨリ金華山軌道、朝倉軌道ノ分ニ付キマシテハ十二日マデ、自動車交通事業法中改正法律案ニ付キマシテハ十四日マデ、委員會ヲ繼續致シマシテ、鐵道大臣ヨリ提案ノ趣旨ニ付キマシテ詳細ナル説明ガアリマシタ、之ニ對シ各委員ヨリ詳細熱心ナル質疑ガ爲サレテ、政府ヨリ懇篤ナル答辯ガゴザイマシタ、其ノ詳細ハ速記録ニ讓ルコトニ致シマシテ、唯一二主要ノ點ノミヲ報告スルコトニ致シマス

金華山軌道及朝倉鐵道ノ補償ニ付キマシテハ、或ル委員ヨリ金華山軌道ノ如キハ、何故ニ省線女川線ヲ建設スル時ニ、此ノ線路ヲ買収シテ、其ノ線ヲ建設ニ利用シナカツタカト云フ質問ガアリマシタガ、此ノ點ニ付キマシテハ、政府ヨリ此ノ軌道其ノモノガ、之ヲ買収シテモ利用スルコトノ出來ス線デアツタカラ、買収シナカツタモノデアルト云フコトノ説明ガアツタノデアリマス、ソレカラ斯ウ云フヤウナ兩軌道會社ノ經營ガ不能ニナツテ、營業ヲ廢止スルト云フナラバ、如何ナル程度ニ於テ營業繼續ハ出來ナイト云フ、收益ノ程度ニナレバ宜イノデアアルカト云フコトニ付テノ質問ガアリマシタガ、之ニ對シマシテハ、ドノ位ナ損害ガアツタ場合ニ營業ノ廢止ヲ許可スルト云フ、一ツノ決ツタ限度ト云フモノハナイノデ、一律ニハ言ヘヌノデアアルガ、省線開通ノ爲ニ旅客貨物ヲ奪ハレ、將來再起ノ見込ガナクナツタ場合ニハ、其ノ實情ヲ審ミザイマシタ、ソレデ此ノ軌道廢止ニ基ク補償ニ付キマシテハ、十二日ノ委員會ニ於キマシテ討論ニ入りマシテ、各會派ヨリ何レ

モ賛成ノ意見ヲ述ベラレマシテ、滿場一致
ヲ以テ原案ガ可決サレマシタ

次ニ自動車交通事業法中改正法律案ニ付
キマシテハ、第一ニ交通運輸ニ關スル行政
機構ヲ改革スル必要ガアルノデハナイカト
云フ問題ニ付テ論議サレタノデアリマス、
即チ自動車運輸事業ノ發達ヲ圖ル爲ニ、本
改正案ヲ提出スル趣旨ニハ賛成デアルケレ
ドモ、是ノミデハ不十分デアル、先ヅ自動
車ニ關シテ各省ニ分屬シテ居ル所ノ權限ヲ
統一一致シテ、自動車ニ關スル政策ヲ一途ニ
出デシメルコトガ緊要デアル、又更ニ進
デ水陸空ニ互ル交通全般ニ付テ、綜合的ニ
政策ヲ樹立シテ實行シテ行ク必要ガアルガ、
是ガ爲ニ交通ニ關スル行政機構ヲ根本的ニ
改革シナケレバナラスノデハナイカト云フ
點ガ論ゼラレタノデアリマス、之ニ對シマ
シテ、政府ハ交通ニ關スル行政機構ノ改革、
自動車行政ノ綜合統一ハ何レモ望マシイコ
トデアアルケレドモ、今俄ニ改正スルコト
ハ困難ナ事情ニアルノデ、今後モ極力研究
ヲ續ケテ行ク積リデアル、尙ホ行政ノ運用
ニ當ツテハ、各省十分連絡ヲ密ニ致シテ、
不都合ナキコトヲ期スル積リデアルト云フ
答辯ガアリマシタ

アリマス

組合制度ニ付キマシテモ、種々議論ガア
ツタノデアリマスルガ、本法ニ依ツテ組合
ヲ強制的ニ設立シ、之ニ依ツテ獨斷的ナ統
制ヲスルノデハナイカ、又ハ本法ノ組合制
度ガ實施サレタ場合ニ、既存ノ業者ノ組合
等ハ如何ニスルカト云フコトノ質問ガアリ
マシタ、之ニ付キマシテ政府ハ、組合ノ強
制設立ハ成ベク之ヲ避ケテ、任意設立ノ組
合ニ依ツテ自治的統制ヲ行ハシメテ行キタ
イ、又既存ノ組合ニ付テハ、業者トモ十分
相談ヲシテ、善處シテ行ク積リデアルトノ
説明ガアツタノデアリマス

次ニ自動車用ノ資材、燃料等ノ配給ニ付
テ、十分ナル方策ヲ講ゼナケレバ、自動車
事業ハ到底發達スルモノデハナイト云フ點
ガ問題ニナリマシテ、各委員カラ痛切ナ質
問ト要望ガアリマシタ、之ニ對シテ鐵道、
商工兩省ヨリ互ニ十分ナル連絡ヲ執ツテ、
最善ノ努力ヲ拂フ旨ノ答辯ガアリマシタ
更ニ運賃問題ニ付テ論議ガ重ネラレマシ
タ、即チ最近ノ物價騰貴、燃料其ノ他資材
ノ入手難等ノ事情ニ依リマシテ、自動車運
送事業ノ經營ガ、甚ダ困難ニナツテ來テ居
カラ、運賃ノ値上ヲ認メル必要ガアルトノ
意見ガ、多數ノ委員カラ主張サレタノデア
リマス、之ニ對シテ政府ハ經營ガ困難ニナ
ツテ來タコトハ事實デ、同情ハスルケレド
モ、低物價政策ノ立場カラシテ、全般的ナ
運賃値上ハ極力避ケタイト思フガ、缺損マ
デシテ經營ガ實際出來ナイヤウナ狀態ニア
ルモノニ付テハ、値上モ考ヘナケレバナラ
スト思フカラ、具體的ニ十分調査研究シ
テ、善處スルト云フ答辯ガアツタノデアリ
マス

斯クシテ討論ニ入りマシテ、民政黨ヲ代
表サレテ山田清君ヨリ原案ニ賛成ノ意見ヲ
述ベラレ、尙ホ希望ヲ述ベラレタノデアリ
マス、其ノ希望條項ハ、組合統制ニ當リテ
ハ自治ヲ主トシ、官治專制ノ弊ニ陷ラザル
ヤウ留意シ、省營「バス」ノ經營ニ當リテハ、
眞ニ民衆ノ聲ヲ聽キ、鐵道本來ノ省營「バ
ス」經營ノ本旨ヲ體シ、荷モ民間業者ト摩擦
ヲ來スコトヲ避ケ、官民一致其ノ健全ナル
發達ニ寄與セラレンコトヲ要望ス、尙ホ運
轉手ノ敎養ト保護トニ留意シ、將來適當ノ
對策ヲ樹立セラレンコトヲ望ム、ト云フコ
トノ希望ヲ述ベラレタノデアリマス、政友
會ヲ代表セラレテ小平重吉君、田中好君ヨ
リ原案ニ賛成ノ意見ヲ述ベラレマシタ、小
平君ヨリハ「タクシー」ノ取締保護ニ付キマ
シテ、至急立法ノ必要ガアルコトヲ要望サ
レマシタ、田中好君ヨリハ、民政黨ノ山田
清君ト同趣旨ノ希望ヲ主張サレタノデアリ
マス、社會大衆黨ヲ代表シテ淺沼稻次郎
君、ソレカラ第一控室ノ方ノ安藤孝三君、何
レモ原案ニ賛成ノ意見ヲ述ベラレマシタ、
斯クシテ採決ニ入りマシタ所、滿場一致原
案ニ賛成セラレテ、原案ハ可決致サレマシ
タ、此ノ段御報告致シマス(拍手)

議長(小山松壽君) 兩案ノ第二讀會ヲ開
クニ御異議アリマセスカ

議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシ
タ

服部崎市君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開
キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通
リ可決セラレンコトヲ望ミマス

議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異
議アリマセスカ

議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議
案全部ヲ議題ト致シマス

金華山軌道株式會社及朝倉軌道株式會
社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ
爲公債發行ニ關スル法律案

第二讀會(確定議)
自動車交通事業法中改正法律案

議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマ
セス、第三讀會ヲ省略シテ、兩案トモ委員
長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)日程
第一、農產物檢査法案、第一讀會ヲ開キマ
ス——島田農林大臣

第一 農產物檢査法案(政府提出) 第一讀會
農產物檢査法案
農產物檢査法

第一條 米穀其ノ他ノ農產物ニシテ勅令
ヲ以テ指定スルモノハ命令ノ定ムル所
ニ依リ其ノ種別、品位、量目又ハ包裝
ニ付政府ノ行フ檢査ヲ受ケタルモノニ
非ザレバ之ヲ受渡シ又ハ第二號ノ地域
ニ搬入スルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ノ
一ニ該當スルモノニ付テハ此ノ限ニ在
ラズ
一 内地以外ノ地域ニ於テ生産セラレ
タルコト明ナルモノ
二 主務大臣ノ指定スル地域内ニ在ル
モノ

三 災害ニ因リ検査ヲ免除セラレタルモノ

四 其ノ他命令ヲ以テ定ムルモノ
本法ニ於テ受渡トハ賣買其ノ他命令ヲ以テ定ムル事由ニ因リ授受ヲ謂フ

第二條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條第一項ニ規定スル農產物以外ノ農產物ノ検査ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ検査ヲ行フ農產物ニ付テハ命令ヲ以テ其ノ検査ヲ受ケザルモノノ授受又ハ移動ヲ制限スルコトヲ得

第三條 前二條ノ規定ニ依リ検査ノ手數料ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ニ依リ検査ヲ受ケタル農產物ニ一定ノ印章、記號及證票ヲ附ス

前項ノ印章、記號又ハ證票ヲ抹消シ、除却シ又ハ隠蔽シタル農產物ハ之ヲ本法ニ依リ検査ヲ受ケザルモノト看做ス

第五條 行政官廳取締上必要アリト認ムルトキハ當該官吏又ハ吏員ヲシテ本法ニ依リ検査ヲ行フ農產物ノ生産者、取引業者、倉庫業者、運送業者其ノ他占有者ニ對シ質問ヲ爲シ又ハ其ノ事務所、營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ其ノ帳簿書類、農產物其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ其ノ身分ヲ證明スル證票ヲ携帯スベシ

第六條 第一條第一項ノ規定ニ違反シテ農產物ヲ受渡シ又ハ搬入シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第五條ノ規定ニ依リ當該官吏若ハ吏員ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其ノ臨檢検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者
二 不正ノ手段ニ依リ検査ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者

第八條 農產物ノ生産者、取引業者、倉庫業者、運送業者其ノ他占有者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第六條又ハ前條第二號ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第九條 第六條及第七條第二號ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス

但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一條第一項ニ規定スル農產物ニシテ從前廳府縣令ニ依リ農產物検査ヲ受ケ道府縣ノ區域外ニ移出スルコトヲ得ルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ同項ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケタルモノト看做ス

農產物検査ニ關スル廳府縣令ニ依リ前項ノ農產物ニ附シタル印章、記號及證票ハ之ヲ第四條ノ印章、記號及證票ト看做ス

(國務大臣島田俊雄君登壇)

○國務大臣(島田俊雄君) 只今議題トナリ

マシタ農產物検査法案ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ヲ申上ゲマス

米穀其ノ他ノ農產物検査事業ハ、現在各道府縣ニ於キマシテ施行シテ居リマス關係上、検査ノ統一及ビ的確ヲ期スルコトガ困難ナル實情ニアルノデアリマス、既ニ昭和十一年第六十九回帝國議會ニ於キマシテ、米穀自治管理法ガ本院ニ於テ御協賛ヲ得マシタ際ニモ、速ニ米穀ノ國營検査ヲ斷行スベシトノ附帶決議ガ附セラレテ居ツタノデアリマス、又穀物ノ國營検査即時斷行ニ關スル建議モ再度通過致シタ次第デアリマス、

政府ニ於キマシテモ、之ヲ實施スルノ方針ヲ以チマシテ、準備ヲ進メテ參ツタノデアリマスガ、殊ニ最近ニ於ケル米穀等ニ關スル諸政策運用ノ爲ニモ、國營検査ノ實施ヲ致スト云フコトガ、一層必要ト認メラルルニ至リマシタノデ、此ノ度必要經費ヲ豫算ニ計上シ、米穀其ノ他ノ重要農產物ニ付國營検査ヲ實施スル爲、本法案ヲ提出スルコトニ致シタ次第デアリマス

本法案ノ骨子ト致シマスル所ハ、米穀其ノ他ノ重要農產物ノ規格ノ統一、取引ノ圓滑ヲ圖ル爲、検査ノ公正的確ヲ期スルコトヲ本旨ト致シマシテ、總テ政府ノ行フ検査ヲ受ケタルモノニアラザレバ、之ヲ受渡シ、又ハ主務大臣ノ指定スル地域ニ搬入スルコトヲ得ザルコトトシヨウトスルモノデアリマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛アラシコトヲ御願申上ゲマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス——成島勇君

○成島勇君 只今議題トナツテ居リマスル農產物検査法案ニ付キマシテ質疑ヲ致シマス、主トシテ總理大臣、農林大臣、商工大臣、内務大臣、大藏大臣ヨリ答辯ヲ求メテ、政府ノ意向ヲ質シタイト思ヒマス、農產物ノ規格ヲ統一シテ、其ノ品位ノ等級ヲ區分致シマシテ、農產物ノ商品價値ヲ向上シ、更ニ取引及ビ配給ノ圓滑ヲ圖リマスコトガ、本法案ノ狙ヒ所デアリマスルコトハ、只今ノ提案説明ニ依ツテ明瞭ニサレタノデアリマス、農產物生産者ガ生産物ノ販賣ニ當リ、當然收ムベリ利益ヲ確保シ、取引業者ト消費者ノ便益ヲ増進致シマスルコトハ、當然過ギル程當然デアリ、極メテ必須ナル施設ト言ハナケレバナラナイ、既ニ明治三十四年大分縣ヲ皮切リニ縣營検査ガ實施サレテ以來、全國道府縣管掌ノ下ニ、穀物検査所或ハ農林產物検査所ガ設置サレテ、是ガ實ヲ舉ゲ來ツタ所以ハ、全ク以上ノ理由ニ依リデアリマスガ、長ク其ノ機構ガ道府縣直營デアリマシタガ爲ニ、制度ノ運営ガ區々ニ互リ、検査ノ規格量目等ニ統制ヲ缺キ、且ツ検査手數料ニモ負擔ノ均衡ヲ失シマシテ、検査事業本來ノ目的ガ十分ニ發揮サレナカッタ憾ミガ多分ニアツタコトハ、農林當局モ年久シク認識サレテ居ツタ筈デアリマスルカラ、本法案ノ如キハ疾ニ之ヲ爲スベキデアツタト思フノデアリマス、只今ノ農林大臣ノ御説明ニモアリマシタ如ク、島田農相ハ、曾テ六十九議會ニ於テ、米穀自治管理法ガ制定サレマシタ當時、衆議院ハ滿場一致同法案ヲ協賛スルニ際シマシテ、政府ハ速ニ米穀ノ國營検査ヲ斷行スベシト云フ、重大ナル附帶決議ヲナシタノデアリマスガ、政府ノ爲ス所全ク迅速ヲ缺イテ、姑息ニ流レ、徒ニ時日ヲ經過シテ今日ニ至ツタコトハ、洵ニ政府ノ怠慢ト評セザルヲ得ナイノ

ス、主トシテ總理大臣、農林大臣、商工大臣、内務大臣、大藏大臣ヨリ答辯ヲ求メテ、政府ノ意向ヲ質シタイト思ヒマス、農產物ノ規格ヲ統一シテ、其ノ品位ノ等級ヲ區分致シマシテ、農產物ノ商品價値ヲ向上シ、更ニ取引及ビ配給ノ圓滑ヲ圖リマスコトガ、本法案ノ狙ヒ所デアリマスルコトハ、只今ノ提案説明ニ依ツテ明瞭ニサレタノデアリマス、農產物生産者ガ生産物ノ販賣ニ當リ、當然收ムベリ利益ヲ確保シ、取引業者ト消費者ノ便益ヲ増進致シマスルコトハ、當然過ギル程當然デアリ、極メテ必須ナル施設ト言ハナケレバナラナイ、既ニ明治三十四年大分縣ヲ皮切リニ縣營検査ガ實施サレテ以來、全國道府縣管掌ノ下ニ、穀物検査所或ハ農林產物検査所ガ設置サレテ、是ガ實ヲ舉ゲ來ツタ所以ハ、全ク以上ノ理由ニ依リデアリマスガ、長ク其ノ機構ガ道府縣直營デアリマシタガ爲ニ、制度ノ運営ガ區々ニ互リ、検査ノ規格量目等ニ統制ヲ缺キ、且ツ検査手數料ニモ負擔ノ均衡ヲ失シマシテ、検査事業本來ノ目的ガ十分ニ發揮サレナカッタ憾ミガ多分ニアツタコトハ、農林當局モ年久シク認識サレテ居ツタ筈デアリマスルカラ、本法案ノ如キハ疾ニ之ヲ爲スベキデアツタト思フノデアリマス、只今ノ農林大臣ノ御説明ニモアリマシタ如ク、島田農相ハ、曾テ六十九議會ニ於テ、米穀自治管理法ガ制定サレマシタ當時、衆議院ハ滿場一致同法案ヲ協賛スルニ際シマシテ、政府ハ速ニ米穀ノ國營検査ヲ斷行スベシト云フ、重大ナル附帶決議ヲナシタノデアリマスガ、政府ノ爲ス所全ク迅速ヲ缺イテ、姑息ニ流レ、徒ニ時日ヲ經過シテ今日ニ至ツタコトハ、洵ニ政府ノ怠慢ト評セザルヲ得ナイノ

○成島勇君 只今議題トナツテ居リマスル農產物検査法案ニ付キマシテ質疑ヲ致シマス、主トシテ總理大臣、農林大臣、商工大臣、内務大臣、大藏大臣ヨリ答辯ヲ求メテ、政府ノ意向ヲ質シタイト思ヒマス、農產物ノ規格ヲ統一シテ、其ノ品位ノ等級ヲ區分致シマシテ、農產物ノ商品價値ヲ向上シ、更ニ取引及ビ配給ノ圓滑ヲ圖リマスコトガ、本法案ノ狙ヒ所デアリマスルコトハ、只今ノ提案説明ニ依ツテ明瞭ニサレタノデアリマス、農產物生産者ガ生産物ノ販賣ニ當リ、當然收ムベリ利益ヲ確保シ、取引業者ト消費者ノ便益ヲ増進致シマスルコトハ、當然過ギル程當然デアリ、極メテ必須ナル施設ト言ハナケレバナラナイ、既ニ明治三十四年大分縣ヲ皮切リニ縣營検査ガ實施サレテ以來、全國道府縣管掌ノ下ニ、穀物検査所或ハ農林產物検査所ガ設置サレテ、是ガ實ヲ舉ゲ來ツタ所以ハ、全ク以上ノ理由ニ依リデアリマスガ、長ク其ノ機構ガ道府縣直營デアリマシタガ爲ニ、制度ノ運営ガ區々ニ互リ、検査ノ規格量目等ニ統制ヲ缺キ、且ツ検査手數料ニモ負擔ノ均衡ヲ失シマシテ、検査事業本來ノ目的ガ十分ニ發揮サレナカッタ憾ミガ多分ニアツタコトハ、農林當局モ年久シク認識サレテ居ツタ筈デアリマスルカラ、本法案ノ如キハ疾ニ之ヲ爲スベキデアツタト思フノデアリマス、只今ノ農林大臣ノ御説明ニモアリマシタ如ク、島田農相ハ、曾テ六十九議會ニ於テ、米穀自治管理法ガ制定サレマシタ當時、衆議院ハ滿場一致同法案ヲ協賛スルニ際シマシテ、政府ハ速ニ米穀ノ國營検査ヲ斷行スベシト云フ、重大ナル附帶決議ヲナシタノデアリマスガ、政府ノ爲ス所全ク迅速ヲ缺イテ、姑息ニ流レ、徒ニ時日ヲ經過シテ今日ニ至ツタコトハ、洵ニ政府ノ怠慢ト評セザルヲ得ナイノ

○成島勇君 只今議題トナツテ居リマスル農產物検査法案ニ付キマシテ質疑ヲ致シマス、主トシテ總理大臣、農林大臣、商工大臣、内務大臣、大藏大臣ヨリ答辯ヲ求メテ、政府ノ意向ヲ質シタイト思ヒマス、農產物ノ規格ヲ統一シテ、其ノ品位ノ等級ヲ區分致シマシテ、農產物ノ商品價値ヲ向上シ、更ニ取引及ビ配給ノ圓滑ヲ圖リマスコトガ、本法案ノ狙ヒ所デアリマスルコトハ、只今ノ提案説明ニ依ツテ明瞭ニサレタノデアリマス、農產物生産者ガ生産物ノ販賣ニ當リ、當然收ムベリ利益ヲ確保シ、取引業者ト消費者ノ便益ヲ増進致シマスルコトハ、當然過ギル程當然デアリ、極メテ必須ナル施設ト言ハナケレバナラナイ、既ニ明治三十四年大分縣ヲ皮切リニ縣營検査ガ實施サレテ以來、全國道府縣管掌ノ下ニ、穀物検査所或ハ農林產物検査所ガ設置サレテ、是ガ實ヲ舉ゲ來ツタ所以ハ、全ク以上ノ理由ニ依リデアリマスガ、長ク其ノ機構ガ道府縣直營デアリマシタガ爲ニ、制度ノ運営ガ區々ニ互リ、検査ノ規格量目等ニ統制ヲ缺キ、且ツ検査手數料ニモ負擔ノ均衡ヲ失シマシテ、検査事業本來ノ目的ガ十分ニ發揮サレナカッタ憾ミガ多分ニアツタコトハ、農林當局モ年久シク認識サレテ居ツタ筈デアリマスルカラ、本法案ノ如キハ疾ニ之ヲ爲スベキデアツタト思フノデアリマス、只今ノ農林大臣ノ御説明ニモアリマシタ如ク、島田農相ハ、曾テ六十九議會ニ於テ、米穀自治管理法ガ制定サレマシタ當時、衆議院ハ滿場一致同法案ヲ協賛スルニ際シマシテ、政府ハ速ニ米穀ノ國營検査ヲ斷行スベシト云フ、重大ナル附帶決議ヲナシタノデアリマスガ、政府ノ爲ス所全ク迅速ヲ缺イテ、姑息ニ流レ、徒ニ時日ヲ經過シテ今日ニ至ツタコトハ、洵ニ政府ノ怠慢ト評セザルヲ得ナイノ

○成島勇君 只今議題トナツテ居リマスル農產物検査法案ニ付キマシテ質疑ヲ致シマス、主トシテ總理大臣、農林大臣、商工大臣、内務大臣、大藏大臣ヨリ答辯ヲ求メテ、政府ノ意向ヲ質シタイト思ヒマス、農產物ノ規格ヲ統一シテ、其ノ品位ノ等級ヲ區分致シマシテ、農產物ノ商品價値ヲ向上シ、更ニ取引及ビ配給ノ圓滑ヲ圖リマスコトガ、本法案ノ狙ヒ所デアリマスルコトハ、只今ノ提案説明ニ依ツテ明瞭ニサレタノデアリマス、農產物生産者ガ生産物ノ販賣ニ當リ、當然收ムベリ利益ヲ確保シ、取引業者ト消費者ノ便益ヲ増進致シマスルコトハ、當然過ギル程當然デアリ、極メテ必須ナル施設ト言ハナケレバナラナイ、既ニ明治三十四年大分縣ヲ皮切リニ縣營検査ガ實施サレテ以來、全國道府縣管掌ノ下ニ、穀物検査所或ハ農林產物検査所ガ設置サレテ、是ガ實ヲ舉ゲ來ツタ所以ハ、全ク以上ノ理由ニ依リデアリマスガ、長ク其ノ機構ガ道府縣直營デアリマシタガ爲ニ、制度ノ運営ガ區々ニ互リ、検査ノ規格量目等ニ統制ヲ缺キ、且ツ検査手數料ニモ負擔ノ均衡ヲ失シマシテ、検査事業本來ノ目的ガ十分ニ發揮サレナカッタ憾ミガ多分ニアツタコトハ、農林當局モ年久シク認識サレテ居ツタ筈デアリマスルカラ、本法案ノ如キハ疾ニ之ヲ爲スベキデアツタト思フノデアリマス、只今ノ農林大臣ノ御説明ニモアリマシタ如ク、島田農相ハ、曾テ六十九議會ニ於テ、米穀自治管理法ガ制定サレマシタ當時、衆議院ハ滿場一致同法案ヲ協賛スルニ際シマシテ、政府ハ速ニ米穀ノ國營検査ヲ斷行スベシト云フ、重大ナル附帶決議ヲナシタノデアリマスガ、政府ノ爲ス所全ク迅速ヲ缺イテ、姑息ニ流レ、徒ニ時日ヲ經過シテ今日ニ至ツタコトハ、洵ニ政府ノ怠慢ト評セザルヲ得ナイノ

○成島勇君 只今議題トナツテ居リマスル農產物検査法案ニ付キマシテ質疑ヲ致シマス、主トシテ總理大臣、農林大臣、商工大臣、内務大臣、大藏大臣ヨリ答辯ヲ求メテ、政府ノ意向ヲ質シタイト思ヒマス、農產物ノ規格ヲ統一シテ、其ノ品位ノ等級ヲ區分致シマシテ、農產物ノ商品價値ヲ向上シ、更ニ取引及ビ配給ノ圓滑ヲ圖リマスコトガ、本法案ノ狙ヒ所デアリマスルコトハ、只今ノ提案説明ニ依ツテ明瞭ニサレタノデアリマス、農產物生産者ガ生産物ノ販賣ニ當リ、當然收ムベリ利益ヲ確保シ、取引業者ト消費者ノ便益ヲ増進致シマスルコトハ、當然過ギル程當然デアリ、極メテ必須ナル施設ト言ハナケレバナラナイ、既ニ明治三十四年大分縣ヲ皮切リニ縣營検査ガ實施サレテ以來、全國道府縣管掌ノ下ニ、穀物検査所或ハ農林產物検査所ガ設置サレテ、是ガ實ヲ舉ゲ來ツタ所以ハ、全ク以上ノ理由ニ依リデアリマスガ、長ク其ノ機構ガ道府縣直營デアリマシタガ爲ニ、制度ノ運営ガ區々ニ互リ、検査ノ規格量目等ニ統制ヲ缺キ、且ツ検査手數料ニモ負擔ノ均衡ヲ失シマシテ、検査事業本來ノ目的ガ十分ニ發揮サレナカッタ憾ミガ多分ニアツタコトハ、農林當局モ年久シク認識サレテ居ツタ筈デアリマスルカラ、本法案ノ如キハ疾ニ之ヲ爲スベキデアツタト思フノデアリマス、只今ノ農林大臣ノ御説明ニモアリマシタ如ク、島田農相ハ、曾テ六十九議會ニ於テ、米穀自治管理法ガ制定サレマシタ當時、衆議院ハ滿場一致同法案ヲ協賛スルニ際シマシテ、政府ハ速ニ米穀ノ國營検査ヲ斷行スベシト云フ、重大ナル附帶決議ヲナシタノデアリマスガ、政府ノ爲ス所全ク迅速ヲ缺イテ、姑息ニ流レ、徒ニ時日ヲ經過シテ今日ニ至ツタコトハ、洵ニ政府ノ怠慢ト評セザルヲ得ナイノ

デアリマス、果然昨年ノ秋以來ノ如キ米穀
出荷統制ノ重大ナル局面ニ遭遇致シマシテ、
幾多ノ不便ト多大ノ不利益ヲ滿喫サレタ事
實ニ想ヒ到ルト、實ニ痛恨ノ至リデアリマ
ス、支那事變發生以來茲ニ三箇年、議會ガ
開カレマシタコトハ既ニ五回デアリマシテ、
米穀關係法ノ制定モ幾度カ繰返サレタノデ
アリマスガ、其ノ間統制ノ農業政策ハ多々
益々體制強化ノ一路ヲ辿ツテ參リマシテ、
戰時食糧生産ノ確保ト共ニ、所謂機構ノ整
備改善ヲ期セヨトノ輿論ハ、洵ニ熾烈ヲ極メ
テ居ルノデアリマスカラ、本法案提出ノ趣
旨ト其ノ根據ヲ、今少シク具體的ニ明瞭ニ
スベキ必要ガアルト思フノデアリマス、即
チ本法ノ運用宜シキヲ得レバ、生産者ハ全
體のニ利益ヲ受クルヤ、又一部論者ノ言フ
ガ如ク、地主ヤ自作農ノミヲ利益シ、
小作ハ却テ不利益ニナルトノ疑念ヲ持タシ
ムル虞ハナキカ、此ノ點ニ關シ、斯ル疑惑
ヲ一掃スルニ足ル政府ノ明確ナル御答辯ヲ
願ヒタイノデアリマス

更ニ今日デハ重要農産物ノ國營検査ヲ斷
行スルコトハ、固ヨリ焦眉ノ急務デアラウ
ト思ヒマスガ、本法ノ上程ニ際シ、内務當
局或ハ地方長官アタリデ、相當ノ論議ガ醸
サレタ結果トシテ、農林當局ハ其ノ折衝ニ
多クノ時日ヲ空費シタ事實ガアリマス、其
ノ爲本法案ノ提出ガ斯クマデニ遲延シタノ
コトデアリマスガ、何故地方長官アタリハ、
本法案ニ對シテ異議ヲ唱ヘタノデアルカ、
元來重要農産物ノ検査事業ヲ徹底的ニ斷行
スルコトハ、勿論生産者ノ利益ヲ擁護スル
目的カラ出發スベキモノデアリマスガ、
戰時食糧ノ圓滑ナル配給上、將又銃後國民
生活ノ安定ヲ期スル立場カラ見テモ、實ニ

國防政策ノ重要性ヲ持ツモノデアリマス、
隨テ施行上ニ於テハ、各種ノ計畫ニ相當ノ
經費ヲ投ジ、優秀ナル技術者ヲ優遇シテ、
現地ニ於ケル公正的確ナル業務當擔者ヲ
シメナケレバナリマセヌガ、地方廳ノ窮屈
ナル財政狀態デハ、豫算ノ執行ニ非常ナラ
ズ來シテ居ルノデアリマス、隨テ其ノ爲
ニ現地生産者ノ直接指導ヲ行ツテ、此ノ重
大ナル國家的検査施行ノ任ニ當ラントスル
有爲ノ青壯年職員モ、待遇ガ極メテ惡ク、
且又検査内容ノ充實ヲ期スル爲ニ要スル經
費ニ重壓ヲ受ケテ、全ク事業將來ノ改善發
達ハ目下ノ所行詰リマシテ、或縣デハ容易
ナラザル實情ニアルノデアリマスカラ、此
ノ點ハ寧ロ内務當局ヲ始メ地方長官ノ國營
検査制ニ對スル所ノ認識ノ不足デハナキカ
ト思フノデアリマス、今日ノ如キ貧弱ナル
地方費ヲ以テ、ドウシテ此ノ重大ナル機能
ヲ完全ニ果ス有爲有能ナル所ノ人材ヲ網羅
スルコトガ出來ルノデアリマセウカ、内務
當局ハ國家政策トシテ、本事業ノ完遂ガ茲
ニ達セラレヨウトスルコトニ對シ、寧ロ雙
手ヲ擧ゲテ贊成スベキガ當然デアリマスマ
イカ、地方長官ノ本法實施ニ對スル異論ノ
眞相顯末ニ關シテ、内務大臣ノ御意見ヲ伺
ヒマス同時ニ、本法ノ實施ガ地方行政上
ニ與フル影響ニ付テモ、亦御意見ヲ求ムル
次第デアリマス

次ニ縣營検査制度、即チ現行穀物検査ニ
關シテハ、其ノ運営上缺陷少カラズト思フ
ガ、此ノ點ニ付テ農林大臣ハ如何ニ考ヘラ
レルヤ、即チ府縣ニ依ツテハ、生産検査ト
移出検査トヲ併セテ行フ、所謂複式検査ト
單式検査ヲ行フ所ガアリマスガ、斯ル検査
方法ハ本法ノ運営上最モ重大ナル缺陷デア

リマシテ、是コソ第一ニ全國的統一ヲ圖ラ
ネバナラス問題ト考ヘルノデアリマス、殊
ニ現行検査制ノ實施狀況ヲ見ルニ、正味量
ノ統制ハナク、検査等級程度ガ不統一ナル
ガ故ニ、自分ノ縣ノ穀物ヲシテ市場ノ名聲
ヲ博セシメタイト云フ、所謂競争心理ヲ併
發セシメテ、標準程度ヲ高メントスルニ汲
波タルモノガアリマス、隨テ下位ノ等級ト
等外品ヲ激増シマスル結果、小作關係サヘ
惡化サセル實例ガ多アルノデアリマシテ、
若シ茲ニ國營検査ガ實施サルコトニナリ
マシタナラバ、此ノヤウナル弊害ヲ取除ク
コトガ出來ルカドウカ、此ノ點率直ニ御答
辯ヲ願ヒタイノデアリマス

更ニ現在私ノ大體ノ調査ニ依リマスル
ト、十一年度ニ於テ一道三府四十三縣デ施行
サレテ居ル穀物検査ハ、歲出七百二十三萬
二千餘圓ニ對シ、歲入ハ僅ニ五百五十萬圓
餘ニ過ギナイノデアリマス、其ノ爲ニ百
七八十萬圓餘ノ不足ヲ見テ居ルノデゴザ
イマシテ、ソレガ爲約六千人ヲ突破スル
検査員ノ俸給、旅費ノ如キハ、實ニ貧弱
極マルモノデアリマシテ、是デハ決シテ檢
査ノ徹底ヲ所期ノ如ク完遂スルコトガ出來
得ナイコトハ、明瞭ナ事實デアリマス（拍
手）幸ニ本法案ガ制定サレマスレバ、一箇
年大體一千万圓近クノ豫算ト私ハ記憶シテ
居リマスルガ、其ノ豫算デ農林省ハ執行ス
ル方針ノヤウデゴザイマスルガ、検査員一切
ノ人事ヲ農林省一本建テ專管サルノデア
リマスルカ、若クハ内務當局トノ共管ニサ
ルルノデアリマスルカ、更ニ又現行検査制
度ノ下ニ採用サレテ、相當ノ年限ヲ經テ來
タ現在ノ縣吏員ヲ、國ニ移管サル場合ニ
於テ、縣ノ恩給年數ヲ加算シテ、斷絶シナ

イヤウナ御方針ヲ執ラルルコトニ相成ルモ
ノデアルカ、政府ノ御意見ヲ伺ヒタイノデ
アリマス、全國六千數百ノ検査員諸君ガ、
此ノ點ニ付テ一齊ニ不安焦慮ノ狀態ニアル
コトヲ思ヒマスレバ、當局ノ明白ナル御答
辯ニ、多大ノ期待ヲ懸ケテ居ル次第デアリ
マス

更ニ金融問題デアリマスルガ、米穀其ノ
他重要農産物ニ對スル金融ノ途ハ未ダ十分
デハアリマセヌ、公正妥當ナル評價査定ヲ
受ケ、收穫ト同時ニ金融ヲ受ケルコトハ、
極メテ敏速ヲ要スルノデアリマス、政府ハ
本法ノ實施ト共ニ農業金融ノ敏速圓滑ヲ期
スル如何ナル用意ガアリマスカ

更ニ私ハ農業倉庫ニ對スル國家管理ヲ斷
行シ、生産者ノ販賣統制ヲ強化スルコトガ
必要ト思フノデアリマス、就中自作者、小
作者階級デハ、販賣米ニ對スル金融ノ途ガ
梗塞サレ勝チデアリマシテ、出來秋ニ賣リ
急グ結果ヲ見ザルヲ得ナイノデアリマス、本
法ノ實施ト共ニ現在ノ農業倉庫ヲ活用シ、
更ニ之ヲ助成シテ内容ノ改善ヲ圖リ、米穀
政策遂行ノ重要ナル役割ヲ果シ得ルマデニ
國家管理ヲ強化シ、組合ノ自治統制ト國家
統制ヲ渾然一體ナラシムルコトガ、戰時下
ノ食糧對策トシテ極メテ適當デハナイカト
思フノデアリマスルガ、之ニ對スル政府ノ
御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、昭和十三
年度現在ニ於ケル農業倉庫ノ收容力ハ三千
萬依ニ達シ、尙ホ此ノ外聯合農業倉庫ノ收
容力ガ三百萬依ニ達シテ居リマスルノデ、
政府ハ是等農業倉庫ニ對スル今一段ノ積極
的助長策ヲ講ジ、眞ニ國策ニ協力スルヤウ
ニ誘導スルコトガ、何ヨリモ緊急ノコトト
私ハ確信致ス者デアリマス

次ニ現物納税ノ問題デアリマスルガ、政府ハ本法ノ運用ニ依ツテ、米麥其ノ他ノ國營検査ヲ實施スル結果トシテ正味量ノ正確統一ガ期セララルト共ニ、規格統一ニ依ル等級ノ簡易化ガ促進サレテ、米麥ノ價格ガ公正ニ安定シ、重量検査制ノ實施ニ依ツテ、公正ナル價格操作ガ實施サレルノデアリマス、隨テ私ハ茲ニ詳シク説明スル時間ノ餘裕ヲ持セテ居リマセヌガ、批判トシテハ、生産者タル農村民ハ、公租公課ノ現物納付制ヲ、此ノ機會ニ於テ實現シテ貰ヒタイト云フ要求ヲスルニ至ルダラウト思フノデアリマス、私ノ見ル所デハ、幸ニ茲ニ米麥ヲ中心トスル國營検査ガ實施サレマスナラバ、當然生産者ハ、國營検査米ヲ公租公課ノ現物納付ノ對象トシムルコトニ、敢テ差支ハナイモノト確信致シマス、勿論現物納税ガ徴税技術上ニ於テ、將又地方自治體ノ財政ヲ處理スル上ニ於テ、多大ノ困難ヲ伴フモノダトノ批判ハ、之ヲ覺悟致サネバナリマセヌ、併シナガラ、此ノ支那事變ニ依ツテ、混亂ノ極ニアル現下日本ノ農村ニ對シ、今回ノ米麥検査ガ進歩的ナ農業立法トシテ強行サレル此ノ絶好ノ機會ヲ逸セズニ、是ト並行シテ現物納税制度ヲ確立スルコトハ、極メテ重要ナル國家ノ緊急對策ナリト固ク信ズル者デアリマス、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、時局必須ノ革新政策トモ言フベク、公租公課ノ現物納付制斷行ニ付、特ニ内務大臣及ビ大藏大臣ノ御所見ヲ承ツテ置キタイノデアリマス、

更ニ政府ガ今議會ノ米穀關係法委員會デ發表サレタ、米穀需給調節ノ特別會計狀況調ヲ見マス、政府ガ米穀ノ買上ト賣渡業務ヲ行フコトニ依ツテ、幾許ノ損失ガ生ジ

タカト云フト、大正十年以來昭和十四年十一月末マデニ、三億一千万圓餘ニ達シテ居ルノデアリマス、私ハ我國ノ行政府ニ於ケル特別會計制度ノ運用ガ、何レモ殆ド國民ノ希望ヲ裏切ツテ居ルト思フノデアリマス、其ノ是非曲直ニ付テハ、茲ニ問題トスルモノデハアリマセヌガ、寧ロ此ノ際政府ハ、此ノ特別會計ノ蒙レル既往ノ損失ハ速ニ整理サレテ、戰時下食糧政策完遂上萬遺憾ナキヲ期セラレンコトヲ主張スル者デアリマス、昭和八年ニ米穀統制法ガ實施サレマシタ當時ニハ、二億三千四百萬圓餘ノ損失、デアリマシタモノガ、昭和十二年支那事變勃發以來一躍シテ二億九千万圓、三億萬圓ヘト、其ノ損失ハ非常ナル急増ヲ見テ行クバカリデアリマシテ、本年ノ如キハ一千万石ノ買上ヲ目下斷行中デアリマスルガ、之ニ要スル一箇年間ノ總保管料ハ、一石當リ政府ノ發表デハ二圓八十錢程度デアリマスルカラ、約三千万圓ノ損失ヲ覺悟セネバナラスノデアリマス、兎ニ角行政官ト云フモノハ、國家ノ損失ニ付テ責任ヲ執ルノガ當然ト思フノデアリマス、三億萬圓ノ莫大ナル國家ノ損失ニ付テ、誰ガ責任ヲ負フモノナリヤ、其ノ點先ヅ御言明ヲ願ヒタイノデアリマス、更ニ又現内閣ハ、明ニ米穀特別會計ニ於テ三億九百九十七萬九千圓ノ損失デアルト、此ノ委員會ノ資料トシテ發表サレテ居リマス、然ル上ハ是ガ處理ノ方法ニ付、一應議會ノ協賛ヲ求メラルベキ筋合ノモノデハナイデセウカ、豫算案ガ通過シタ今日ニ於テ、此ノ莫大ナル損失問題ヲ蒸返シテ批判ガマシイコトヲ論及スルコトハ、私ノ本意トスル所デハアリマセヌガ、戰時下益々重大化シテ參リマスル食糧政策ノ傳統ヲ思フトキニ

本問題ノ處理ト其ノ解決ハ、決シテ閑却出来ナイコトト存ズルガ故ニ、此ノ機會ニ言及シテ、農林大臣、商工大臣ノ所見ヲ質シテ置ク所以デアリマス、殊ニ藤原商工大臣ハ貴族院議員トシテ、去ル六十四議會ノ齋藤内閣當時、米穀統制法ガ制定サレマシタ折、米穀會計ノ損失ヲ難詰シテ、其ノ協賛ヲ議會ニ求メヨト論難サレタコトデアリマス、此ノ機會ニ特ニ藤原商相ノ所見ヲ要求スル次第デアリマスガ、本日ハ御見エニナラヌヤウデアリマスルカラ、別ノ機會ニ御伺スルコトニ致シマス

次ハ總理ニ御尋シタイノデアリマスルガ、御見エニナラナカツタナラバ、又適當ノ機會ニ御尋スルコトニ致シマス

米穀ノ應急對策措置トシテ、法律改正問題モ既ニ本院ノ協賛ヲ遂ゲタノデアリマスルシ、又十五年度米穀ノ需給計畫モ、食糧確保ノ爲ノ増產計畫モ、其ノ全貌ダケハ本會議及ビ各委員會ニ於ケル同僚諸君ノ質疑ニ對スル政府ノ答辭ニ依ツテ、一應大體ノ輪廓ハ吾々ノ諒承シタ所デアリマスルカラ、私ハ此ノ機會ニ繰返シテ斯ル當面ノ應急對策ヲ御尋スル者デアリマセヌ、私ガ最後ニ御尋シタイ點ハ、現内閣ガ今後益々重大化シテ參リマスル東亞ノ時局ヲ眞ニ憂慮サレテ居ルナラバ、戰時ノ食糧政策ニ付テ、今少シク根本ニ觸レタ何等カノ革新ヲ斷行スベキ必要ガアルノデハナイカト云フ點デアリマス（拍手）殊ニ多年吾々ガ要望シテ參リマシタ米穀ノ國營検査法ヲ今回制定サレタ目的ハ、戰時ノ食糧確保ニ努力スル爲ダトノ御方針ハ認メマスルガ、現内閣ハ戰時ノ食糧行政ノ根本改革ニ付テ、未ダニ何等ノ言明モナサレテ居ナイノデアリマス、日本コソハ戰爭ガ三年、

五年續イテモ、食糧不安ハ斷ジテナイノダト云フ安心ヲ、絶對的ニ確信シテ居タノデアリマス、然ルニサウ云フ國民ノ安心ト、政府ニ對スル信頼トガ昨秋以來、絶無トハ申シマセヌガ、殆ドナクナツタノデアリマス、ソコデ幸ニ此ノ七十五議會ニ於テ、國民ハ此ノ議場ヲ通ジ、現内閣ガ抱懷スル戰時食糧政策ノ根本的革新意見ヲ、大イニ聽カント欲シテ居ツタノデアリマスルガ、今日マデノ政府ノ言明ヤ、其ノ答辭等ニ依リマスルト、ドウモ核心ニ觸レタ食糧問題ノ根本解決策ガ發見サレテ居ナイコトヲ、非常ニ私ハ遺憾ニ存ズルノデアリマス、殊ニ我國ノ戰時食糧政策ハ、最早内地ノミノ機構ヲ制度ニノミ依存シ、泥繩式ノ糊塗策デハ、絶對ニ駄目デアルコトハ現内閣ハ百モ承知シテ居ルベキ筈デアルノデアリマス、又内地ノ食糧問題ニシテモ、モウ既ニ今日デハ農林省ダケニ任セテ置イテハ絶對ニ解決ガ出来ナイ程、ソレ程政治的ニ見テ行ツテ居ルト私ハ思フノデアリマス（拍手）現内閣ハ我國ノ現下ノ食糧政策ノ遂行ヲ、一農林省ニノミ任セテ置カレル考デアルカドウデアリマス、國民多數ノ生活ガ一タビ食糧ノ不安ニ襲ハレタナラバ治安行政ノ破綻トナリ、國軍ノ士氣ニ重大影響ヲ及ボシテ參リマスコトハ必至デアリマス（拍手）ソコデ吾々ハ内外地及ビ滿洲國ヲ一體トシテ綜合的食糧政策ヲ確立ヲ、現内閣ガ實行ニ移スカドウカト云フコトヲ、此ノ機會ニ於テ總理大臣ノ御答辭ヲ煩ハシタイノデアリマス、何トナレバ、本年度ノ米穀需給逼迫問題ハ、島田農林大臣ガ、樂觀モセズ、悲觀モセズト屢々答辭サレタヤウナ、場當リノ觀念論デハ、決シテ國民ハ

安心ガ出来ナイカラデアリマス(拍手)會テノ歐洲大戰デ、交戰國民ガ經驗シタ苦惱サヘ覺悟シテ置カネバ、聖戰終局ノ大目的ヲ完遂スルコトハ斷ジテ出来ナイカラデアリマス

ソコデ私ハ此ノ機會ニ戰時食糧政策ノ革新試案ヲ述ベマシテ、總理大臣ノ考慮ヲ促シタイト思フノデアリマス、現内閣ハ内閣直屬下ニ戰時食糧局ヲ設置シ、農林、拓務、内務、商工、厚生、鐵道各省ニ互ル主管事項ヲ統一シ、生産計畫、配給機構、消費規正、價格政策、輸送對策等、内外地共ニ一貫スル食糧行政ヲ遂行スルコトノ決意ガアリマスカドウカ、承リタイノデアリマス(拍手)

更ニ又現内閣ハ、私方前ニ述ベマシタ質問ノ結論トシテ、食糧局ヲ速ニ設置スルト共ニ、日滿支ヲ一貫スル食糧經濟ノ完璧ヲ期スル爲、東亞經濟懇談會ノヤウナ生溫イ機關デハナクテ、又複雑多岐ニ互ル役人烏合ノ機構デモナク、眞ニ朝野ノ練達堪能ノ士ヲ網羅シタ食糧經濟會議ヲ常設スルノ御意思ハアリマセスカ、本經濟會議ヲ常設スル理由及ビ其ノ機構運用等ニ付テハ、此ノ際私ガ細カク申述ベナクとも、十分ニ御諒承ノコトト信ズルノデアリマスルガ、終リニ臨ミ一言致シタイコトハ、刻下聖戰ノ有終ノ目的ヲ完遂スル爲ニハ、帝國ハ更ニ又大ナル難關ニ遭遇スルデアリマセウ、而シテ今後國際的ニ如何ナル難關ガ萬一起リマシテモ、日滿兩國ト、今將ニ生誕セントスル新支那政府トノ綜合的食糧政策ヲ樹立致シマシタナラバ、五年ヤ十年ハ、現地將兵ノ糧秣補給モ、統後國民大衆ノ食糧不安モ、完全ニ解消サレマシテ、我が帝國ハ東亞長期ノ新秩序建設運動ニ向ツテ、一路邁

進スルコトガ出来ルモノト確信スル次第デアリマス、以上ヲ以テ私ノ質問ヲ終リマス(拍手)

(國務大臣島田俊雄君登壇)

○國務大臣(島田俊雄君) 成島君ノ御質問ニ大體御答シマス、本法案ノ提出ノ遅レタコトニ付特色々御意見ガアリマシタガ、是ハ現在アリマス縣ノ検査機關ヲ、國營ノ場合ニ於テ統一ヲ致シマスル關係等カラ致シマシテ、事務的ニ内務當局トノ間ニ話ヲ致シテ居ツタヤウナ關係デ遅レタ次第デアリマシテ、質問中ニ御述ニナリマシタヤウナ意味ノ、所謂摩擦トカ爭トカ云フヤナウ意味ノ事柄ハナカツタノデアリマスカラ、此ノ點私ヨリ一應釋明致シテ置キマス

尙ホ現在ノ検査ニ於ケル弊害ガ、國營検査ニ於テ一掃出来ルカト云フヤナウ意味ノ御質問ニ對シマシテ、是ハ即チ今回國營検査ヲ斷行スルト云フコトノ眼目トスル所デアリマシテ、必ズ此ノ國營検査ノ實施ニ依リマシテ、從來ノ穀物検査ニ對スル缺陷、弊害ト云フコトヲ一掃致シヤウニシナケレバナラスト考ヘテ居リ、又ソレヲ期スルコトガ出来ルト、斯様ニ考ヘテ居リマス

只今ノ各縣ノ検査ニ從事シテ居ル吏員ニ對シテ、國營ノ關係上移管スル場合ニ、恩給等ノ事柄ニ付テノ御親切ナ御質問デアリマスガ、待遇ノ點ニ於キマシテハ、是ハ現在ヨリ良クナルト云フコトヲ申上ゲルコトガ出来ルノデアリマスガ、恩給ノ點ニ付キマシテハ、恩給法ノ關係等ガアリマスノデ、是等ノ點ニ付テハ尙ホ十分ニ研究ヲ致シマシテ、ソレ等ノ點ニ付テ出来ルダケ此ノ恩典ニ外ルコトノナイヤウナ處置ニ付

テ、考究ヲ致ス考ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

農業倉庫ノ國營、國家ニ於テ之ヲ管理スルト云フヤウナ問題、是等ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ將來ノコトト致シマシテ、十分之ニ付テ研究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホソレニ關聯シテノ御話デアリマシタガ、現物ヲ以テ租稅ニ代ヘルト云フヨリモ、現物ヲ租稅トシテ納メル問題、此ノ問題ハ御意見ノ通り、時宜ノ上カラ考ヘマシテモ、大イニ考究スベキ問題ト考ヘマス、隨テ大藏當局ナジニ於テモ、ソレノ意見ガアラウト考ヘマスガ、今日ノ事情、殊ニ國營検査ヲ米ニ付テ實行致シマスル上カラシテ、或ル場合ニ物納ヲ許スト云フコトノ途ヲ開クト云フコトハ、極メテ適切ナ考ヘ方ト考ヘマスルガ、此ノ點ニ付キマシテ、尙ホ政府ト致シマシテハ、十分考究ヲ致スコトニシタイト考ヘテ居リマス

次ニ米穀需給調節特別會計ノ損失金ノ始末ニ付テノ御意見デアリマスガ、既ニ此ノ問題ニ付テハ、從來屢々政府部内ニ於テモ研究サレテ居ル所デアリマスシ、又御趣意ノ點ハ能ク分ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ尙ホ之ヲ繼續致シマシテ、十分此ノ整理ノ點ニ付キマシテ、所謂損失ノ始末或ハ切捨ト云ヒマスガ、此ノ特別會計ノ損失ノ處置ト云フコトニ付キマシテハ、慎重ニ研究ヲ致シテ對處シタイト考ヘテ居リマス

次ニ戰時食糧政策ノ上カラ、根本的ナ機構其ノ他ニ付テ方針ヲ立テルト云フコトノ必要ガアルト云フ御意見ニハ、是ハ私ハ全然同感デアリマス、唯御承知ノ如ク、此ノ度本院ヲ通過致シマシタ十五年度ノ豫算ノ

中ニハ、農林省ニ於キマシテ、從來ノ米穀局ノ機構ヲ擴大致シマシテ、食糧局ヲ外局トシテ置クノ計畫ヲ立テテ居リマシテ、是ハ豫算通過ト共ニ來年度ヨリ相當大キナ規模ノ食糧局ヲ置キマシテ、食糧問題ニ付テノ處置ヲ、此ノ局ニ依ツテヤリタイト考ヘテ居ル次第デアリマシテ、只今政府ト致シマシテハ、其ノ方針ヲ以テ進シテ居ル譯デアリマスガ、全體ノ議論ト致シマシテ、戰時ノ綜合的ナ食糧政策ト云フ意味カラ、只今私案トシテ御示ニナリマシタ事柄ニ付キマシテハ、今後研究ヲ致シマシテ或ハ適當ノ機會ニ御返事ヲ申上ゲルヤウナコトガアルカモ知レスト考ヘマス

其ノ他種々ナ點ニ付特色々御意見ヲ承リマシテ、何レモ有益ナル御意見ト拜承致シマシタガ、是等ニ付キマシテハ、何レ委員會ニ於テ詳細ニ御答ヲ申上ゲルヤウニ致シタイト存ジマス(拍手)

(國務大臣米内光政君登壇)

○國務大臣(米内光政君) 御答ヲ致シマス、食糧問題ハ内外地ヲ通ジ、又日滿支ヲ通ジマシテ、其ノ諸對策ヲ樹立セネバナラスト云フ御質問ニ對シマシテハ、全ク御同感デゴザイマス、現在ニ於キマシテモ、食糧政策ハ一ツノ綜合ノ計畫ノ下ニ、ソレノ機關ヲ通ジマシテ、是ガ實現ニ努メテ居ルノデアリマシテ、政府ト致シマシテハ目下ノ所是ガ爲ニ新シイ機關ヲ設クル考ハ持ツテ居リマセヌガ、將來研究シテ見タイト考ヘマス、尙ホ今後モ日滿支ヲ通ズル食糧政策、其ノ確保ニ付キマシテハ、十分ニ綜合計畫ヲ徹底スルヤウニ圖リマシテ、遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

〔政府委員木村正義君登壇〕

○政府委員(木村正義君) 農產物検査法案
施ノ機會ニ、公租公課ノ物納制度ヲ認メタ
ラドウカト云フ御質問デアリマシタガ、金
錢收入ノ少イ農家經濟ノ上カラ申シマス、
極メテ重要ナ問題デアルト存ジマス、隨ヒ
マシテ政府ト致シマシテハ、只今農林大臣
カラ御答ガアリマシタヤウニ、此ノ點ニ關シ
マシテハ篤ト考究スル必要ガアルト考ヘマ
ス、併シナガラ今日ト致シマシテハ、直チ
ニ物納ヲ認ムル、斯ウ云フ程度ニナツテ居
ナイト云フコトヲ御答申上ゲテ置キマス

〔政府委員青山憲三君登壇〕

○政府委員(青山憲三君) 只今成島君ノ御
質問中、内務省ニ關係スルコトニ付テ御答
辨申上ゲマス、米穀其ノ他農產物ノ國營檢
査ノ問題ニ付キマシテハ、内務省ノ關係ト
シテモ、何等異存ナク必要ナコトト考ヘテ
居ルノデゴザイマス、國營検査ニ伴フ事務
的準備等ニ關シテ、過般農林當局ト協議研
究スルコトニ付テ、萬全ヲ期シテ居ツタ次
第デゴザイマシテ、其ノ間ニ意見ノ相違ト
カ云フヤウナ、紛ハシイ問題ノナカツタト
云フコトヲ御答申上ゲマス、次ニ租税ノ物
納關係ニ付テハ、只今大藏當局カラモ御話
ノ如ク、地方税ニ關係致シマシテハ、種々
研究致スベキ點モアリマスノデ、將來篤ト
更ニ考究ヲ重ネタイト云フ考デゴザイマス

○議長(小山松壽君) 樋口善右衛門君

〔樋口善右衛門君登壇〕

○樋口善右衛門君 私ハ只今上程ニナリマ
シタル米穀検査法案ニ付テ政府ニ所信ヲ質
シタイト思ヒマス、第一ニ御尋申シタイコト
ハ、本法案ノ目的ヲ此ノ際ハウキリ明示シ
テ置イテ載キタイト云フコトデゴザイマス、

次ニ検査ノ統一ノ方法ニ付テ、質力量カ、
之ヲ御尋致シタイト思ヒマス、次ニ此ノ強
制の検査ニ對シテ手数料撤廢ノ件デアリマ
ス、次ニ精米製粉ニ對スル検査ノ件デアリ
マス、次ニ御伺スルノハ、農家ノ必需品ナ
ルモノハ、何レモ検査モ何モナイ、殊ニ肥
料、飼料其ノ他ニ對スル検査ノ方法ニ付テ御
尋ヲ致シマス、尙ホ次ニ農家ノ供出ニ對ス
ル不當割當ニ付テ政府ノ御考ヲ承リタイ、
尙ホ又事變ニ於ケル農村ノ受ケタル影響ニ
對シ、農村ノ勤勉努力ニ對スル政府ノ用意
ヲ伺ヒタイト思ヒマス

是ヨリ其ノ大體ノ内容ニ付テ説明致シマス

ガ、米ノ検査、麥ノ検査、所謂農產物ノ検査位
難カシイモノハナイノデゴザイマス、サウシ
テ其ノ區域ガ廣クナレバナル程統一ハ困難ニ
ナリマス、若シ強ヒテ統一ノ實ヲ舉ゲントス
レバ、極メテ不公平ニナリマス、仍テ古クヨ
リ米ニ於キマシテハ、年貢米ヲ検査スルトシ
テ、部落ニ於テ村ニ於テヤツテ居ツタ、ソレ
ガ郡ニナリ縣ニナルニ從ヒ、次第ニ擴張致シ
マスルガ爲ニ、非常ナル不公平ガ起ツテ來
ル、只今ハ生産者、農家、何レモ此ノ検査
ノ爲ニハ不平不滿ガアリマスルケレドモ、
今ヤ已ムヲ得ザルコトダト云フ觀念ノ下ニ、
習慣付ケラレテ受ケテ居ル程度ニ過ギナイ
モノデアリマス、仍テ此ノ度之ヲ國營ニ統
一ナサレレニ付テハ、餘程難カシイコトデア
アルカラ、政府ニハ十分ナ御考ガアルコト
ト存ジテ居リマスガ、若シ強ヒテ統一ヲ期
スル、的確ヲ期スルト云フ風ニ、誤ツタ方
法ヲ執ラレマスナラバ、必ズ不平不滿ガソ
コニ起ツテ來ル、其ノ結果ハ、此ノ壇上ヨ
リ必ズ政府ニ向ツテ論議ヲ重ネル機會ガ、
總テ到來スルコトヲ憂フル上ニ於キマシテ、

此ノ場合本法案ノ目的、即チ將來ニ於テ論
議セラレル中心トナルモノデアリマスカ
ラ、ハツキリト此ノ目的ヲ此ノ機會ニ御明
示ヲ願ヒタイ、尙ホ此ノ目的トハ生産者ノ
利益ノ爲ニナルカ、重要食糧品ノ上デヤル
ノカ、或ハ配給統制ノ上デヤルノカ、大體
之ヲ主トシテ行クト云フ政府ノ目論マレ
コトヲ伺ヒタイノデアリマス

第二點デアリマス、此ノ検査ノ統一正確

ヲ期スト云ツテ居リマスガ、米麥ニ限ラ
ズ、農產物ハ總テ工業品トハ違フノデアリ
マス、何レモ土質ニ依ツテ其ノ品質ガ違ツ
テ居ル、又天候ニ支配サレテ居ツテ、人爲
デ如何トモスルコトガ出來ナイ場合ニ於
テ品質ガ違フノデアリマス、ソコデ現在ノ
縣營検査ハ、質ニアラズシテ、量ノ検査ヲ
致シテ居ルノデアリマス、サウナルト、我
國ハ御承知ノ如ク何トシテモ土地ノ狹イ所
デアリ、非常ニ土質ガ違ツテ居ル、縣ニ於
テ、郡ニ於テ、町村ニ於テ、部落ニ於テ、又
田毎ニ違ツテ居ル土質ヲ持ツテ居ルノデ、ソ
コニ各、土質ニ特質ガアル、多收穫ヲスル土質
ハ餘計收穫レガ其ノ米ハ不味イ、山手ノ瘦
地ハ收穫ハ少イガ其ノ米ハ旨イ、ココニ特色
アガル、此ノ質ヲ減却スルト、山手ノ瘦地ニ
幾ラ多收穫シヨウトシデモ出來マセス、其
ノ代リ其處デ收穫レタ米ハ一俵ニ付テ一圓乃
至二圓位、高級米トシテ高ク賣レルノデア
リマス、今日ノ検査ノ如ク量デ行キマスレ
バ、山手ノ高級ナル米モ、沼田ノ質ノ惡イ
米モ、同ジ四等、或ハ二等、三等デ行クト
スレバ、天與ノ特質ヲ減却シテ、全ク山間
地帶ノ特質ヲ持ツ利益ヲ蹂躪シテ居ル、コ
コニ不平ガ起ツテ來ルノデアリマス、ソコ
デ昔ノ検査ハ、是ハ食物デスカラ、ドレガ

旨イカト云フコトハ、チヤント炊イテ検査
シタモノデアアル、所ガ現在デハ量ニ於テヤ
ツテ居ツテ、質ハドウデモ宜イ、乾燥、調
製、依裝ト云フヤウナモノガ出來テ居リサ
ヘスレバ、幾ラ米ガ不味カラウト旨カラウ
ト何モ關係ハナイ、所ガ若シ量ニ於テヤル
ト致シマスレバ、是亦非常ニ不公平ニナル、
我國ハ御承知ノ通り山手ガ多ク、ソレニ加
フルニ氣候ガ違ヒ、尙且ツ災害ノ多イコト
實ニ世界一デゴザイマス、雨ガ降レバ冷害
トナリ、濕害トナリ、水害トナル、足ラナ
ケレバ旱害、風害、加フルニ病蟲害ト云フ
ヤウナ被害ガ、年々各所各様ニ起ツテ居ル
ノデゴザイマス、然ルニ現在ノ検査ハ、量
ニ於テヤル場合ニドウデアルカト言ヘバ、
一定ノ標準米ヲ持ツテ來テ、此ノ標準米ニ
合格ヲシタルモノニ依ツテ等級ヲ決メルト

云フ、是位無體ナ検査ハナイノデアリマス、
若シ此ノ標準米ヨリ被害ガ少イトカ、或ハ
豐作ニ行ツタ所デアラナラバ、ソレハ利益
デアリマセウガ、若シコチラノ被害ノ程度
ガ、或ル程度被害ヲ受ケテ居リマスナラバ、
非常ナル屑米ヲ出シテ、小作人ガ一升ヤ二
升ノ獎勵米ヲ貰ヒマシタ所ガ、利益ニモ何ニ
モナリマセス、斯ウ云フ風ニ量ニ於テモ不
公平ニナツテ來ルノデアリマスガ、現在縣
デヤツテ居ル検査ハ量デアリマス、若シソ
レ此ノ量デ國ガオヤリニナルト云フナラバ、
現在ノ府縣營検査ニ於テ、政府ノ企圖スル
此ノ検査ノ統一ガ出來ナイト云フノハ、如
何ナル點ニ於テ出來ナイノデアアルカ、之ヲ
改メテ御伺致シタイノデアリマス

第三ニ、手数料ノ撤廢デゴザイマス、只
今申シマスヤウニ、米ノ検査、麥ノ検査ト
云ヒマシテモ、非常ニ不公平ガ多イノデア

リマス、ダカラ非常ニ不平不滿デアル、先
 ズ最初府縣ガ目論見マス時ノ目的ハ、商品
 價值ヲ高メ、同時ニ中間ノ米穀商ノ搾取ヲ
 免レ、共同販賣ヲシテ農村ノ利益ヲ増進ス
 ルト云フノガ目的デアリマス、然ルニ愈々
 検査ヲヤツテ見ルトドウデアルカト云フト、
 嚴重ナル検査ヲシテ、一等米ハ三等米ニ下
 リ、二等米ハ四等米ニ下リ、三等、四等ハ
 等外不合格ノ極印ヲ打タレテ居ルノデアリ
 マス、ソコデ小作者ガ年貢ニ持ツテ行ク時
 ニ、作柄相當ノ物ヲ持ツテ行ケバ宜イ譯デ
 アルガ、其ノ標準米ト定メタルモノヲ持ツ
 テ來テ、ソレニ合ハネバ不合格ダト云フヤ
 ウナ殘酷ナルコトモ、我國ノ農家ナレバコ
 ソノ我慢シテ居ルノデアリマス、小作人
 ニハ斯ウ云フ不利益ガアリマス、是ハ一升
 ヤ二升ノ獎勵米デ追付クコトデハナイノデ
 アリマス、若シ夫レ八分作、七分作ニナリ
 マシタナラバ、半數以上屑米ニ出サネバ四
 等米ニ取ラナイノデアリマス、ソコデ自作
 農ハドウ云フコトニナルカト云フト、是亦
 不利益此ノ上ナイノデアリマス、從來ノ例
 デ見マス、自作スル者ハ地主ガ米ヲ賣出
 サヌ内ニ、早出シ米ヲシテ、即チ端境期前
 ニ出ス、是ガ一番ノ利益デゴザイマス、然
 ルニ検査ヲ受ケナイモノハ賣ラセヌ、隣ノ
 米屋、村ノ酒屋ニ賣ルニモ拘ラズ、検査ヲ
 受ケナイトイカスト言ハレルガ、時恰モ農
 繁ノ時節デ、手足ハ戰慄レデ荒レテ居ル、
 ソンナ餘裕ガ努力ハナイカラ、賣ルベキ時
 機ヲ失ツテ、早出シ米ノ目的ヲ以テヤルコ
 トハ出來ヌヤウニナツテ居リマス、サウシ
 テ隣ノ米屋ニ賣ルニモ拘ラズ、百里モ先ヘ
 送ルヤウナ依裝ヲサセラレテ、自作農ノ得
 ル所ハ何モナイ、已ムヲ得ヌカラヤツテ居

ルニ過ギザル狀況デアリマス、又地主ハド
 ウカト云フト、是ハ成タケ遅ク賣ルコトガ
 利益デアアル、然ルニ八月以降ニナレバ、再
 ビ検査ヲ受ケナケレバナラス、其ノ不利不
 便ナルコトハ、之ヲ體驗シテ者ノ常ニ不平
 ヲ言フ所デゴザイマス（拍手）十錢二十錢位
 高ク賣ツテ何ニナル、倉カラ出シテ米屋ニ
 賣ツテ、米屋ガ來テソレヲ又出スト云フヤ
 ウニ、何處出サナケレバナラスカ分ラヌガ、
 之ヲヤラネバ検査違反デアアル、斯ウ云フ風
 デアリマスカラ、兎ニ角今日各府縣共規則ヲ
 厲行シテ、殆ド強制検査ヲシナイ所ハナイ
 ノデアリマスガ、若シ政府ガ手數料ヲ御取リ
 ニナルコトニシテ、之ヲ希望検査ニセラレ
 タナラバ、恐ラク検査ヲ受ケル者ハ極メテ
 少數ニ止マツテシマフデアラウ、仍テ小作
 人、地主共ニ利益ハナイノデゴザイマス、
 ソレダケ値段ガ上ツタト云ツテ何ガ上ツテ
 居ルカ、唯品質改善ニノミ傾イテ行ツテ居
 ルノガ現在ノ検査デアリマス、所ガ今日政
 府ハ法律ヲ以テ強制シテ検査ヲ受ケサセ、
 間違ヘバ千圓ノ罰金ダト云フヤウナ嚴重ナ
 コトヲスル以上ハ、當然此ノ手數料ハ政府
 トシテ撤廢スベキモノデアアル、尙又現在取
 ツテ居ラヌ縣モアルノデアアル、ソレヲ此ノ
 度ノ勅令ニ依ツテ定メテ居ル所ヲ見ルト、
 萬遍ナク取ルト云フコトニナツテ居ルガ、
 是ハ此ノ検査ノ實情ニ即セザル、政府ノ非
 常ナ見込違ヒデハナイカト思ヒマス、私ハ
 撤廢スル方ガ宜イト思フガ、政府ノ之ニ對
 スル御意嚮ハ如何デゴザイマセウカ
 次ニ白米並ニ製粉ノ検査デゴザイマス、
 元來我國ノ米穀ハ、國內ノ自給自足ヲ原則
 トシテ居ルモノデゴザイマシテ、決シテ外
 國ニ出スモノデモ何デモナイ、其ノ賣先ハ

何處カト言ヘバ、精米屋、製粉屋ニ賣ルノ
 デアリマス、所謂精米屋、製粉所ノ加工原
 料ニ過ギザルモノデアリマシテ、直接需要
 者ニ玄米ヲ賣ルヤウナ場合ハ極メテ稀デゴ
 ザイマス、然ルニモ拘ラズ、此ノ直接賣ラ
 スモノヲ、今言フヤウニ聲價ヲ高メルノダ、
 商品價值ヲ上ゲルノダト云フ理由ノ下ニ檢
 査ヲヤラレルガ、直接需要者ニ賣ル所ノ者
 ハ米屋デゴザイマスガ、此ノ方ノ検査ハ自
 治検査ニナツテ居ル、國營ヲ以テ玄米ヲ檢
 査スルト云フ半面、直接需要者ニ賣ル所ノ
 精白米ハ自治検査ニ任セル、或ハ検査セズ
 ニ賣ツテモ宜イ、ソコデ農家ノ賣ル四等米、
 甚シキハ等外米ガ、一等米トシテ賣ラレテ
 居ルト云フノガ、今日ノ白米ノ實情デゴザ
 イマス（拍手）ソレハマダシモ、酷イノハ外
 米ヲ入レテモ、尙ホ一等米トシテ賣ツテ居
 ルノデアリマス、斯ウ云フ直接需要者ニ賣
 ル所ノ者ノ、サウ云フ一部ノ不正ナル者ノ
 爲ニ、全體ノ信用ヲ害スルコトガアリマス
 カラ、ヤハリ玄米ノ國營検査ト同様ニ、精
 白米ニ付テモ皆検査ヲシテ、一般需要者ヲ
 シテ不利不便ナカラシメルコトガ、今日ノ
 場合必要ナコトダト思フガ、政府ハ之ヲド
 ウ云フヤウニ見ラレルカ、尙又小麥ヲ製粉
 會社ニ賣ルコトデアリマスガ、製粉ノ方ハ
 「マーク」ヲ附ケテ居ルダケノモノデ、検査
 トテ別ニナイノデゴザイマス、ソコデ小麥
 ノ検査ガ始マルト、是マデ製粉會社ノ株ト
 云フモノハ、暴落シテ買手ノナイヤウナモ
 ノガ、一躍暴騰シテ、配當ノ利潤ハ政府ノ
 御承知ノ通りデゴザイマス、無論是等ハ檢
 査ニ依ツテ生産者ガ犠牲ニナツタ結果デア
 ルカ、或ハ製粉屋ノ技術ニ依ルカハ知リマ
 セヌガ、少クトモ需要ニ供スル所ノモノデ

アル、現在色々ノモノヲ交ゼルト云フ疑サヘ
 受ケルモノデアルナラバ、宜シク此ノ製粉
 會社十分ノ検査ヲセラレルコトガ、今日
 ノ食糧對策トシテ必要ナコトデハナイカ
 次ニ、農家ノ買ヒマスル所ノ需要品デゴザ
 イマス、是ハ何モ検査ト云フモノハアリマ
 セヌ、今日事變ノ長引キマスルニ付キマシ
 テ、段々物ガ不足スルニ伴ツテ、極メテ粗
 製濫造ノ品ガ多イ、御承知ノ如ク酒ニハ水
 ヲ入レテ居ル、甚シイモノハ金魚ヲ入レテモ
 死ニハセストマデ言ツテ居ル（拍手）又糠ニ
 ハ砂ヲ交ゼル、ソレカラ醬油ニハ水ヲ交ゼ
 ルトカ、或ハ石炭ニハ石ヲ交ゼル、鰹鮓粉
 ニハ泥ヲ交ゼル、絹物ノ目方ヲ附ケルニハ
 錫ヤ鉛ヲ交ゼルトマデ言ツテ居ル、是ガ公
 然ト白晝ニ賣ラレテ、而モ今爭ツテソレヲ
 買ツテ行クノデゴザイマス、ソレハマダ我
 慢ガ出來ルト致シマシテモ、必需品ノ中ノ
 主タルモノハ肥料、飼料デゴザイマス、此ノ
 肥料、飼料ト云フモノハ、肥料ハ成分表ガ
 附ケテアル、之ヲ以テ政府ハ検査シタト
 フ、之ヲ信賴スルト云フコトデアリマセウ
 ガ、今日ノ肥料ハ、先ヅ配合肥料ニハ砂ヲ
 交ゼテ居ルノデゴザイマス、油粕ニハ岩ヲ
 碎イテ交ゼテ居ルノデゴザイマス、有ユル
 サウ云フ風ナ惡辣ナコトヲシテ、農家ノ買
 フ物ハ、石灰ナドハ生燒ナドヲ寄越シテ、
 是ハ取締モ何モアリハセヌ、斯ウ云フモノ
 ハ私共一々検査ヲ一依毎ニセラレルガ當然
 デハナイカ、農家ノ生産スル所ノモノハ空
 俵マデ目ヲ掛ケテ、サウシテ今日検査ヲ受
 ケタル所ノ在、氏名、年月日カラ品質、
 量目、ソコマデ明記サシテ、依ヲ開ケルマ
 デノ責任ガ生産者ニアルノデゴザイマス、
 然ルニ肥料ナルモノハ、全ク今日素人ノ農

家ニ見分ケノ容易ナラザルモノデアツテ、依毎ニ之ヲ検査スルト云フコトハ、私ハ當然肥料不足ノ此ノ際ハ、一層深甚ナリ注意ヲ拂フ必要ガアルト思フノデゴザイマス、尙又飼料デゴザイマス、鶏ノ餌、是ニハ先ヅ甚シイノハ鋸屑ヲ交ゼテ居ル、ソレガ爲ニ之ヲ食ハシタ鶏ガ死ンデ、今ヤ訴訟ガ起ツテ居ルノデゴザイマス、其ノ訴訟ガ起ツタ品物ニ對シテハ、農林省ヘ十六貫入ガ二袋届ケテアル筈デゴザイマス、既ニ二箇月ニナリマスガ、未ダ其ノ解決ノ話ヲ聞カヌノデアリマスガ、兎ニ角ニモ自己ノ保税倉庫、農林省ノ指定シテ監督シテ居ル所、其處カラ出シタ所ノモノダカラシテ、養鶏家ガ信用シテ買フノハ當リ前デゴザイマス、其ノ物ヲ食ハシテ、ソレガイカナイノダト言ツテ、民事訴訟デ損害賠償ヲ訴ヘテ居リ、現品ハ尙ホ各所ヘ五俵、十俵ト持ツテ居ルノデゴザイマス、ソレヲシモ二箇月モ放ツテ置クト云フコトハ、農林省ハ如何ナル譯デコンナニ放ツテ置クノデアリマスガ、何デモ早ク此ノ解決ヲ付ケルト云フコトガ、養鶏者ニ安心ヲ與ヘルコトデゴザイマス、現在ハドウカト云ヘバ、良イ餌ヲ一俵買ハウトスレバ、惡イ餌ヲ一俵買ハナケレバ賣ツテ貰ヘナイ、惡イ餌トハ、鶏ノ食ハナイ、豚ニ食ハセル餌ヲ、鶏ニ食ハセル餌ノ値段買フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ状態ニ只今ナツテ居ルノガ飼料ノ現狀デアリマスガ、政府ハ是等ニ對スル検査ヲ、米穀同様、保税倉庫ニ對シテ一俵毎ニ證據ヲ貼ツテヤラレル所ノ必要ガ、大イニアリハセヌカト思フノデアリマス(拍手)尙ホ供出物ニ付テデアリマスガ、近時非常ナル供出ガ各府縣ノ農務課カラ農村ニ向ツテ

要求ガアル、有ル物ヲ出スナラバ何時デモ出シマス、麥ヲ出セナラ、麥ガアレバ出シマス、現在一番困ツテ居ルノハ、副業トシテヤツテ居ツタモノデアル、例ヘバ菰デアルトカ、吠デアルトカ、繩デアルトカ、勞力ガアル時初メ副業ノ必要ガアルノデアリマス、機械ガアツテモ勞力ガナイ、然ルニ機械ガアルト言ツテ、ソレヘ割當テ來テ、ソレガ爲ニ何處ノ村デモ割當テラレバ已ムヲ得ストシテ、二千圓、三千圓ト云フ損ヲシテ之ヲ納メテ居ルノデアリマス(拍手)況ヤ「アルコール」原料ノ甘藷ノ如キ、國策デアラルカラト云フノデ、純情ナ農村ハ犧牲ヲ拂ツテモ出ス、勞力不足デアルノニ、機械ガアルカラ之ヲ造ルト云フコトヲ言ハレルコト位不合理ナコトハナイ、ソレモ値段段デモ高ク買フナラ宜イケレドモ、事變前ノ値段ト同ジデアラルカラ、ドウニモ斯ウニモ仕様ガナイ、漸ク一日ヤツテ三十錢カ五十錢ニシカナラナイト云フモノヲ割付ケラレテ居ル、斯ウ云フコトハ政府ニ於テハ御分リニナツテ居ラヌト思ヒマスガ、斯ウ云フコトニ付テ、一體農林省デハドウ云フ風ノ御意向ヲ持ツテ居ラレマスガ、此ノ農村ノ勞力不足ニ對シテ、斯ノ如キ供出ヲ強要スルトハ、一體如何ナル御所存デアリマスガ(拍手)斯様ニ見マスナラバ、全ク我が農村ハ有ユル惡條件ノ下ニ在ル、第一、事變ノ爲ニ影響ヲ受ケタ點ハ勞力ノ提供デアリマス、ソレニ續イテ工場ノ爲ニ耕地ガ潰サレテ居ル、ソレニ又肥料、飼料ノ配給ノ不圓滑、ソコヘ持ツテ來テ買フ物ハ皆粗糲濫造デ、而モ天井知ラズノ暴騰相場デアリマス、足袋ハ「スフ」、手拭ハ「スフ」、斯様ナル先ヅ惡條件デアル、而モ自分ノ獲ツタ

モノハ皆検査ヲ受ケナケレバナラヌ、若シソレニ反シタラ千圓ノ罰金ヲ取ラレル、穫ツタモノハ政府ノ方ヘ強制的供出ヲセンナラヌ、而モ買フ物ハ高イガ、麥ヤ小麥ハ値ヲ上ゲテヤラスト仰シヤツテ居ル、ソコニ増産ヲ求メルト云フ政府ノ御意向ハ、餘程何カノ確信ガアルト思フガ、ソレハ別トシテ此ノ農村ハ又斯様ナ惡條件ヲ克服シテ、サウシテ以テ一意専心、此ノ食糧確保ノ大使命ニ向ツテ、晝夜兼行勤勉努力ヲ致シテ居ルノデゴザイマス(拍手)恐ラクハ世界ニ我國ノ農業位、是位不撓不屈ノ精神ノモノハナイト私ハ思フ、是即チ皇恩ノ下三千年來鍛ヘ來リタル、我國ノ農業魂ノ發露デアリマス(拍手)斯様ニ致シテ居リマスル時ニ、政府ハ此ノ度ノ検査デモ成タケ簡易ニセラレルガ宜イ、サウシテ勞力ヲ援ケ配給云々ト言ハレルケレドモ、何モコンナモノハ米屋ト生産人トニ話ヲシテ、需給ノ解決ヲ付ケレバ早ク付キマス、中ニ餘計ナモノガ入ルカラシテ、結局イカスコトニナツテシマフ(ヒヤ)「米屋ガ暴利ヲ取ルト言ハレルガ、三代續イタ米屋ハアリマセヌ、決シテソナンコトハナイ、寧ロ今日農村ノ状態デ見ルト、農村ノ利益ハ政府ガ検査ニ依ツテ蹂躪シテ居ルト私ハ思フ(拍手)ドウカ斯様ナル今日農村ノ純情、此ノ純情ト云フモノハ、直接實地ヲ見レバ分ルノデゴザイマス、彼等ハナゼ斯様デアラルカト云ヘバ、村ノ勇士ヲ澤山ニ送ツテ居ル、兄ヲ送り、弟ヲ送り、亭主ヲ送り、シツカリヤレヨト言ハレタル言葉、吾國ノ爲ニ奮戰努力シテ下サイ、後ハヤリマスルト言ツテ出テ行ク後口姿ガ眼ニ殘リ、ソレヲ思ヒ返シテハ、此ノ困難ニ打耐ヘルベク、何處マデ

モ銃後ノ護リトシテヤラネバナラヌ、仍テ時々内閣總理大臣初メ御放送下サル所ノ、此ノ國策ニ對シ、總力戰ノ意味カラ出來ルダケノ貯金モ致シテ居リマス、出來ルダケノ節約モ致シテ居リマス、唯求ムルモノガ此處ニ一ツアル、増産ハ確保スル、吾々ガ米ハ作ル、政府ハ肥ヲ作ツテ下サイト云フコトデゴザイマス、政府ハ肥ヲ與ヘテ呉レ、此ノ一ツノ叫ビガ農村全體ノ今日ノ聲デアリス、早ク肥ヲ下サイ、肥サヘ貰ヘレバ必ズ増産サセル、此ノ三千万農家ノ肩ニ七千万國民ノ食糧ヲ確保スル、肥サヘアレバ必ズ確保スルト云フノガ、今日純情ナル農村ノ要求デアリ、全三千万國民ノ聲デアリマス(拍手)ドウカ此ノ意味ニ於キマシテ、非常ニ不安ニ驅ラレテ居ル此ノ肥料問題ナドニ對シ、尙又今日ノ實情ヲ顧ミラレル時ニ、此ノ議會ヲ通ジテ、ドウカ是等三千万農家ガ安心ヲスルヤウニ、御明答賜ランコトヲ、切ニ御願申上ゲル次第デアリマス(拍手)

〔國務大臣島田俊雄君登壇〕

○國務大臣(島田俊雄君) 樋口君ノ御述ニナリマシタ各項目ニ付テノ御意見ハ、洵ニ熱誠ノ逆ル所デアリ、感激ニ堪ヘマセヌ、其ノ一々ノコトニ付キマシテハ、是ハ詳シクハ他ノ機會ニ於テ又御意見ヲ承リ、御答ヲシタイト思フノデアリマスガ、只今縷々御述ニナリマシタ中デ、此ノ國營検査ヲ行フニ付テ、其ノ目的、即チ生産者ノ爲ニスルノカ、或ハ消費者ノ爲ニスルノカ、配給ノ關係カラスノカト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、是ハ議論トシテ申シマスレバ、色々ニ言ヘルデアリマセウガ、先程提案ノ趣旨ニ申シマシタ如ク、全國ヲ統一シタ

検査ノ下ニ於テ、米麥ノ検査ヲ行フテ、總テノ點ニ付テ、配給ノ上ニモ、又消費者ニ對シ、生産者ニ對シテモ、此ノ統一検査ノ下ニ於ケル利益、現行検査ノ弊害ト云フモノヲ除去シテ行ク、斯ウ云フ意味ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、唯此ノ検査ノ上ニ於キマシテ、検査ノ區域ガ廣キニ從ツテ困難ニナル、其ノ検査ヲ受ケル者ノ間ニ不平不滿ノ聲ヲ聽クニ至ルカラ注意スベキデアルト云フ御意見ニ付キマシテハ、是ハ當局ト致シマシテ十分注意ヲ以テ聽キ、又實行ニ當ツテ是等ノ點ニ付テ慎重ナル注意ヲ致サナケレバナラヌコトト考ヘテ居リマス

而シテ此ノ検査ニ付テハ、質ニ依ル力量ニ依ルカト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、是亦御説ノ通りデアリマス、質ト量トノ兩方ノ點ニ付テ、是亦十分ニ研究ヲ致シマシテ、其ノ片寄り、ソレニ依ツテ、其ノ検査ノ不正ニ陷ルヤウナコトノナイヤウニシナケレバナラヌコトト考ヘテ居リマス

手數料ノ點ニ付キマシテハ、強制検査デアルカラ手數料ハ寧ロ撤廢スベシト御意見デアリマスガ、御意見トシテハ御尤モデアリマスガ、國營検査ヲ行ヒマスニ付テハ、御承知ノ如ク相當多額ノ國費ヲ要スル次第デアリマスカラシテ、手數料ニ付キマシテハ、之ヲ取ルノ方針ヲ執ツテ居ル次第デアリマスケレドモ、是等ノ點ニ付キマシテ、御趣意ノアル所ハ能ク御聽致シテ、研究ヲ致シテ見タイト考ヘテ居リマス

玄米等ニ付テノ検査ニ伴ヒ、精製製粉等ニ付テノ検査、竝ニ農家必需品ニ付テノ検査、殊ニ肥料飼料等ニ付テノ事柄ニ付キマシテノ御意見ハ、何レモ御尤モト考ヘマス、今回ノ検査ニ於テ、精米ニ付テハ之ヲ

検査ノ目的ノ一ツニ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、尙ホ小賣等ノ場合ニ於キマシテノコトニ付テハ、十分考ヘテ見タイと思ツテ居リマス、殊ニ此ノ肥料飼料ノ點ニ付キマシテ、尙ホ其ノ他ノ農具等ニ付キマシテモ、御意見ノヤウニ、農家ノ生産シタモノハ嚴重ナル検査ヲ行ヒ、サウシテ需要シテ受取ルモノニ付テハ、往々ニシテ不正ナル品物ガアルト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、是亦十分ニ研究ヲ致シテ、適當ナル對策措置ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

其ノ次ノ供出物品ノ割當ニ關スル事柄ニ付キマシテハ、是亦洵ニ御尤モナル御意見デアリマシテ、只今御指摘ニナリマシタヤウナ事實ニ付キマシテハ、十分自分ト致シマシテモ、調査ヲ致シ、サウシテ是等ニ付テハ適當ナル處置ヲ執ルヤウニ、一ツ考究ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

更ニ最後ニ非常ナル熱意ヲ以テ御述ニナリマシタ、今日ノ事變下ニ於ケル農村ノ努力、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、私ハ滿腔ノ誠意ヲ披瀝シテ、農村ノ人々ノ努力ニ對シ、謹ンデ敬意ヲ表シマス共ニ、此ノ農家ノ努力ニ付テ、是等ノ全農民ノ希望トシテ要望シテ居リマス今年度農作又來年度農作ニ付テ、必要ナル所ノ肥料ノ手當ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ又御話ノ通りデアリマス、又政府ト致シマシテモ、之ニ付キマシテハ晝夜兼行大イニ努力ヲ致シマシテ、農家ノ要求ニ應ズルヤウニ、肥料ノ配給ニ付キマシテハ、出來得ル限りノ盡力ヲ目下致シテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、是等ノ實情ニ付テハ、樋口君モ大體御承知ト考ヘマスケレドモ、尙ホ政府トシテ大イニ努力ヲスルト云フコトヲ、此ノ機

會ニ於テ申上ゲテ置キマス(拍手)
○議長(小山松壽) 中野寅吉君
(議長退席、副議長著席)
(中野寅吉君登壇)
○中野寅吉君 農産物検査法ニ付テ質疑ヲ試ミマス、前ニハ成島君、樋口君ヨリ有益ナル質疑ガアリ、又後ニハ農業ニ付テノ權威者デアアル前川君、大石君モ控ヘテ居ルノデ、私ハ極ク簡單ニヤリマス
先ヅ第一ニ此ノ理由書ヲ見マス「農産物検査ノ統一及適確ヲ期シ配給ノ圓滑ニ資スル爲」デアルト、斯ウ言ウデアアル、所ガ其ノ理由書ニ謳ツテアル通りニ、ヤリ得ルカヤリ得ナイカハ洵ニ疑問デアアル、現在今ノ樋口君ノ質問ニ對シテスラ、農林大臣ハハツキリ答ヘ得ナイデヤナイカ、樋口君ガ是ハ量本位ニスルノカ、質本位ニスルノカト言ウタラ、ソレハ研究ノ上ニ決メルト斯ウ答ヘテ居ル、是ガ大事ナ問題ナノデアアル、旨イ米ヲ作ル、即チ旨イ飯ヲ食ベタイト云フノナラ、是ハ質本位デ行ツテ宜カラウ、所ガ米ヲ四百万石ダケ十五年度ニ於テ増産計畫ヲシナクテハナラナイカラト云フコトデアツタナラバ、量本位デ行カクテハナラナイデハナイカ、其ノ樋口君ノ質問ニ對シテ、量本位力質本位力、ソレハ研究ノ上ニ是カラ決メルトハ何タルコトデアアル、ソナナコトナラ此ノ法案ナドハ出サナイ方ガ宜イデハナイカ、私等カラ言フト、島田サンハナツテ居ナイ、モツト眞面目ニヤリ給ヘ、現在府縣ニ依ツテヤツテ居ル検査ノ制度ト、今度新法デ國營デヤルト云フ検査ノ方ト、其ノ優劣ヲ聽キタイ、私ハ今ノ検査ノ方ガ宜イと思フ、宜イと思フガ、今度ノ新法ノ検査ノ方ガ優ツテ居ルト言フナラ

バ、其ノ理由ヲ聽キタイ、何デモ仕事ハ皆役人ガフンダクツテヤル必要ハナイ、仕事ト云フモノハ、之ヲ自治的ニヤラセテ、助長サセルト云フ仕組ニシナクテハナラナイ、ソレヲ皆役人ガ取上ゲテ強制的ニヤル、ソレデハ伸ビントスル民心モ萎縮シテシマフデハナイカ、而シテソレハ只ヤツテ呉レルカト云フトサウデナイ、ヤハリ検査料ヲ取ツテ検査ヲスルノデ、ソレヲ今度ハ官吏ガスル、マルデ役人ノ製造バカリヤツテ居ルデハナイカ、ソナナ筈ナ話ハナイと思フ、即チ現在ノ検査ト新法ノ検査トノ優劣ハ、何レニアリヤト云フコトヲ御聽シタイ

ソレカラ第一條ノ「其他ノ農産物」トハ何ヲ謂フノデアアルカ、第一條第四號ニ検査不要ノモノハ「命令ヲ以テ定ムル」トアル、此ノ内容ヲ明示シテ貰ヒタイ、理由書ニ重要農産物云々トアル、重要農産物トハ何ヲ謂フノデアアルカ、ナゼソレヲ聽クカト云フト、吾々ハ選舉法デ失敗シタ、マサカ官僚モ常識外レノヤウナコトハ勅令デ出スマイト思ツテ、官僚ニ信頼シテ、此處デ協賛ヲ與ヘタノデアアルガ、選舉法ノ實施ニ當ツテ、勅令ニハ酷イコトヲヤツテ、フン縛ラレタ人ガ澤山アツタデハアリマセヌカ(拍手)ソレデアアルカラ、今度ノ法律ニ於テモ斯ウ云フコトハ書イテアルガ、サツパリ内容ガ分ラナイカラ、此ノ内容ヲ聽クノデアアル、又吾々ハ總動員法ニ承認ヲ與ヘタ其ノ總動員法ニ基イテヤツタ、アノ役人ノ仕事ノ跡ヲ御覽ナサイ、是ハ吾々モ惡カツタ、即チ餘リ政府ヲ信頼シ過ギタカラデアアル、今度ハサウ信用ハ出來ナイソレカラモウ一ツハ、検査ノ場所ハ何處ニ

ナサルノデアルカ、之ヲ御聴キシタイ、検査ノ場所ニ依ツテハ大變ナコトニナツテ來ル、先ヅ理想トシテハ庭先検査ガ宜シイ、生産者ノ庭先デ検査ヲスル、ソレヲ村ノ外レノ廣場ニ持ツテ來イ、神社ノ境内ニ持ツテ來イナドト言ツテ、一定ノ所ニ集メテ検査ナドヲサレタラ堪ツタモノデハナイ、第一勞力ガ不足デアル、検査スル爲ニ其處マデ持ツテ行ク、検査ガ濟ムト又自分ノ宅マデ持ツテ來ル、ソレダケ手數ガ掛リ時間モ掛ル、殊ニ今兵隊ガ澤山戰地ニ行ツテ居ルカヲ勞力ガ不足デアル、女子供、老人ダケデアルカラ、其ノ検査ノ場所ニ依ツテハ大變ナコトニナツテシマフ、理想トシテハ庭先検査ヲ望ムノデアルガ、政府ハ検査ノ場所ヲドウナサルノデアルカ

ソレカラ是ハ先刻成島君カラモ、樋口君カラモ質問ガアリマシタカラ、諄クハ申シマセヌガ、此ノ検査ノ種類、今マデハ生産検査、移出検査ノ二重検査ヲヤツタ、今度ハ單一検査ヲヤツテ二重検査ヲスルノカ、是ハイケナイ、單一検査デモ生産地デ消費スル米、又其ノ場所デ地主ノ所ヘ納メルヤウナ米、即チ手許デ扱フモノハ、是ハ單依デ宜シイト思フノデアリマス、之ヲ二重検査ニスレバ、一俵四十錢乃至六十錢掛ル、單依ナラバ二十錢デ済ム、結局差引勘定、其ノ縣内ヤ生産地デ費用ヲ徴收サレタダケ、無駄ナ高クナツタ米ヲ買ハサレト云フコトニナツテシマフ、先刻是ハ樋口サンカラモ厳シク仰シヤツタカラ、私カラ嚴シク言フ必要ハナイカラ、優シク言ツテ置ク次第デア

ル(笑聲)
又モウ一ツハ、委託検査ノ方法ハドウデアルカ、人手ガ足ラナクテ検査ニ手間取レバ、受渡ノ時期ヲ失スル、ソレニ生産者ニ大損害ヲ掛ケルコトガアル、ソレヲヤル方法ヲ考ヘテ居ルカ、即チ委託検査ノ方法如何、私ハ米其ノ他ノ穀物ノ検査ノ如キハ、慣レタ人ヲ使ヘバ效果ガ舉ガル、即チ經驗ヲ積ンダ人ヲ頼ンデヤル委託検査ノ方法モ必要ト思フノデアリマス、要スルニ斯ウ云フコトヲシテ、米検査ノ時期ヲ遅ラシタリスルト、非常ナ損害ヲ蒙ル、ソレダカラ此ノ事ヲ言フノデアリマス、米其ノ他ノ重要穀物ハ、小麥トカ、菜種トカ、其ノ他澤山アルカモ知レス、私ノ知ラヌ點モアルガ、是ハ粒々辛苦シテヤツタ所ノ結晶デアルカラ、之ヲ輕率ニ検査ナサレテ、是ハハ惡イ、アレハ惡イト云フヤウナコトニサレテハ堪ツタモノデハナイ、丁度ハ選舉ノ時ノ開票ト同ジコトダ、選舉ノ投票ガ集ツテ、ソレヲ此ノ投票ハ無効ダ、此ノ投票ハイケナイ、餘字ヲ記入シタトカ何トカデ、投票ヲ無効ニサレタナラバ堪ツタモノデハナイ、丁度穀物検査ハソレト同ジコトダ、投票ノ時ノ例デ言ヘバ、島後ト書イタノモ有效、倭雄ト書イタノモ有效、又島田農林大臣ノ御生レニナツタ所ハ石見ノ國デ、此ノ方ノ號ハ硯堂ト言ヒマスカラ、硯堂ト書イタノモ有效ト、ソレ位ノ御心持ヲ以テ、此ノ穀物ニ情ヲ掛ケテ貰ヒタイト思フ
ソレカラ検査員ノ教養、是ハ検査員ハ官僚獨善ヲ防止シテ貰ヒタイ、言ヒタイコトハ澤山アルケレドモ、官僚獨善ヲ言フト、餘リ氣持ガ宜クナイト思フカラ、此ノ位デ止メテ置ク
ソレカラ品種本位カ、又量本位カト云フコトハ、先刻樋口サンヤ、成島サンカラ御話ガアツタカラ、是モ止メマス、私ハ成

ベク此ノ際ハ旨イ飯ヲ食ベタイナント云フ贅澤ヲ言ハナイデ、餘計ニ取レル方ニ重キヲ置イテ作ラシタイト思フノデアリマス、是モサウ云フ意見ノ人モアリマセウシ、又サウ云フ意見デナイ人モアリマセウガ、是等ニ付テ農林大臣ハドウツチヲ採ルカ、今度コソハツキリ決メテ貰ヒタイ、先刻樋口サンニ今カラ研究シマスト仰シヤツタガ、モウ研究出來タデセウカラ、ハツキリシテ貰ヒタイ
ソレカラ是ハ直接吾々ノ方ニ關係アル問題デスガ、米ノ銘柄ニ依ツテ政府買上米ノ價格ニ差ガアルノデアリマス、米ノ粒ガ長イカラハ高クスル、圓イカラ安クスル、斯ウ云フコトニナツテ居ル、ソレデ我ガ會津米、ソレカラ仙臺ノ南ノ方ノ仙南米トカハ、粒ガ圓クテ、サウシテ米其ノ物ヲ見レバ憎ムベキ所ハナイケレドモ、石ニ付テ五十錢モ安イ、是ハドウモ不都合ダト私ハ思フノデアアル、長粒子ハ高イ、長イ粒ノヤツハ高イ、一石ニ付テ五十錢乃至七十錢モ高イ、併シ食ベテハ旨イ、丁度細長クテ青白イカラ、是ハ近衛公爵ミタイナ米ダ、圓粒子、此ノ圓イ方ハ安イ、是ハ五十錢、七十錢安イ、角力デ言ヘバ照國ミタイニ圓イ、餘リ丈ガ高クナクテ圓ク肥ツテ居ル、而モ此ノ米ハ愛國ト云フ名前ヲ附ケテ、吾々ノ方デハヤツテ居ルノデス、其ノ名前ハ日清戰爭デ大勝利ヲ得タ後佐久間左馬太ト云フ師團長ガ付ケテ呉レタ名前デアル、是ハ冷害ニモ負ケナイデ、澤山穫レル米デアアル、ソレヲ政府ノ方デハ安ク見積ル、是ハ不都合ト思フガ、是カラ改メ

考ガアルカドウカ、之ヲ聴キタイ
ソレカラ検査ト肥料ノ關係、是ハ樋口代議士カラ仰シヤツタ通り、肥料ヲ掛ケナイデ良イ米ヲ穫レト言ツタツテ無理デハナイカ、ソレダカラ検査スル時ニ、今年ダケハ一寸手心シテ検査シテ貰ヒタイ、米質ノ惡イノハ農家ガ惡イノデナイ、政府ガ肥料ヲ配給シナイ爲ニ、吳レベキ品物ヲ呉レナクツタカラ、榮養不良ノ爲ニ、今年ノ米ハ惡イ、斯ウ見テ検査シテ貰ヒタイ、罪ハソツチニアル
ソレカラ検査ノ統一ハ無論、迅速、正確、簡易化ヲ期サナケレバナラヌ、之ヲ嚴ニ努メテ戴キタイ、検査ガ極端ニ峻嚴ニナツタリ苛烈ニナツタリスレバ、ソレコソ粒々辛苦シタ生産者ノ方デ數クノハ當然デアリマス
私ノ話ヲシヨウト思ツタコトハ、樋口君ト成島君ガ皆喋ツテシマハレタガ、此ノ法律施行ニ付テ、政府デハ八十万圓程ノ豫算ガ掛ルト云フ見込デアル、検査料ヲ取ツテ足ラザル所ヲデス、ソレダカラ今度ハ強制検査ヲスルト言フ、否デモ何デモ押ヘテ検査スルト云フノダカラ、是ハ任意検査ノ時代ト違フ、強制検査ヲスル位デアルナラ、國家ハ百尺竿頭一步ヲ進メテ、此ノ検査料ノ全免、即チ金ヲ取ラナイデ検査シテヤルト云フ風ニシテ貰ヒタイト思フ、其ノ位ノ國庫ノ負擔ヲ増スト云フコトハ當然デア

ル、ナゼナラバ此間石炭ノ増産ヲ圖ル爲ニ、石炭獎勵金ヲ出スト云フコトヲ言明シタデハナイカ、石炭ニダケ獎勵金ヲ出シテ、米ノ方ハ検査料ヲ取ルトハ何タル事デア

法ハ統一法規デアルカラ、ドツチカ一方ニ

定メテ下サイ、ソレハ誰ニ負擔サセルカ、

地主ニ負擔サセルカ、小作人ニ負擔サセル

カ、ソレヲチャント返事シテ戴キタイ、私

ハ地主ニ負擔サセテ宜カラウト思フ

ソレカラ此ノ増産主義、即チ多收穫主義

一本トナレバ、即チ農作行政ノ大轉換ニナ

ルノデアリマス、是モ考ヘナクチャナラナ

イ、是ハモウスツカリ皆ヤリ直シト云フコ

トニナツテシマフカラ、農林省トシテモ茲

ニ御考アルトハ思フケレドモ、尙ホ忙シク

テ氣ガ付カナイト困ルカラ、是ダケノコト

ヲ言ツテ置ク、之ヲヤツテ貰ヒタイ

ソレカラモウ一ツハ、肥料ノ自給自足ト云

フコトガ必要デアルカラ、此ノ際政府モ一

生懸命ヤツテ居リマス云フ、只今樋口サ

ンニ對スル農林大臣ノ答辯デアルケレド

モ、政府ガ一生懸命ニナツテ居テ下サルコ

トハ有難イ、又政府ノ責任トシテ當然ダガ、

吾々ハ此ノ際政府ニ國有林野ノ徹底的開放

ヲ御願シタイ(ヒヤ／＼)國有林野ヲ虎ノ

子ノヤウニ山役人ガ押ヘテ居ツテ、木ノ葉

一枚取ツテモ罰スル、下草一本取ツテモ罰

スル、此ノ自給肥料ノ原料ト云フモノハ、

國有林ノ下草、又餘リ育チモシナイ灌木ノ

枝トカ葉トカ伐ツテ來テ、ソレヲ土臺ニ

シテ既ノ肥ト一緒ニシテヤレバ、相當自給

肥料ガ出來マスカラ、一生懸命ヤルト云フ

コトハ有難イケレドモ、アナタノ持ツテ居

ル其ノ國有林野ト云フ肥料ノ材料ヲ放シテ

料ハ十分補ヒガ付クノデアリマス、此ノ決
心アルヤ否ヤ伺ヒマス
ソレカラ厚生大臣ガオ居デニナラナケレ
バ、厚生省ノ當局ノ方デ宜シイガ、先刻申
上ゲタ通り、検査場所ノ如何ニ依ツテ努力
ニ大關係ガアル、ソレカラ検査員ハ、是ハ
男バカリデハナク、婦人検査員モ作ツテ宜
シイ、即チ職業異變デアルケレドモ、婦人
職場ノ擴張ヲサセル、既ニ石炭ヲ得ル爲ニ、
半島人ガ三萬人モ來ルト云フコトデアル、
婦人ダツテ黙ツテ居ラレナイ、ソレデア
カラ此ノ検査員ニ職業紹介所ノ方デ心配シ
テアルカ——婦人ノ中ダツテ巴御前トカ、
板額トカ、テオドラ——サンニ負ケナイ人ガ
居ルダラウカラ(笑聲)其ノ考ガアルカ、ソ
レカラ現在ノ検査員ヲ廢セバ「ルンペン」
ニナル、此ノ對策ヲ農林省ト協議シナケレ
バ、又失業ノ騷動ガ起ル
ソレカラ司法大臣ニ聽キタイガ、司法大
臣ガ居ナイカラ、農林大臣ガ能ク相談シタ
ラ宜カラウト思フ、ソレハ罰則ガ逆モ嚴シ
イ、此處ニ書イテアル通り第六條ニ、第
一條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以
下ノ罰金ヲ取ラレル、第七條ニハ検査吏員
ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズト云フコトデ三
百圓取ラレル、吏員ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲
サズシテ三百圓、大臣ニ質問シテ之ニ答辯
ヲシナイ大臣ハ、ナンボデモアルノダカラ、
コンナコトナラ大臣モ罰金ヲ取ラレルコト
ニナツテシマフデヤナイイカ(笑聲、拍手)之
ヲ以テ質問ヲ終リマス(拍手)
(國務大臣島田俊雄君登壇)
○國務大臣(島田俊雄君) 中野君ノ御質問
中、前ノ質問者ニ對シテ御答シタヤウナ點
モアリマス、尙ホ詳細ナル事柄ニ付キマシ

テハ、委員會等ニ於テ御答ヲシタイト思ヒ

マスガ、検査ノ目標ヲ質量何レニスルカト

云フコトニ付キマシテ、是ハ先刻モ御答致

シマシタヤウニ、又中野君ノ御話ニアルヤ

ウニ、本年ノ米作ニ付テ、之ヲ多收穫ノ品

種一本デ行クト云フコトニナレバ、其ノ問

題モ亦別ノ御答ヲシナケレバナラヌノデア

リマスガ、多收穫ノ品種ヲ此ノ増産ノ上ニ

於テスルト云フコトニ付キマシテ、ドノ程

度ニ多收穫ノ品種ヲ配分シテ行クカト云フ

コトニ付キマシテハ、尙ホ實際問題トシテ

調査ヲシテ居ルナヤウナ次第デアリマス

カ、本年ノ此ノ検査ニ於テ、検査ノ目標ヲ

質ト量ト何レニスルカト云フコトニ付テハ、

其ノ場合ニ處シテ、或ハ兩方ノコトモ併用

スルト云フヤウナ意味ニナルト考ヘテ居リ

マス、検査ノ場所ニ付キマシテハ、是ハ現

在ノ大體仕來リヲ追ウテ行ク譯デアリマス

カラ、大體ニ於テ庭先ニ於テ検査ヲスル、

斯ウ云フコトニナルダラウト思フノデアリ

マス、

ソレカラ肥料ノ検査ニ付テハ、先程樋口

君ノ御質問ニ對シテモ御答致シマシタガ、

ソレニ關聯シテ國有林ノ開放等ヲ爲シ、下

草等ノモノヲ肥料ノ關係カラ開放スルト云

フコトニ付テハ、御意見トシテ承リマシテ、

是ハ他ノ目的ノ上カラ見マシテモ、國有林

ハ出來得ル限り之ヲ開放シテ行ク、斯ウ云

フ考ヲ以テ調査ヲシテ居ルノデアリマスガ、

實際ノ問題トシテハ、其ノ希望等ニ十分ニ

シタガ、是ハ本法ニ規定シテ居ル罰則ハ、

御承知ノヤウニ最高限ヲ示シテ居ルノデア

リマシテ、必ズシモ如何ナル場合ニモ、最

高限ニ罰則ヲ適用スルト云フ意味デハナイ

コトハ、御承知ノ通りデアラウト思ヒマス

カラ、是ハ十分御諒察ヲ下サルコトト思ヒ

マス

ソレカラ検査ノ手数料ノコトニ付テハ、

先刻樋口君ノ御話モアリマシタガ、大體今

日マデ實際各府縣デヤツテ居ル検査ニ付キ

マシテモ、手数料ヲ徴シテ居ル次第デアリ

マスカラ、政府ハヤハリ國營検査ヲ行フニ

付テハ委託ノ検査等モアリマスケレドモ、

検査料ト云フモノヲ收入ト見テ、検査ヲ實

行スルヤウナ次第デアリマスガ、是等ノ點

ニ付キマシテハ、尙ホ委員會等ニ於テ御意

見ヲ拜聽シマシテ、御答スルコトニ致シタ

イト思ヒマス

銘柄別ノ米ニ付テ、價格ヲ色々ニスルト

云フコトニ付テノ御意見モ拜聽致シマシタ

ガ、是等ノ事柄ニ付キマシテモ、是ハ從來

仕來リデ、此ノコトニ付テ既ニ中野君モ十

分御承知ノコトト存ジマスルノデ、是等ノ

コトニ付キマシテハ、更ニ又他ノ機會ニ於

テ問答ヲ致シタイト思ヒマス

ソレカラ全體トシテ新規ノ國營検査ニ依

ルコトヨリモ、現在ノ縣營検査デヤツテ宜

イデハナイイカト云フヤウナ御議論ニ付キマ

シテハ、是ハ提案ノ理由ノ際ニモ申上ゲマ

シタヤウニ、區々ニナツテ居ル所ノ今日ノ

各地方ノ検査ヲ、國ニ於テ統一スルト云フ
コトニ付テハ、各種ノ方面カラ見マシテ、
是ガ利益アルモノト認メテ居ルノデアリマ
シテ、即チソレガ衆議院ニ於テハ建議トナ
リ、又嘗テハ自治管理法ノ通過ノ際ニ、

附帶決議トモナシタ次第デアリマシテ、此ノ點ニ付テハ國營ニスルコトノ適當デアルト云フコトハ、既ニ衆論一決シテ居ル事柄ノヤウニ考ヘマスカラ、是ハ中野君ニ於テモ御諒承下サルコトト考ヘマス、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ、委員會等ニ於テ説明ヲ致シマス

〔政府委員飯村五郎君登壇〕

○政府委員〔飯村五郎君〕 中野君ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、第一検査ノ場所ト努力ノ關係デアリマスルガ、検査ノ場所ニ付キマシテハ農林大臣ヨリ御答ノアリマシタ通り、從來通りト云フコトデアリマスカラ、努力ノ關係ハ御心配ハナイコトト存ジマス

第二ニ婦人ノ検査員ヲ採用シテハドウカト云フ問題デアリマスガ、人的資源ノ擴大強化、努力ノ不足ノ充實ヲ痛切ニ其ノ必要ヲ感じテ居リマスル此ノ時局ニ鑑ミマシテハ、本問題ハ將來ノ問題ト致シマシテ篤ト考慮致シタイト存ジマス

第三ニ現在ノ検査員ガ失職スルデハナイカ、失業者ガ出ルデハナイカト云フ御尋デアリマスルガ、此ノ點ハ農林當局ノ御答スル範圍カト存ジマスガ、御答ガアリマセヌノデ私ヨリ御答ヲ致シマスガ、農林當局ニ付キマシテハ將來ノ検査員ヲ引繼イデ、其ノ儘其ノ検査ノ任ニ當ラスト云フ方針ダサウデアリマスカラ、隨テ現在ノ検査員ハ失職致サスト存ズルノデアリマス、隨テ此ノ點ニ對スル御心配モ皆無デアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス（拍手）

○副議長（田子一民君） 前川正一君

〔前川正一君登壇〕

○前川正一君 只今提案サレテ居リマスル農產物検査法案ニ付キマシテ、大體ソレニ

關聯致シマシタ數箇ノ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、尙ホ詳細ハ委員會ニ於テ御尋致シマスルノデ、極ク要點ダケヲ御尋申上デマスルカラ、成ベク明快ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

第一ノ點ハ米ノ專賣デアリマス、昨日農林大臣ハ貴族院ニ於カレマシテ米ノ國家管理又ハ專賣ト云フモノハ即時ヤルコトハ出來ナイケレドモ、大體其ノ方向ニ向ツテ居ルシ、ソレハ考ヘナケレバナナイ問題デアアル、斯ウ云フヤウニ發表サレタト新聞デアルノデアリマス、併シ現在ハ既ニ米穀統制法、米穀自治管理法、米穀配給統制法ガアリマスルシ、先日本議場デ議了致シマシタ米ノ應急措置ノ改正法律、是等ニ依リマシテ既ニ米ノ統制ハ大部分出來テ居ルノデアリマス、價格ニ於テ、貯藏ニ於テ、配給ニ於テ、或ハ政府ノ買上等ニ於テ統制ガ出來テ居リマスルシ、又本案ニ依リマシテ米、麥、茶種ノ種別、品位、量目、包裝ト云フ點マデガ統一サレウツテ居ルノデアリマス、既ニ米ハ全部面ニ互リマシテ政府ニ依ツテ管理ト統制ガサレウツテ居ルノデアリマスガ、併シ大臣ノ言葉ニハ何ダカ知ラスガ、米專賣即時斷行ト言フト、或ハ動搖摩擦ト云フモノガアルカモ知レナイト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ラレルヤウニ見エルノデアリマス、又勿論米ハ一般人氣ト極メテ「デリケート」ナ關係ヲ持ツテ居ルモノデゴザイマスルガ故ニ、何ダカ躊躇サレテ居ルヤウナ點ガ見エルノデゴザイマスルガ、併シナガラ國民ノ大部分ハ、歴代ノ内閣ガ此ノ戰爭以來モツト思切ツタ革新的ナ政策ヲ斷行致シマシテ、戰時體制ヲ強化スルコトニ政府ガ躊躇サレテ居ルヤウデ、寧

ロモドカシク思ツテ居ルノデアリマス、然ルニ此ノ重要ナル戰時食糧問題ニ對シマシテ、此ノ根幹ヲ成ス所ノ米ノ專賣ハ考ヘテ居ルケレドモ、即時ニヤラウトハマダ言ヘナイト云フ點ハ、私達ハドウモ不安ニ堪ヘナイノデアリマス、本當ニ東亞ノ新秩序ヲ建設シヨウト致シマスナラバ、其ノ基礎ニ於キマシテ日滿支ノ食糧政策ノ確立ガ絕對條件トナラナケレバナナイイト思フノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考慮致シマシテモ、是非共米ノ專賣即時斷行ト云フコトヲ私達ハ切望シテ止マナイノデアリマス、ソレガ出來ルト云フト、此ノ案ノ如キハ其ノ中ニ含マレマシテ、簡單ニ解決付ケラレルノデゴザイマスガ、若シ大臣ガ今直グ出來ナイト云フヤウナ、今マデ通りノ言葉ヲ以テ行カレマスナラバ、此ノ際此ノ本案ヲ出サレマス同時ニ、米ヲ專賣ニ致シマスニ付テノ調査研究ノ機關ヲ御作リニナリマシテ、專門家ナリ民間ノ「エキスパート」ヲ入レラレマシテ、一ツ米專賣實施ニ付テノ御用意ヲ今カラ始メラレタラドウデゴザイマセウカ、此ノ點ニ付キマシテ御伺致シタイト思フノデアリマス

第二ノ問題ハ本案ト増產ノ關係デゴザイマス、日滿支ヲ通ジマシテ米ノ消費増加ガ今後相當長イ年ニ互リマシテ續クコトハ間違ヒゴザイマセヌ、ソレガ爲ニ米ノ増產ガ必要デアルト云フコトモ、今更申上ゲナクテモ分ツテ居リマス、然ルニ此ノ米ノ増產ヲ妨害セントシテ居リマスモノハ、勿論天候ニモ關係ハアリマセウ、肥料トカ資材トカ努力ノ不足モ關係ガゴザイマセウケレドモ、最も大キナ制度ノ上デノ妨害ハ、私ハ此ノ穀物検査ガ各縣ノ割據主義ニ依ツテ、各縣本位ニ依リマシテ、誤ツタ方針デ運用サレテ來タト云フ點ニ、最も大キナ米ノ増產ノ妨害ガアルト思フノデアリマス、何故カト言ヒマス、各縣ノ今マデノ穀物検査實施ニ至リマスマデノ動機ト其ノ理由トヲ見マス、皆一樣ニ、市場ニ於ケル米ノ商品價值ヲ高メルト云フ點ニミ重點ヲ置イテ、此ノ検査ガ行ハレテ來テ居リマス、例ヘバ味ノ旨イ米ヲ作りタイ、品種ハ商品價值ノ高イモノヲ選ビタイ、ダカラシテ乾燥ヲ無暗ニキツクセヨ、調整モ良クシナケレバナラヌカラ新シイ米選機ヲ使ヘ、脱穀機モ新シイモノヲ使ハナケレバナラナイ、概摺機モ新式ニシナケレバナラナイ、包裝モ綺麗ナモノニシナケレバナラナイ、繩モ太クシナケレバナラナイ、斯ウ云フコトヲ言ツテ検査員ガ農家ヲ走り廻ツテ來マシテ、何デモ宜イカラ、杓目ハ少クテモ宜イカラ、賣値ノ高イモノヲ作ルヤウニセヨト云フコトヲヤカマシク言ツテ來ルノデアリマス、ソコニ此ノ米ノ増產ト云フモノト、此ノ米ノ検査ト云フモノトノ矛盾ガアルノデアリマス、又實際ニ検査ヲ致シマス時ニ、縣ガ獎勵致シマシタ品種ダナケレバ合格シマセヌ、又概摺機トカ米選機モ、縣ガ推奨シテ居リマスル新シイモノヲ使ハスト等級ガ下ルノデアリマス、仕方ガアリマセヌカラ、生産農民ハ五十錢ノ格差ヲ七十錢カ八十錢ノ格差ニ上ゲヨウト致シマス爲ニ、百姓ハ一石ニ對シマシテ何圓モノ生産費ヲ多ク使ヒマシテ、手間ヲ掛ケマシテ、サウシテ收量ノ少イ品種デ、市場ニ於ケル商品價值ノ高イモノヲ作ツテヤツテ來テ居ルノデアリマス、其ノ市場ニ於ケル聲價ノ高マリニ依ツテ得ル所ノ利益ハ、一體誰ガ手ニシテ居ル

ノデアリマセウカ、是ハ決シテ生産農民ノ手ニハ入ツテ居ラナイノデアリマス、小作人ハ寧ロ損ヲシテ居リマス、國家モ其ノ爲ニ米ノ増産ニ支障ヲ來シテ居リマス、唯儲ケテ居ルノハ年貢ヲ貰ツテ賣ル所ノ地主ダケナシデアリマス(拍手)此ノ市場聲價ニ重點ヲ置イテ居リマス所ノ過去ノ米ノ検査方針ト云フモノヲ、私達ハ今ノ時代ニ持ツテ來ルノハ間違ツテ居ルト思フノデアリマス、米ノ餘ツテ居ル時代ナラバ宜シイ、各縣ノ割據主義ニ依ツテ米ノ検査ヲ品質本位ニシヨウト云フコトハ、米ノ過剩時代ノ所産ナシデアリ、今日ノヤウナ米ノ不足ヲ告ゲテ居ル、所謂戰時食糧政策ヲ確立シナケレバナラナイト云フ時代ニ於キマシテハ、米ノ商品價値ニ重點ヲ置クト云フ政策ハ廢メマシテ、質カラ量本位ノ検査ノ方針ニ變更シナケレバ、國家ノ爲ニ駄目ナシデアリマス(拍手)特ニ此ノ點ハ重大ナンデゴザイマスノデ、農林大臣ガ先程御述ニナリマシタヤウナ意味ノ答辯デハナクシテ、是ハ極メテ根本的ナ問題デアリマスガ故ニ、明快ニ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス(拍手)既ニ農林大臣ハ言ツテ居ル、昭和十一年ノ農産物検査會議ニ於キマシテ、市場ニ於ケル聲價ヲ上ゲルコトニ急ニシテ、徒ニ検査程度ヲ引上ゲ、所謂聲價競争ノ弊ニ陥ルガ如キコトハ、生産者ニ多大ノ苦痛ト犠牲トヲ強ユル所ノ結果ヲ招來シテ、其ノ及ボス所ノ惡影響タルヤ決シテ少クナイト云フコトヲ、ハツキリ農林大臣ハ言ツテ居ラレテ、此ノ間ノ事情ヲ知ラレテ居リマスノデスカラ、此ノ各縣割據主義ト唯商品價値ヲ高メテ來マシタ結果、今日ノヤウナ米ノ検査ガ現ハレテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ其儘政府ガ國營トシ

テ統制サレラナラバ、依然トシテ同ジ程度ノ検査ガ行ハレルコトニナツテ來ルト思フノデアリマスガ故ニ、特ニ之ニ對シマス所ノ今後ノ方針、本案實施ノ其ノ際ニ於ケル所ノ政府當局ノ御方針ヲ、明快ニ御話ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス(拍手)尙ホ昨年モ此ノ點ハ私カラ申上ゲマシテ、農林省自身ガ既ニ御採用ニナツテ居ルコトハ、私ノ非常ニ欣快ニ感ズル所デゴザイマス、又本年ノ内地ニ於ケル所ノ七千万石ノ増收ヲ、反當收穫増ニ於テ解決ヲ付ケヨウ、斯ウ云フコトニ致シマシテ、農林省ハ今年ノ特ニ旱害地帯、冷害地帯ニ於ケル増收品種ヲ發表シテ居リマスコトハ、洵ニ賢明ナ時宜ニ適シタ政策ト思フノデアリマス、即チ關東ニ於キマシテハ水稻農林十四號、東北ニ於キマシテハ水稻東北十五號、北陸ニ於キマシテハ水稻北陸十五號、北海道、岩手ニ於キマシテハ水稻遠野一號、東北海岸地方ニ於キマシテハ水稻愛子一號、九州全體ニ於キマシテハ陸稻農林十一號デアリマシテ、何レモ從來ノ品種ニ較ベマシテ、六分カラ一割七分ノ増收品種デゴザイマス、此ノ増收品種ヲ全國的ニ政府ガ指導普及致シマシテ、此ノ戰時食糧政策ノ解決ニ當ラウトスル此ノ方針ハ、私ノ非常ニ嬉シク思フ點デアリマス、而モ是等ノ品種ハ何レモ蟲ニモ強ケレバ、病氣ニモ強イシ、旱リニモ強ケレバ、早冷ニモ強イト云フ、極メテ強イ有難イ品種デアリマス、此ノ品種ヲ選バレタコトハ、非常ニ結構デアリマスルガ、是等ノ品種ガ適用サレマスル地帯以外ノ、例ヘバ東海道、近畿、中國、四國ト云ツタヤウナ、米作ノ中心地帯ニ於キマシテノ増收品種ノ決定ガ未ダナイノデアリマス、何

レモ是等ノ府縣ニ於キマシテノ増收品種ハ、其ノ地方ノ農事試驗場ニ選擇サシテ居リマス、農林省ハ其ノ申請ヲ受ケテ、ソレヲ承認シテ居ルノデアリマス、此ノ一月ノ末ニ發表サレマシタ政府ノ方針ヲ新聞紙で見マスト云フト、ソレ等ノ各縣ノ品種ハ何レモ今マデ通りデ、多少ノ變化ハゴザイマスルガ、所謂品質ノ優良ト云フト、多收穫ト云フト、此ノ二本建ノ品種デゴザイマシテ、所謂農民ノ言葉デ言ヒマシタナラバ、多收穫品種デナイ、從前ノ品種ト餘リ變リハナイト云フヤウナ品種ヲ、地方ノ農事試驗場カラ申請サシテ、ソレヲ政府ハ承認シテ居ラシイノデアリマス、此ノ際若シ政府ガ反當收穫増ニ依ツテ、此ノ増産ヲ斷行シヨウト思ヒマスナラバ、是等ノ地方ノ農事試驗場ノ推薦シテ參リマシタ品種ニ對シテ、十分ナ檢討ヲ加ヘマシテ、相當斷乎タル方針ヲ以テ、所謂獎勵品種ヲ多收穫本位ノモノニ改メナケレバ、今日ノ此ノ内地ニ於ケル増産ハ中々困難デアルト思フノデアリマス(拍手)多收穫品種ヲ農民ガドンナニ作ラウト思ヒマシテモ、今マデ地方ノ穀物検査所ヤ農事試驗場ガ、量ト質トノ二本建デ以テ抑ヘテシマヒマス、又政府自身ハ僅ニ二十五萬圓ノ金ヲ出シマシテ、増收品種ノ粳種ノ購入費ノ三分ノ二ヲ補助スルト言ヒマスガ、是ダケノチツボケナ金ヲ出シタ位デハ出來ル筈ハナイノデアリマス、ソコニ持ツテ參リマシテ、地方ノ検査員ト云フモノハ、高イ相場ノ米ヲ作ルコトヲ以テ、自分ノ天職ノ如ク心得テ居リマス、サウ云フ検査員ノ頭ハ中々變リハシマセス、穀物検査所ノ方針モ、相場ノ高イ米ヲ作ルコトヲ以テ、自分ノ使命ト考ヘテ居リマス、現ニ私ノ香川

縣ニ於キマシテハ、コンナ例ガアリマス、今年ハ早魃デ穀サヘモガ穫レナカツタ所ガアツタノデ、今ノ縣ノ獎勵品種ハ七種程ゴザイマスガ、實際ニ農民ノ作ツテ居ル品種ハ百二十幾種アル、ソレハ自分達ノ食フモノハ杓目ノ多イモノヲ作ルカラ、品種ハ澤山アル譯ニナルノデアリマス、所ガ早魃デ穀ガ穫レナカツタノヲ契機ニ致シマシテ、今年カラハ今マデノ商品價値ノ高イ、所謂市場聲價中心ノ品種ニ根本的ニ變ヘテシマウテヤラウト云フ考ヲ、今尙ホ持ツテ居ル検査員ガ居リマス、農林省ノ方針ト違ツタ方針ヲ、地方ノ検査員ハ持ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ一ツダケ考ヘテ見マシテモ、地方ノ検査員ノ頭デハ、政府ハ可ナリ懇切ツテ方針ヲハツキリ示サケレバ、國策的立場ニ立ツテノ獎勵品種ニ變ルコトハ、相當ニ困難デアルト思フノデアリマス、既ニ或ル商賣人ハ相場ノ高イ米、品質ノ良イ米ヲ作ツテ賣ハナイト云フト、白米ニシテ賣ル場合ニ、臺灣米、朝鮮米、拂下米ヲ摺キ混ゼマシテ、「カクテル」米ノ味付米トシテ良イ米ヲ使フ必要ガアルカラ、良イ米ヲ作ツテ賣レノト言ツテ、検査所ヲ動かシテ居ル事實アルノデアリマス、又農事試驗場、穀物検査所ト云フモノハ、一部ノ勢力ニ牽制サレマシテ、大體ニ於テ増産品種ヲ獎勵シヨウトシテモ、ソレヲ斷行スル力ヲ持ツテ居ラス所ガアリマス、斯様ナ點ヲ考ヘマスル時ニ、本法ヲ實施致スニ當リマシテ、農林大臣ハ飽クマデモ今マデノヤウナ獎勵品種デナケレバ合格ニシナイト云フヤウナコトデナクシテ、假令政府ノ獎勵品種デナクテモ、出來タ米ガ良クテ、調製モ良クテ、乾燥モ良ケレバ、是ハ合格スルコ

トガ出来ルト云フヤウニシテ、獎勵品種ニアラザレバ決シテ合格シナイト云フ、此ノ過去ノ方針ヲ根本的ニ廢止サレル必要ガアルト思フノデアリマス(拍手)特ニ此ノ點ハ大臣ノ明快ナル御答ヲ戴キタイト思ヒマス

次ノ問題ハ、今後各地方ニ於キマシテ、種別ヲ色々付ケルコトハ宜シイガ、種別ヲ明示シテ以上ハ、一等カラ四等、五等、六等ト云フヤウナ、等級ノ複雑サヲ止メマシテ、合格ト不合格ト二ツニ分ケテシマフ、サウシテ合格ノ中デ、特別ニ良イ分ダケハ、特別ナ印シヲ付ケルト云フヤウナ、極メテ簡易ナル所ノ等級ヲ付ケラレルノガ宜イノデハナイカ(拍手)此ノ點特ニ農林大臣ノ御意見ヲ聽キタイト思フノデアリマス、是ハ穀播モ非常ニ近付イテ居リマスガ故ニ、大臣ニ此ノ際ハツキリ言ウテ貰ハナケレバ、地方ハ穀播ニ間ニ合ハヌコトニナリマシテ、今年モ亦七千万石ノ増産ガ間ニ合ハヌコトニナリマスカラ、ドウカ一ツハツキリ言ウテ戴キタイト思ヒマス(拍手)

第三點ハ、検査ノ統一ノ問題デアリマス、是ハ沖繩縣ニ於キマシテハ、マダ穀物検査ガ實施サレテ居リマセヌ、所謂地方検査ガ實施サレテ居ナイノデアリマス、高知縣ニ於キマシテハ米ノ検査ハアリマスガ、是ハ任意検査デアリマス、或縣ニ於テハ、米ハ強制検査ヲシテ居ルケレドモ、麥ノ検査ノナイ所ガアル、假令アリマシテモ任意ノ所ガアリマス、又米ノ移出検査ダケヤツテ居ル所ガゴザイマス、之ヲ此ノ際一律ニ強制スルト致シマス云フト、ソコニハ相當ナ困難ガアルト云フコトヲ、政府當局ハ考ヘル必要ガアルト思フノデアリマス、例ヘバ乾燥ニ致シマシテモ、瀬戸内海沿岸ノヤウナ乾燥地帯デハ、相當ニ乾燥ノ良イ米ガ出来マスケレドモ、地方ニ依リマシテハ、所謂濕潤地帯ニ於キマシテハ、政府ガドンナニ水分一六%ノ乾燥程度ニシヨウト思ヒ

マシテモ、如何ニ火力乾燥ヲヤツテモ間ニ合ハナイノデアリマス、吾々ノ地方デハ、ソレヲヤラナクテモ、天日乾燥デ一・二%ノ乾キ過ギタ米ガ出来ルノデアリマス、農民ハ此ノ乾燥ノ強化デ非常ニ困ツテ居リマス、全ク自然ノ制約ニ依リマシテ、乾燥ノ程度ノ統一ハ出来ナイノデヤナイカト私ハ思フノデアリマス、又調製ニ致シマシテモ、農具ガ變レバ調製ハ變ツテ来マス、米ノ調製ニ於テ統一ヲシヨウトスルナラバ、先ヅ農具ノ性能ノ統一カラ始メナケレバ出来ル話デハナイノデアリマス、農具製造ヲ今日ノヤウナ自由バラノナ状態ニ置キマシテ、此ノ農具ニ依ツテ作ツテ居ル米ノ調製ヲ統一シヨウト云フコトハ、中々無理デアリマス、例ヘバ胴摺ノ多イ米ガアリ、碎米、屑米ノ多イ米ガアリ、青米ノ入ツテ居ル米ガアリマス、ソレヲ統一スルコトハ困難デアアルト思フノデアリマス、俵裝ニ致シマシテモ吹アリ、單俵アリ、二重俵アリ、複式俵ガアリマス、繩ニ於テモ太サガ違ヒ、掛ケ方ガ違フ、例ヘバ岡山縣ノヤウニ、御幣掛ケデナイ所ノ、難カシイ蛙股掛ケト云フヤウナモノガアツタリ、男結ビヤネデテハサケルノモアツタリ、非常ニ違ツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フモノヲ一々統一ヲスルコトハ、非常ニ困難デアリマス、正味量ニ付キマシテモ、込米二升ヲ廢メタ縣ガアルシ、取ツテ居ル所ガアル、是モ私ハ困難ダト思フノデアリマス、宮城縣ノヤウニ重量取引ヲシテ居ル所モアルカト思ヘバ、全國的ニハ容量取引デアリマス、全體ヲ通ジマシテ、米ノ検査程度ハ非常ニ差等ガアリマス、極メテ嚴格ナ検査ヲスル縣ト、極メテ緩和ナ縣ト、或ハ實施サレテ居ナイ縣ガアリマス、斯ウ云フモノヲ全體ヲ統一シテヤリマス場合ニ於キマシテ考ヘネバナラスコトハ、一部分ノ縣外移出米ノ爲ニ、アトノ縣内消費ノ全體ノ米ニ、嚴重ナ強制検査ヲ

ヤツテ見タリ、地主的勢力ニ壓迫サレタリ、或ハ商人ノ力ニ壓迫サレマシテ、地主本位、商人本位ノ嚴格ナル検査ガ今日マデ行ハレテ来マシテ、農民ハ泣イテ居ルノデアリマス、政府ハ此ノ際飽クマデモ生産者本位ノ、國家本位ノ立場ニ於キマシテ、是等ノ検査制度ヲ緩和ナ検査ヲヤツテ居ル縣ノ高サニ統一スル、嚴重ナ検査ヲシテ居ル縣竝ニハ統一シナイ、サウ云フコトヲサレルコトガ、此ノ時局下ニ於キマシテ、極メテ時局ニ協力シ、増産ニ一途邁進シテ居ル所ノ、農村ノ實情ニ合致シタ所ノ方針デアルト考ヘルノデゴザイマスガ、特ニ大臣ハ此ノ検査ノ程度ヲ緩和ナル縣ノ状態ニ統一スルト云フ御意思ガアルカドウカ、其ノ他ノ點デ統一ト云フコトハ、極メテ困難デアルガ、其ノ緩和ナ程度ヘノ統一ナラバ、極メテ簡單ニ出来ルト思フガ、一體ドウ云フ方針デアルカ承リタイト思ヒマス(拍手)

第四點ハ、容量ト重量ト問題デゴザイマス、米ノ検査ガ始リマシタ當時ニ、即チ俵裝ヲ調製等ノ問題ヲ考ヘマシテ、農商務省ハ明治四十三年五月二十四日、次官通牒ヲ以チマシテ、米穀検査ニ於テハ、地主ト小作人ト利益分配ヲ公平ニスル爲ニ、地主ヨリ小作人ニ對シ補給米、補給金交付ニ關スル施設、竝ニ地主ノ意圖等ヲ能ク調べテ、誤リナク運用セヨト云フコトヲ、各縣ニ通牒ヲ發シテ居リマスルケレドモ、遺憾ナガラ是ガ實施サレテ居ル縣ハ極メテ少イノデゴザイマス、ソコヘ持ツテ參リマシテ、昭和四年頃カラ農村ニハ「ロール」摺ノ粗摺機械ガ入ツテ參リマシタ、過去ノ土臼ヤ廻轉盤ニ依ルモノヤ、岩田式ノヤウナ農具ヨリ、胴摺レノシナイ、碎米ノ割合ニ出テ来ナイト云フ點ニ於テ、農林省ハ此ノ「ロール」摺ノ粗摺機械ヲ推奨シテ居リマス、所ガ岡山縣ノ農事試験場ノ調査ニ依リマスルト、土臼デ摺リマシタ米ハ胴摺レガシテ居リマス、

米ノ膚ニ傷ガアル、「ロール」摺ノ場合ニハ膚ニ傷ガナイ、ダカラ土臼ノ場合ニ於テハ六百三十粒ニ對シテ、「ロール」摺ノ場合ニハ七百粒入ル、粒ニシテ一割多イノデアリマス、土臼ガ六百三十粒ニ對シテ、「ロール」摺ハ七百粒、隨テ土臼デ摺ツタ一升ノ米ノ目方ガ三百八十五匁ニ對シマシテ、「ロール」摺ノ場合ガ四百五匁アリマス、粒數ニシテ一割、目方ニシテ一升三十匁ト云フ大キナモノガ、此ノ「ロール」摺ノ結果拵ノ中ニ入ツテ居ルト云フ事實ハ百姓ハ皆知ツテ居ル、知ラナイノハ地方ノ地主ト農林省位ナモノデス(拍手)此ノ「ロール」摺ニ依リマシテ、ナゼ多ク入ルカト言ヘバ、米ノ膚ガ摺レナイ爲ト、角張ツタ所ガ摺レ過ギテ磨滅シテシマフノデアリマス、ソレカラ表皮ヲ剥イデシマフ、ソレデ中ノ脂肪質ガ露出シ、廻轉熱ガ分解シテ、米ノ膚ヲ捲ウテシマツテ能ク滑ルノデアリマス、滑ル結果、結局一俵ニ對シテ三升程度ノ米ガ多ク入ツテ居ルコトニナリマスガ、是ハ百姓ノ知ラヌ間ニ機械ヲ使ツタオ蔭デ入ツテ居ルノデス、ダカラ此ノ頃ハ一俵ガ十八貫以上ニモナツテ、田舎ノ相當元氣ナ若者デモ、一俵一俵ヲ自由ニ擔ゲナイト云フ、笑ヘナイ「ナンセンス」ガ村々ニアルノデアリマス、一俵ガ十八貫カラ、十八貫以上ナシテ云フ、筈棒ニ重イ米俵ガ出来テシマツテ居ルノデアリマス、曩ノ明治四十三年ノ次官通牒ノ趣旨サヘ行ハレテ居ナイ所ヘ持ツテ来テ、此ノ機械ニ依ル生産農民ノ負擔ガ、非常ニ加重シテ来マシタ、即チ機械ノ進歩、文明ノ恩惠ト云フモノガ、其ノ儘全部地主ト商人ノ方ヲ潤シマシテ、小作人、自作農ナドノ生産者ニハ、全部其ノ逆ノ結果ガ来テ、負擔トシテ轉嫁サレテ来タ譯ナンデアリマス

更ニ検査程度ノ引上ト云フモノガ、農民ニ對シテ一層負擔ヲ加重シテ參リマシタ、

此ノ機械ニ依ツテ米ノ良イモノガ出来テ来
ル、碎ケ米ガ少クナツテ来ルニ連レテ、其
ノ結果、検査ノ程度ガ段々高クナツテ不
合格米ガ多ク出来テ来マス、段々程度ガ高
マツテ来ル爲ニ、不合格米ガ多クナリマス、
ソレデ合格米ガナイノデ、小作米トシテ不
合格米ヲ持ツテ行キマス、地主ハ罰米ヲ
持ツテ来イト言ヒマス、所ガ不合格デアリ
マシテモ、昔ノ土曰デ摺ツタ米ヨリモ、實
質ハ枳目ガ澤山入ツテ居ル、枳目ノ澤山入
ツテ居ル不合格米ヲ持ツテ行ツタ上ニ、餘
分ニ罰米ヲ取ラレル、斯ウ云フ状態ニアル
ト云フコトヲ、十分農林大臣ハ御考慮願ハ
ストイカスト思フノデアリマス（拍手）隨
テ今日ノ農民ハ、四斗ノ俵ニ對シテ政府
ガ決メタル六十疋ニハ反對デアリマス、昔
ノ一升ハ三百八十匁カラ三百八十五匁
ダツタノダカラ、其ノ勘定ニ依ツテ
一俵十五匁四百匁乃至五百匁程度ニシテ
レト云フコトヲ、盛ニ要望シテ居リマス、
然ルニ目方トシテ取引シテ居ルノハ、宮
城縣ノヤウナ濕潤地帯ノ米ノ割合ニ輕イ
所デヤツテ居ル、西日本ノ乾燥地帯ノ米ノ
目方ノ割合ニ重イ所デハ、枳目ノ容量デ取
引シテ居リマス、斯ウ云フ不合理ガ、今マ
デノ地方穀物検査ノ制度ニ殘ツテ居ルノデ
アリマス、斯ウ云フヤウナ、農業ノ機械化
勿論今日ノ努力不足ノ時代ニ、是ハ大イニ
ヤラネバナラスノデアリマスガ、此ノ農業
ノ機械化ノ犧牲ヲ全部農民ニ轉嫁サセ、
「ロール」摺ニ依ツテ依ニ一割近ク餘分ニ米ガ
入ルト云フ、此ノ損失ヲ全部生産農民ニ負
擔セシメタルト云フコトハ、私達ノ斷ジテ承
服出来ナイ點ナノデゴザイマス（拍手）土曰
摺ノ時代ノ目方ニ、「ロール」摺ノ目方ヲ換
算致シマシテ、一俵六十疋デナクシテ、一
俵十五匁四百匁ノ程度ニ訂正シナケレバ
イカスト思フノデアリマス、少クトモ小作
トシテ納メマス米ニ對シテハ、農民ノ知ラ

ス間ニ、結局一割近クモ小作料ガ高マツタ
コトニナツテ居リマスカラ、特ニ國營検査
ノ實施ニ當リマシテハ、四十三年ノ通牒ニ
依ツテヤラレマシタヤウナ調子デ以テ、何
カ地方ニ通牒力指令デモ出シマシテ、此ノ
「ロール」摺ニ依ル所ノ、餘分ノ米ノ損失ヲ
何トカ方法ヲ講ジテ、補償セシムル所ノ方
法ヲ、明確ニ示サレル要ガ絕對ニアルト
私ハ考ヘルノデアリマス（拍手）特ニ西日本
ト北陸、東北ト云ツタヤウナ、自然ノ氣候
天候ニ依ツテ相違ノアル所ノ地方ヲ考慮ニ
入レラレマシテ、此ノ容量取引、即チ枳目
取引ト、重量取引ヲ、生産者ノ希望ニ依
テ、自由自在ニ希望ノ儘ニ取引スルコト
云フ、二本建ニシテ運用シテ行クト云フ方
針ヲ、此ノ案ヲ實施サレルト同時ニ、私ハ
ウシテモ運用シテ貰ハナケレバナラス重
ナ點デアルト思フノデアリマス、此ノ點
極メテ大事ナ點デゴザイマスノデ、政府ノ
御答辯ノ如何ニ依リマシテハ、吾々ノ本
ニ對スル態度モ、之ニ依ツテ決ツテ来ルト
思ヒマスガ故ニ、此ノ點特ニ態度ヲ明確
ニシテ貰ヒタイト思フノデアリマス（拍手）
鐵道大臣ハ居ラレマセスカラ、鐵道省當
局カラ一ツ聽キタイト思ヒマス、若シモ重
量制ニ依ル米ノ取引ヲ致シマス、現在モ
困ツテ居ル問題デアリマスガ、重量制デ貨
車ニ米俵ヲ積ムト、目方デ換算スルコトニ
ナリマス、目方デナシニ枳目目今マデ通
リニ積ムナラバ、米俵ガ澤山積メマスガ、
目方ニ換算スルト、俵ノ數ガ貨車ノ中ニ澤
積メナイノデアリマス、是ハ鐵道規則デ何
カ目方デ行クノト、依ノ數デ行クノトノ勘
定ノ違ヒダト思ヒマスガ、斯様ナ矛盾ガ今
日行ハレテ居リマス、是ハ目方ニ依ル重量
取引ニナリマシテモ、容量制ノ如ク依ノ數
デ今マデノヤウニ、貨車ニ何俵積ンデ居
タト云フ事實其ノ儘ヲ踏襲サレマシテ、今
後假令重量取引ニナリマシテモ、今マデ通

リノ俵ノ數ガ積メルヤウニシテ載キタイト
思ヒマスガ、特ニ鐵道省當局ノ之ニ對スル
御意見ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリ
マス
尙ホ標準米麥ノ査定デゴザイマス、此ノ
點ハ今モ少シ問題ニナツタノデゴザイマ
スガ、例ヘバ標準米ヲ決定スル時ニ、其ノ
上ニ出テ来マス委員ノ大部分ハ、大キナ
阪方面ノ米ノ問屋ノ連中カ、或ハ非常ニ大
キナ地主ガヤツテ来マシテ、實際ノ生産
民ガ殆ドソコニ入ツテ居ナイノデアリ
マス、例ヘバ小麥ノ標準ヲ決定スル時ニハ、製粉
會社ノ代表者、醬油會社ノ代表者ガヤツ
テ来マシテ、百姓ノ代表者ハ入ツテ居
ナイ、ソコデ其ノ年ノ米ノ標準ヲ決定
スル、ソレヲ検査員ガ地方ヘ持廻ツテ、標準検査ノ程
度ヲ決定スルノデアル、サウナルト検査
ノ程度ガ段々高マツテ来ル一路デゴザイ
マス、小麥ノ如キハ一雨被レバ色ガ變ツ
テ来マス、色ガ變ルト不合格トセラレ
マス、所ガ其ノ不合格トサレタ小麥ハ、
表皮ノ色ガ少シ變ツタダケデアリマス、
ソレヲ醬油ニ使ツテモ、製粉シテモ、加
工シタ場合ニ於テ何等變リガナイノデ
アリマス、唯損ヲスルノハ生産農民ガ
デアリマス、白米ニスレバ何等問題ハ
ナイノデアリマスガ、唯今マデハ生産
農民ノ發言力ガ、委員會ニ於テ極メテ
弱クシカ反映シナカツタ爲ニ、斯様ナ
結果ニナツテ居ルノデアリマス、特ニ
是等ノ標準米麥査定ニ付キマシテハ、
生産者本位デハハヤツテ貰ハナケレバ
ナラスコトデアリマス、政府ガ今後、其
ノ米、小麥ノ標準査定ヲ致シマシテヤ
ラレバ場合ニ於テ、今マデ地方デヤツ
テ居ルヤウナコトヲ廢メラレマシテ、各
方面ノ意見ヲ眞面目ニ聽キマシテ、ド
ウ云フ方法ニ依ツテ公正ナル所ノ標準
ノ米、麥ヲ査定スルカ、又其ノ委員ノ
選任ナドヲドウスルカ、ドウ云フ組織
ニ依ツテ之ヲヤラレル積リカ、

斯ウ云フ點ニ付テ特ニ御答ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス（拍手）
第六ノ點ハ包裝デアリマスガ、検査ヲ
一スルト申シマシテモ、一番困難ナハ包
裝ノ問題デアリマセウ、詰リ努力ガ不足
シテ居ル、藁加工品ニ對シテハ資材ノ藁
ガ足りナイ、サウ云フ時ニ於テ縣内ニ於
テ消費スル所ノ米麥ノ俵裝ト、縣外ニ
出ス所ノ米麥ノ俵裝ヲ對等ニ取扱フコ
トハ間違デアルト思ヒマス、此ノ間ニ
等差ヲ付ケナケレバナラスト思ヒマス、
特ニ昨年東北方面ニ於キマシテ、米ノ
出廻期ノ時ニ、單依ヲ使ツテ居ル經驗
ヲ、政府ハ持ツテ居ラレルノデアリ
マス、又一アキニ程度ノ古俵ハ、現在
ニ於テモ各縣ニ於テ使ツテ居リマス、
斯ウ云フ點カラ考ヘマシテモ、古俵ハ
是非使用ヲ認メラレタイノデアリマス、
サウ云フ色々ナ點カラ見マシテ、包裝
全體ニ付テノ統一ハ、急激ニハ出来
マスマイカ、地方ノ實情ヲ考慮シテ、
古俵デモ宜イ、單依デモ宜イ、縣内消
費ノ米麥ハ特ニ包裝ハ簡單ニシテ宜
イコト云フコトヲ、政府ハ考ヘラレバ
キデアルト思ヒマス（拍手）同時ニ一
重ノ俵、二重ノ俵、複式俵、繩ノ太サ、
繩ノ掛ケ方、斯ウ云フモノ全體ニ對シ
マシテ、農民ノ實踐的ナ經驗ヲ容レラ
レマシテ、何カ研究調査ノ機關デモ設
ケラレマシテ、一番理想的ナ間違ヒノ
ナイ方法デ、全國的ナ包裝ノ標準規格
ヲ御決定ニナルコトガ、必要デア
ルト思フノデアリマスガ、農林當局ノ
御方針ハ一體ドウデア
ルカト云フコトヲ承リタイ
検査料ノ點ニ付キマシテハ、前ノ方
カラモ申サレマシタカラ私ハ觸レマセ
ヌガ、吾等ト致シマシテハ、此ノ検査
料ハ當然廢止スベキモノデア
ルト云フ、決定的ナ意見ダ
ケヲ申上ゲテ置キマス（拍手）ドウ
シテモ政府ガ取ルト致シマスルナ
ラバ、特ニ小作米ノ如キハ、當然
地主ガ其ノ検査料ヲ負擔ス

ベキモノデアルト云フコトモ、併せて申上
ガテ置キマス、是ハ御答辯ハ要リマセヌガ、
アレバ承リマセウ

其ノ次ハ、地方ノ検査員ノ問題デゴザイ
マス、全國デ二万人ノ地方検査員ガゴザイ
マスルガ、政府ハ之ヲ其ノ儘引繼ガレヤ
ウニ、今農林大臣カラデナク、厚生省ノ方
カラノ御答辯ガアツタノデアリマスルガ、
果シテ厚生省ノ方ノ御答ヲヤウニ、農林省モ
御考ニナツテ居ルノカドウカ、或ハ一部分
ハ是ハ變更ニナル御考ガアルノカナイノカ、
農林大臣カラ承リタイノデアリマス、今マ
デノ此ノ穀物検査員ト云フモノハ、穀物ノ
生産、販賣、移動、調査高等ヲ調査スルダ
ケデナク、又生産販賣等ノ指導ヲシテ居ル
ノデ、今後ハ農村ニ於ケル所ノ、農林省ノ
直接ノ代表者トナルノデアリマスカラ、非
常ニ重要ト役割ヲ果スコトニナルノデアリ
マス、然ルニ今マデノ検査員ハ、俸給ハ碌
スツボナク、非常ニ待遇ガ悪ク、身分ノ保
障ガナク、極メテ不安定デアリマシタ、隨
テ如何ハシイ者ガ相當居ツタノデアリマス、
餘リニ片手間ナ仕事ヲシテ居タカラ、検査ヲ
申請ニ行ツテモ中々ヤツテ来ナイ、自分ガ
百姓ヲシテ居テ来ナイ、米ノ賣ル時期ヲ失
シタリ、小麦ノ賣ル時期ヲ遅クシタリシ
マシタ、甚シイノハ百姓カラ酒ヲ一杯飲マ
サレタイト、中々合格ニシナイト云フヤウ
ナ者モ、可ナリアツタノデアリマス、此ノ
検査員ガ今マデ薄給ト、身分ヲ保障サレナ
イト云フ爲ニ、斯様ナ不始末ナコトガアツ
タノデアリマスルカラ、今後政府ガ之ヲ統一
シテ、政府ノ役人トシテヤツテ行クヤウニナ
ルナラバ、斯様ナ如何ハシイ存在ガ絕對ニ無
イヤウニシテ貰ハナケレバナリマセヌ、隨テ
其ノ待遇ノ點ガ問題ニナルノデアリ、一體
之ヲドウ云フヤウニサレノカ、私ハ此ノ
検査ヲ國營ニサレト同時ニ、彼等ノ待遇
ヲ良クシテ貰フト共ニ、彼等ヲ選任採用致シ

マスル時ニハ、色々々御考慮ヲ戴キタイと思
フノデアリマス、特ニ農林當局ノ御考慮ヲ煩
ハシタイと思ヒマスル點ハ、彼等ノ技術的
ナ能力ノ缺ケテ居ル點デアリマス、例ヘバ
地方ノ検査所ニ行ツテ見マス、水分鑑定
器ハ「ホフマン」式ヲ使ツテ居ツテ、電氣式
ノモノヲ殆ド使ツテ居リマセヌ、非常ニ非
科學的ノモノヲ使ツテ居ルノデアリ
マス、又米麥ノ鑑定ハ肉眼鑑定デアリマス、
先ヅ其ノ最初ニ於テ理化學的ナ鑑定能力ヲ
持タシメテ後、始メテ其ノ經驗カラ、所謂
肉眼鑑定ノ能力ガ生レテ来ルノデアリマス、
斯ウ云フ點ニ付テノ經驗訓練ガ十分ニナイ
ノデアリマス、先ヅ検査員ガ薄給デアアル、
待遇ガ惡イ、片手間ニ仕事ヲシテ居ルト云
フ結果、斯様ナ如何ハシイ者ガ出テ来ルト
同時ニ、能力マデガ自然ト缺ケテ来ルコト
ニナリマスルカラ、今後政府ガ此ノ検査法
ヲ統制シテヤラレル以上ハ、十分ニ彼等ノ
訓練教育ヲ施サレルト共ニ、今マデノヤウ
ナ支障ノナイヤウニスルコトニ對シマシテ
ノ、萬全ナル處置ヲ執ラレタイと思フノデア
リマス、其ノ他マダ拓務其ノ他ニ關シマシ
テ、又ハ白米ノ検査等ニ付テ御尋シタイ點
モアリマスガ、萬事ハ委員會ニ譲リマシテ、
以上ノ點ニ私ノ質問ヲ止メテ置キマス（拍
手）

（國務大臣島田俊雄君登壇）

○國務大臣（島田俊雄君） 前川君ノ御質問
ハ、具體的又技術的ナ問題ニ觸レタ點ガ多
ウゴザイマシタカラ、是ハ委員會ニ於テ
能ク御答致シタイと思ヒマスガ、就中專賣
ノ問題ニ付テ、專賣力國家管理カト云フコ
トニ付キマシテハ、是ハ屢、御答シタ所デア
リマスガ、政府ト致シマシテハ、此ノ議會
ノ終了後ニ於キマシテ、是等ノ問題ニ付キ
マシテハ、十分準備等ニ於テ研究調査ヲ進
メルヤウニシテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居
リマス

調査機關ノコトニ付テノ御話ガゴザイマ
シタガ、是等ノコトモ併セテ自分ノ在任ヲ
致シテ居リマス間ニ十分考ヘテ見タイト考
ヘテ居リマス、品種ノ問題ニ付テハ、先程
前川君ヨリ御注意モアリマシテ、多收獲ノ
品種ヲ採用スルコト云フコトニ付キマシテハ、
大體御意見ノ通りニ、御指摘ナリマシタ方
面ニ付テハ、品種ヲ配付シテ居ルヤウナ次
第デアリマスガ、尙ホ之ヲ進メテ、其ノ他
ノ地方ニ對シテモ云々ト云フコトニ付キマ
シテハ、是ハ能ク考慮ヲ致シマシテ、方針
ヲ決定シテ實行致シタイト考ヘテ居リマス
ソレカラ等級ニ付キマシテ、合格、不合
格ト云フヤウナ、簡單ナ等級ニシテヤツタ
ラドウカト云フ御考ニ付キマシテハ、是ハ
是マデノ検査ノ方針ハ御承知ノ通りデアリ
マスガ、今日ノ米穀事情ノ上カラ考ヘマス
ト、只今ノ簡單ナ等級ニスルコト云フコトノ
御考ハ、一ツノ考トシテ、十分ニ政府ト致
シマシテハ考究ヲ致シテ見タイト考ヘテ居
リマス、ソレカラ検査ノ實際ニ付テ、條件
ノ緩和ナ地方ニ做ツテ、検査ノ上ニ於テ統
一ヲ圖ルヤウニスルコト云フコトノ御意見ニ
付キマシテモ、是亦政府ト致シマシテ、是
ハ御意見トシテ承リマシテ、能ク研究ヲシ
テ見タイト考ヘテ居リマス

尙ホ重量、容量トノ關係等ニ付キマシテ、
其ノ外包装等種々詳細ナル點ニ付テ御意見
ガアリマシタガ、是等ノ事柄ハ何レ委員會
ニ讓ツテ尙ホ問答ヲ致シ、御意見モ拜聽致
シタイと思ヒマス

手數料ノコトニ付キマシテハ、先刻來御
答ヲ致シマシタガ、是ハ今回ノ此ノ國營檢
査ノ實施ニ付キマシテ、検査ノ手數料ト云
フモノヲ、政府ノ一ツノ收入ト致シマシテ、
此ノ検査ヲ實施スルノ建前ト致シテ居リマ
スカラ、手數料ヲ廢止スルコト云フコトノ御
意見ニ從フコトハ困難ト思ヒマスガ、ソレ
等ノ點ニ付キマシテハ、尙ホ負擔者ノ關係

等ニ付キマシテハ、他ノ機會ニ於テ能ク御
答ヲ致シタイと思ヒマス

其ノ外現在ノ検査員ノ問題ニ付キマシテ
ハ、先刻私御答ヲ致シマシタガ、尙ホ重ネ
テ御答ヲ致シテ置キマス、大體ハ現在ノ縣
營検査、縣デヤツテ居リマス検査ニ使ツテ
居ル人達ヲ、之ヲ國營検査ノ方ニ移管シテ、
國營検査ノ方ニ使フ積リデアリマスケレド
モ、之ヲ實際ニ致シマス場合ノ待遇等ニ關
シマシテハ、先刻御答致シマシタヤウニ、
是ハ待遇ニ於テハ良クナルト考ヘマスガ、
恩給其ノ他ノ關係ニ付キマシテハ、尙ホ
研究ヲ要スル點ガアルト思ヒマスカラ、是
等ハ本人ノ不利益ニナラナイヤウニ、十分
善處スル積リデ研究致シタイと思ツテ居リ
マス（拍手）

（政府委員宮澤裕君登壇）

○政府委員（宮澤裕君） 只今前川君ヨリ鐵
道當局ニ對スル部分ノ御質問デゴザイマス
ガ、御質問ノ要旨ハ、米ノ取引ガ重量取引
ニナル傾向ガアルガ、サスレバ輸送量ニ於
テ非常ナ差ガ出来、又米價ノ上ニ於テ騰貴
ヲスル傾向ガアリハシナイカト思フ、隨テ
成ベク重量取引ニナツテモ、容量取引ノ儘
ノ狀態ニ輸送狀態ヲ續ケテ貰ヒタイト云フ
御希望デアリ、御意見ノヤウニ拜聽致シマ
シタ、極メテ適切ナ御質問デアリマシテ、
仰セノ通り近頃米作技術ノ進歩ト申シマス
ルカ、米ノ密度ガ非常ニ充實シテ參リマシ
テ、米ガ一體ニ重クナツタノダサウデアリ
マス、ノミナラズ依ニ入レル米ト申シマス
スモノノ數量モ殖ニマシタサウデアリマス、
其ノ他穀類等、今御示ノヤウナ理由ニ依
リマシテ、一俵ノ重量ガ從來ヨリ餘程嵩シ
デ參リマシタノデ、唯容量主義デ從來十應
ナリ、十五應車ガ何百俵積ンデ居ツタカラ
積ムト云フコトニ致シマス、貨車ノ負擔
モ餘程重クデ參リマスコトモ、是ハ事實ノ
ヤウデアリマス、殊ニ只今御話ノ内地ノ或

ル縣下ニ於キマシテハ、既ニ容量取引ヨリ重量取引ニ入ツテ居ル事情モゴザイマスノデ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ、時勢ニ適應致シマスルヤウニ輸送モヤラナケレバナラスガ、サレバト云ツテ、今低物價政策ヲ堅持シテ居リマスル時代ニ、數量ヲ減ジテ米價ニ影響ヲ及ボシマスルコトハ、是ハ考ヘナケレバカスト云フコトヨリ致シマシテ、色鐵道當局モ苦勞致シテ居ルノデアリマス、既ニ御承知下サル通り、昨年ノ暮カラ本年ニ掛ケマシテ、大凡二千八百萬圓ノ運賃ノ引下モヤツテ、鐵道省ハ低物價政策ニ協力致シテ居リマスル場合デアリマスルシ、此ノ二月ノ一日ヨリ只今御話ノ俵扱ト重量扱トヲ調節スルコトニ致シマシテ、成ベク運賃ノ爲ニ米價ニ影響ヲ及ボサナイヤウナコトヲ考ヘマスルト同時ニ、輸送量ヲ餘リ減退サセマセヌヤウニ工夫ヲ致シテ居ルノデアリマス、大體撥給申シマスルコト、要スルニ依ニ致シマシテモ、只ニ致シマシテモ、一應十六俵ト云フコトニ大體決マシテ、十五兩車デゴザイマスルト、二百四十俵積ムコトニ依ツテ、從來ノ容量主義ト、現在ノ問題ニナツテ居リマスル重量主義トヲ調和致シマシテ、米價ニ極端ナル變動ヲ及ボサナイヤウナ風ノ手配ヲ、去ル二月一日カラ實施致シテ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス（拍手）

○副議長（田子一民君） 大石大君

（大石大君登壇）

○大石大君 只今上程ニナツテ居リマスル穀物検査法案ニ對シマシテ、四五點御尋ヲ致シタイト思ヒマス、私ノ聽イテ見タイト思ウテ居リマシタコトハ、大半各派ノ諸君ニ於カレマシテ、論議シ盡サレタヤウニ存ジマスノデアリマスガ、其ノ間ニ對スル農林大臣ヨリハツキリシタ御答辯ノアリマセヌ點ヲ指摘シテ御尋シタイト思ヒマス

第一、政府ハ米穀行政ニ於テ品種ノ改良、

調製法ノ改良等ニ依ツテ、商品價値ノ向上ヲ圖リ、市場米價ヲ昂揚スルト云フコトニ重點ヲ置カレテ居ルカ、將又戰時體制下ニ於テ、最モ必要デアリ爲サナケレバナラス所ノ、國民食糧ノ充實ノ點ニ於テ、惡イ物デモ構ハヌ、増産ヲシナクテハナラヌト云フ點ニ重點ヲ置カレタ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、此ノ事ハ先刻來樋口君ヨリモ、前川君ヨリモ指摘シタヤウデアリマスガ、之ニ對シマシテハツキリ御答ガナカツタノデアリマスカラ、此ノ點ヲ先ヅ御答ヲ願ヒタイ

若シ夫レ増産ニ重點ヲ置クト致シマスルナラバ、此ノ產米検査制度ト云フモノト、ソコニ矛盾ガアリハシナイカト云フコトヲ疑フノデアリマス、現在各府縣ニ於テ施行致シテ居リマス產米検査ガ、非常ニ嚴格ナモノデアツテ、農民ガ非常ナル苦痛ヲ感ジテ居ルト云フコトモ、先刻來論議盡サレマシテ、特ニ此ノ點ニ對シマシテハ、前川君ヨリ詳細ニ指摘サレマシタ、第一選別ニ付キマシテ、非常ニ農民ガ苦痛ヲ感ジテ居ル、各府縣當局ハ、皆自分ノ府縣ノ米價ノ昂揚致シマシタコトヲ一ツノ誇ト致シマスルカラ、此ノ制度ノ施行ノ當初ハ、極メテ検査ハ簡單デアリマシタガ、年々經ルニ從ヒマシテ段々トソレガ強化サレル、今日四國邊リデハ、甲若クハ乙ニ合格スル爲ニハ、九回モサビ出シマシタケレバナラス、是ガ一番農民ノ苦痛デアル、殊ニ先刻樋口君ノ指摘セラレタ通り、天候ノ關係、土質ノ關係、其ノ他色々ノ關係ヨリ致シマシテ、惡イ米ガ出來タ時ニハ、殆ド三分ノ一モサビ出シマシタケレバ、是ガ合格シナイト云フ實況デアリマス、此ノ選別ニ於テ斯ウ云フ大キナ弊害ガアル、調製ノ上ニ於キマシテハ、私ハ主トシテ俵ヲ申上ゲマスガ、今各府縣、主ニ關西地方デヤツテ居リマス俵裝ヲ見マスト、一俵ノ俵ヲ作リマスノニ一日掛リマ

ス、是ハ會テ高知縣ガ昭和四年ニ產米検査ヲ施行スルコトニナリマシテ、知事ハ縣令ヲ發布シテ、二百七十名モノ官吏ヲ任命致シマシタケレドモ、農民ノ反對ニ依リマシテ、此ノ制度ハ施行セズニ撤廢致シマシタ、其ノ時ニ縣ノ主張ハ、一石ノ調整費ガ二圓五十錢デアル、二圓五十錢出スナラバ、立派ニ調製ガ出來ルト云フ主張デアリマシタ、農民ハ四圓掛ルト言フ、此ノ爭ガ起リマシテ、サウシテ香川縣カラ俵ヲ拵ヘルニ、最モ堪能ナ農民ヲ儲ウテ參リマシタ、縣ノ當局、農會ノ役員、農民、是等ガ立會ノ上デ俵ヲ作ラセマシタガ、丁度一俵ノ俵ヲ作ルニ一日掛ツタ、ソレハ固ヨリ俵ヲ編ミマス、アノ「フナワ」ト云フ繩カラ編ムテ掛ル、内側ノ俵ニハ九尋ノ繩ガ要ル、外側ニハ十尋カラ十一尋半ノ繩ガ要ル、此ノ繩カラ作り始メテ、ソレヲ編ンデ俵ニシテ、米ヲ入レテ、縱繩ヲ入レテ、五ツ所結ビマス、一日掛ル、斯ウ云フ實際ノ試驗ヨリ致シマシテ、成程農民ノ主張ガ正シイト云フコトニナリマシテ、是ノミデハアリマセヌガ、其ノ他色々ノ理由ガゴザイマシテ、高知縣ハ一度モ實施セズ、止メタノデアリマス、今日高知縣ハ生産額制検査ヲ致シテ居リマセヌカラ——隣縣カラ小作百姓ガ出百姓ニ參リマス、高知縣ハ二度米ヲ穫リマスカラ、一番ノ米ハ七月ノ二十四五日頃ニ刈リマスルガ、其ノ時ニハ隣縣ノ愛媛縣モ、香川縣モ比較的農閑期デアリマスルカラ、小作農民諸君ハ皆高知縣ニ働キニ來ル、年々一萬四千五百人來マシラガ、是ガ高知縣ニ產米検査ヲ施行シテ居ラスコトヲ見、聞キマシテ、サウシテ高知縣ニ逃避シテ來ル所ノ小作人ガ多數アルコトヲ見マシテモ、之ヲヤツテ居ル所ノ先進縣ガ調製ノ上ニ於テ、別ノ上ニ於テ、非常ナル苦勞ヲ致シテ居ルト云フコトヲ、強ク物語ルモノデアルト思ヒマス（拍手）サウシテ私ハ是ガ増産ニ非常ナル障礙トナルト云

フコトハ——固ヨリ食糧ヲ作リマスコトハ、唯農民ガ利己的ニ、打算的ニ儲ルカラ作ルト云フベキモノデアリマセヌガ、サリトテ百姓モ引合ハナイモノヲ耕作スル譯ニハ參リマセヌ、昨年以來政府ハ獎勵金ヲ澤山出シマシテ、澤山ノ役人ガ地方ニ出張致シマシテ、増産計畫ヲ御獎勵メニナツテ居リマスルガ、私ヲ以テ言ハシムルナラバ、米ヲ作ツテ引合フヤウニシテヤルナラバ、政府ガサウ獎勵セヌデモ米ハ作リマス、何トナレバ今日關西地方デハ、政府モ縣モ農會モ指導セヌノニ、疊ノ表ヲ作ル蘭デアリマス、蘭ノ如キモノハ、北支滿洲ニ非常ナル需要ガアルト云フコトデ、私共ノ縣ナドハ、今年ハ全耕地ノ一割七分ハ蘭ヲ植エルコトニ移行シタ、四割ガ西瓜、斯ウ云フ風ニ引合フ方ノ作物ニ、ドン／＼移行シテ參リマスカラ、サウカヲ入レテ金マデ出シテ政府ガ獎勵セヌデモ、引合フヤウニシテヤルナラバ米ハ十分作リマス、所ガ現在米ヲ作ツテ引合ハナイカラ其處ニ惱ミガアル、ソコデ此ノ產米検査ヲヤリマシテ、米ヲ生産スル農家ノ經濟ガ良クナルカ惡クナルカ、先ヅ之ヲ檢討シテ見タイ、此ノ國營検査ヲ施行致シマシテ、受檢米即チ検査ヲ受ケナケレバナラス米ガ、先ヅ私ハ三千五百萬石アラウト思フ、今各府縣デヤツテ居リマスル檢査ノ成績ニ依リマスルト、總生産ノ五四％ガ受檢米デアリマス、サウスルナラバ三千五百萬石アラウト思フ、若シ三千五百萬石ノ米ノ調製ニ一石四圓掛ルト致シマスルナラバ、農民ノ負擔ハ一億四千萬圓デアリマス、一億四千萬圓ノ負擔ヲ致シマシテ、サウシテ検査米ガ要求スル所ノ選別ナリ、調製ヲ致シマシテ、仍テ受クル利益ガ何ンボアルカ、検査ヲスルナラバ、之ニ依ツテ商品價値ガ上リ、非常ニ米ガ高クナルト云フコトナラバ、又ソコニ考モアリマスルガ、今日ハ御承知ノ通り米價ハ公定セラレテ居

ル、ソコ此ノ検査ヲ受ケタ米ト、検査ヲ受ケナイ所ノ未検査ノ米ト、價格ノ開キガドウナツテ居ルカト申シマス、私ノ縣ハ検査ヲ受ケテ居リマセヌカラ、未検査ノ故ヲ以テ、公定價格ヨリ二十五錢乃至八十錢安ク公定セヨト云フノガ政府ノ命令デアリマス、サウスルト未検査米ハ検査米ヨリ八十錢安ク公定スルトシテ、生産者ノ販賣米千七百七十万石ニ掛ケテ見マス、僅ニ千四百十六万圓ガケノ値上リデアアル、未検査米デ賣ルヨリモ検査シテ賣ツタガ爲ニ一ソレダケハ利益ガアル、併シ全生産ノ五四%ハ検査ヲセンケレバナラヌ米デアリマス、サウスルト其ノ三千五百万石ノ全検査米ノ中デ、生産者ガ賣リマス米ハ僅ニ千七百七十万石デアリマス、三千五百万石ノ検査ヲ受ケテ、其内生産者ガ賣ル米ハ千七百七十万石デアリマス、ソレニ對シテ八十錢ノ検査ヲ受ケタ利益ガアツタ所デ、千四百十六万圓デアアル、サウ致シマスルト、検査ヲ受ケタ爲ニ、其ノ調整、選別ニ力ヲ入レタガ爲ニ、一億四千四万圓ノ費用ヲ要シ、而シテソレヨリ検査ノ爲ノ値上リ千四百十六万圓ヲ差引クト、一億二千七百万圓ノ餘計ナ負擔ヲ生産農民ガ背負ハネバナラヌコトニナル、併シ米價ヲ公定致シマシタ今日、無検査デ少シモ銘柄ニ等差ヲ附セズシテ一位ニ置クト云フコトニ參ラヌコトハ私モ承知致シマス、検査ト云フモノハヤナケレバナリマス、其ノ検査ガ現在各府縣デヤツテ居ルヤウナ、極メテ高度ノ検査デアリマスナラバ、只今申上ゲタヤウナ數字ガ出テ來ルノデアリマス、此ノ數字ガ出テ來ル如キ検査ヲヤリマスナラバ、隨テ其ノ生産ヲ差控ヘル、茲ニ生産擴充ト検査制度ノ矛盾ト云フモノガ出來テ來ルノデアリマス、其ノ運用ノ如何ニ依リマシテハ、此ノ農民ノ大キナ負擔ガ緩和セラレ、隨テ進ンデ検査ヲ受ケルト云フ氣分ニモナリマ

セウ、今検査ノ程度等ニ付キマシテハ、篤ト御研究ナサルト云フコトデアリマシタガ、ドウカ斯ウ云フ點ヲ政府ニ於テハ御研究願ヒタイ、私ハ數字デ申上ゲタノデアリマス、ソレカラ第二點ハ、此ノ法律ヲ施行致シマスニ依ツテ、地主ト小作人間ニ又爭ヲ新タニシハシナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、各府縣トモ此ノ制度ヲ始メマシテニ於テ、検査ヲシテ調整ヲ良クシ、選別ヲ良クシ、サウシテ商品價值ハ上ルガ、因ツテ受ケル利益ハ全部地主ガ占有スルノデハナイカ、ソレデアアルナラバ小作人ハ堪ヘラヌト云フコトガ原因デ、相當爭ガアリマシタ、殊ニ只今此處ニ登壇セラレマシタ前川君ノ縣ナドハ、蓆旗竹槍ノ鬭爭マデ起ラントシタノデアリマス、此ノ時ニ縣當局ヤ或ハ地方ノ名譽職ノ人ナドガ仲ニ入ツテ獎勵米トカ、補償米トカ云フヤウナ制度ヲ置イテ、先ヅ地主ト小作間ヲ調整致シマシテ、一等米ニ對シマシテハ八升、二等米ニ對シテハ六升トカ、三等米ニ對シテハ五升トカ云フヤウナ、此ノ検査制度ニ依ツテ受クル所ノ小作人ノ損失ニ對シテ補償ヲ爲シ來ツタノデアリマス、先年高知縣ニ於テ此ノ制度ヲ布カントスル時ニモ、各地主ヲ縣ニ呼ンダノデアリマスガ、高知縣ニ於テハ地主ガ承知ヲシナカツタ、是ハ各府縣ノ検査制度ガ府縣令デ決メテアリマスカラ、一等米ニ納付ノ小作人ニ對シテハ何ボノ獎勵米ヲ出ス、何ボノ補償米ヲ出スト府縣令規則ニ依ツテ之ヲ命ジルコトハ出來ナイデアリマセウ、縣令デ所有權ノ侵害ハ出來ヌデアリマセウ、茲ニ國家ガ此ノ法律ヲ作りマス機會ニ於テ、尤モ此ノ法律ニ於テ細カシイコトハ規定ハ出來ヌケレドモ、名ハ何ト付ケマスカ、補償米ト付ケマスカ、獎勵米ト付ケマスカ、此ノ若干ノ損害賠償ノ意味デ本法ニ命令ノ定ムル所ニ依ツテ補償ヲ爲スベシト云フヤウナ原則ヲ規定シナケレバナラヌノデハナイ

カト思フノデアリマス、各小作人ガ今度國營検査法ガ出來ルサウダ、必ズヤ今貴ツテ居ル所ノ補償米、獎勵米ハ今度法律ガ出來ル機會ニ於テ其ノ權利ガ原則的ニ認メラレルデアラウト云フコトヲ、一般小作人ハ期待致シテ居リマス、然ルニ此ノ法案ヲ見マスト、検査ヲ受ケズシテ米ヲ授受シタ者ハ千圓以下ノ罰金デアアル、小作人ニ對シテハ法ノ峻嚴ヲ以テ臨ミ、地主ニ對シテハ從來ノ府縣ガヤツテ居ル如ク一ツノ協定ニ依ツテ、即チ地主ノ德義心ヲ喚起セシメテ之ヲ誘ハウト云フ御考デアアルカ、果シテ政府ガサウ云フ御考デアアルトスルナラバ、先刻樋口君ガ指摘サレマシタヤウニ、現在戰時下ニ於キマシテ農村ハ澤山ナ兵隊ヲ出シ、食糧ヲ供給シ、有ニル犧牲トナツテ居リマス、此ノ時ニ於テ小作人ハ検査ヲ受ケネバ千圓ノ罰金、地主ガ之ニ對シテ一ツノ獎勵米或ハ補償米ヲ出スコトハ地主ノ德義心ニ依ツテ何トカ誘ハウト云フコトハ、極メテ時代錯誤デハナイカ、此ノ點ニ付テドウ云フ考ヲ持タルカ明答ヲ得タイ

(副議長退席、議長著席)

又規格統一ヲ致シマスガ爲ニ、全國的ニ標準米ヲ御決メニナルヤウニモ承リマシタ、樋口サンカラバサウ云フ御尋ヲシタノデアリマスガ、農林大臣ノ御答ハ私ハツキリ聽取レナカツタガ、全國的ニ若シ一ツノ標準米ヲ設ケマシテ統一スルト云フコトハ、是ハ不可能デアリマセウ、私ハサウ云フコトハ殆ド論評スル所ノ價值ガナイト思フ、府縣每ニ於キマシテモ中々サウハ出來ナイ、現在各府縣ガヤツテ居ルノヲ見マシテモ、是ハ府縣統一トコロデハナイ、一郡一村デモ亦部落ニ依ツテモ違ツテ參リマスカラ、此ノ點モヤハリ困難ト思ヒマスガ、政府ハ其ノ標準米ハ全國的ニ一ツノ標準ヲ決メルカ、或ハ各地方毎ニ御決メニナルカ、之ヲハツキリ伺ヒタイ、サウシテ更ニ伺ヒタイ

ノハ第一條ノ二號ト四號デアリマス、即チ農林大臣ノ指定スル所ノ地域内デハ検査セヌデモ宜シイ、ソレカラ命令ノ定ムルモノ、是モ検査ヨリ除外ノヤウデアアル、産米検査ヲヤツテ居リマス所ノ府縣ハ、大體品種ノ統一モ略々出來テ居リマセウ、併シ産米検査ヲヤツテ居リマセヌ地方ハ、品種ノ統一ハ出來テ居リマセヌ、現ニ高知縣ナドハ四百何十種ト云フ米ヲ作ツテ居リマス、四百種モ三百種モノ米ヲ作ツテ置イテ居ル所ニ、直チニ此ノ法ヲ適用セラレタ場合ニ於キマシテハ、農民ハ非常ニ迷惑デアアル、ソコデ斯様ナ特別ナ地方ハ除外ヲナサルカ、殊ニ高知縣ハ二度米ヲ作リマスル關係上、先刻申上ゲタ通り七月ノ二十四五日から刈リマス、八月ノ五日頃マデニ二番稻ヲ植ニナケレバ後ノ米ハ獲レナイ、サウ云フ關係デ最モ雨ノ多イ時ニ之ヲ刈ルレマスノデ、雨ガ降ツテ居リマシテモ、田ガ流レル程雨ガ降ツテ居リマシテモ、之ヲ刈ツテ直グ後ニ植付ケルノデアリマス、サウ云フ關係デ産米検査制度ノ要求スル乾燥ハ出來ナイ、又乾燥ラシタナラバイケナイ米ヲ作ツテ居リマス、濡レタ儘デ宜イ米ヲ作ツテ居ル、サウ云フ關係カラ高知縣ノ早稻、詰リ二期作地方ノ米ニハ米穀統制法ハ適用致シテ居リマセヌ、只今申上ゲタヤウナ品種ハ産米検査ヲヤツテ居ラスガ爲ニ、品種ノ統一ガ出來テ居ラヌト云フコトガ一ツノ理由、一ツハ米穀統制法ノ適用ノ出來ナイト云フ特別ノ二期作ニ對シテハ、即チ斯ウ云フ事情ノアル所ニハ特ニ除外例ヲ設ケラレル御意思ガアルヤ否ヤ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

現在ノ各府縣ニ使用致シテ居リマス所ノ検査員ヲ、其ノ儘引續キ國家ガ引受ケルヤウニ拜聽致シマシタガ、現在ノ検査員ガ相當ノ弊害ノアルコトハ政府モ御認デアリマセウ、農林大臣ガ冒頭ニ於テ此ノ理由ヲ述

ペラレタ時ニ全國的ニ統一ト、是マデノ各府縣々々デヤツテ居ル検査制度ノ弊害ヲ矯正スルト云フコトヲ申サレタ、一體此ノ検査ハ概テ摺リマシタ時ニ於テハ、皆其ノ概ヲ摺ツタ場所デ検査ヲ受ケルノガ一番便利デアル、検査ノ度毎ニ倉庫カラ出シテ來ルノハ不便デアル、概テ摺ル日ガ決リマスレバ前以テ要求シテアリマスガ、中々検査員ガ來ナイ、或ハ村ノ有力者ノ所ニ検査シニ來イト言ヘバ多ク其ノ方ニ行ツテ、小作ノ方ニハ來ナイ、其ノ間ニ色々ノ情實ガ纏綿シテ居ルト云フコトハ、是ハモウ今日公知ノ事實デアル、斯ウ云フ點ハ十分ニ檢討致シマシテ、此ノ人事ヲアラナイト云フトトシテモナイコトガ起ルト思フ、斯ウ云フ點ハ別ニ御答ハ要求シナイノデアリマスガ、現在ノ検査員ヲ更ニ國家ガ採用スル場合ニ於テハ十分サウ云フ點ヲ詳細ニ檢討セラレテ、適當ニ分ラレルコトヲ希望致シマス、サウシテ補償米ニ對スル所ノ規定ガ、此ノ本法ニナイガ爲ニ小作爭議ガ起リハシナイコト云フコトニ付キマシテハ、時間ノ關係上内務大臣ガオ居デニテバ内務大臣ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、私ノ質問ハ是デ終リマス(拍手)

(國務大臣島田俊雄君登壇)

○國務大臣(島田俊雄君) 大石君ノ御質問中、品種ノ改良ニ重キヲ置クノ結果、或ハ増産ノ計畫ノ上ニ於テ、矛盾ヲ來スヤウナコトハナイカト云フ意味ノ御質問ニ對シマシテ、是ハ先刻前川君ノ御質問ニ對シテモ御答致シマシタヤウニ、政府ハ米ノ品種ノ改良ニ關シテ方針ニ付キマシテハ、是ハ將來ト雖モ堅持シテ行カナレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマスガ、唯現下ノ事情、又最近ノ米穀ノ事情カラ考ヘマシテ、増産ノ計畫ヲ實施スル上ニ於テ、多收穫ノ品種ヲ採用シテ行ク必要ガアルト云フ、此ノ考ヘ方ヲ以チマシテ、今回増産計畫ノ意味ニ於テ之ヲ實施シ、或ル地方ニ對シテハ、之

ヲ配付スルト云フ方法ヲ採ツタノデアリマシテ、斯様ナ結果ト致シマシテ、出來テ來タ米ニ對スル検査ノ上ニ於テ、其ノ方法等ニ付キマシテ、相當ナ考ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ勿論デアリマス、是等ノ事柄ニ付キマシテハ、本法實施ニ付キマシテ十分ニ研究協議ヲ致シマシテ、遺憾ナキヤウニ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ是等ノ點ニ關聯シテ、罰則ノ適用等ニ付キマシテ、地主、小作人ノ間ノ關係等ニ付テノ御話ガゴザイマシタガ、是等ノ點ニ付キマシテハ、何レ委員會ニ於テ尙ホ十分ニ御答致シタイト考ヘマス

其ノ他検査ノ統一ヲ期スル上ニ關係致シマシテ、全國的ニ一ツノ標準米ヲ定メルカト云フヤウナコトデアリマシタガ、是ハ先刻樋口君ノ御尋中ニモアリマシタガ、是等ノ事柄ハ一ツノ品種ヲ規格ヲ定メテヤルト云フコトヨリモ、今回ノ國營検査ト云フモノニ付キマシテ、検査ノヤリ方ノ大體ノ方法ト云フモノガ、統一ヲシテ行ハレヤウニ相成ル次第デアリマスカラ、之ニ付テ各地々々ノ矛盾ヲ省クト云フコトノ利益ヲ見テ居ル次第デアリマス、尙ホ高知縣等ノ特殊ナ地方事情ニ付キマシテハ、是ハ更ニ特別ナ地方事情ニ別ニ十分研究ヲシテ見タイト考ヘマス

ソレカラ之ヲ國ニ移管スルニ付キマシテ、現在吏員ノ間ニ色々ナ弊害ノアルト云フヤウナ御指摘ノ點ニ付キマシテハ、是ハ多數ノ地方ニ於テモ知レヌト思ヒマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハ、實施ニ當リマシテ十分注意ヲ致シマシテ、國家ノ統一機關ノ一ツトシテ、品位ヲ保ツテ行クコトノ出來ルヤウニ指導スルコトニ付テハ、十分努力ヲ致シタイト考ヘマス、其ノ他ノ點ニ付キマシテハ、尙ホ別ノ機會ニ於テ御答スルコトニ致シマス(拍手)

(政府委員青山憲三君登壇)

○政府委員(青山憲三君) 大石君ノ御質問中、内務省ニ關係スル點ニ付テ御答申上デマス、本法ノ施行ガ御質問ノ如キ小作爭議ヲ誘發スルガ如キコトハナイト信ジテ居リマス、内務省ト致シマシテハ、爭議ノ豫防ニ付テ遺憾ナキヲ期シタイト思ツテ居リマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、鑛業法中改正法律案、砂鑛法中改正法律案及ビ有機合成事業法案ヲ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、鑛業法中改正法律案、砂鑛法中改正法律案、有機合成事業法案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス

委員長櫻井兵五郎君

鑛業法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
有機合成事業法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一鑛業法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十五年三月十四日
委員長 櫻井兵五郎
衆議院議長小山松壽殿

(別紙)

(小字及ハ委員會修正)
鑛業法中改正法律案中左ノ通修正ス

附則

第十條 本法施行ノ際現ニ存スル試掘權ノ存續期間ハ本法施行ノ日ヨリ四年トス但シ石油ヲ目的トスル試掘權ニ付テハ主務大臣已ムコトヲ得ザル事由アリ
石油ヲ目的トスル試掘權ト認ムルトキハ四年以内之ヲ延長スルニ付テハ四年以内、石油以外ノ鑛物ヲ目的トスル試掘權ニ付テハ二年以内

報告書

一砂鑛法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十五年三月十四日
委員長 櫻井兵五郎
衆議院議長小山松壽殿

報告書

一有機合成事業法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十五年三月十四日
委員長 櫻井兵五郎
衆議院議長小山松壽殿

衆議院議長小山松壽殿
(櫻井兵五郎君登壇)
○櫻井兵五郎君 只今議題トナリマシタ三案中、先ツ鑛業法中改正法律案及ビ砂鑛法

中改正法律案ノ委員會ノ經過ノ概要竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス

右二法案ノ改正ニ對スル政府ノ眼目トスル所ハ、既ニ御承知ノ如ク鑛業法及ビ砂鑛法施行ノ實情ニ鑑ミ、竝ニ新ニ有用鑛物ヲ鑛業法所定ノ鑛物ト爲ス外、試掘權制度ノ改正、鑛業權制度ノ整備、砂鑛權設定ノ簡易化、竝ニ鑛業及ビ砂鑛業ニ對スル監督ニ遺憾ナキヲ期セントスルモノデアリマス

右審査ノ爲ノ委員會ハ、二月二十六日ヨリ開會致シ、三月六日質疑終了マデ八回ニ互リ開會致シ、質疑應答ヲ重ネマシタガ、先ヅ鑛業法ニ對スル質疑ノ第一點ハ、試掘權ヲ四年間ニテ打切ルコトト爲シタル趣旨如何、今回ノ試掘權制度ノ改正ハ、主トシテ増産ノ目的トスルモノナルヤ、増産ノ目的トスルコトヲバ、一層ニ重要鑛物増産法ヲ活用スルコトガヨリ適切ナラズヤ、又今回ノ改正ニ依レバ、今後試掘權ヲ得タル者ハ、必ズ四年内ニ試掘ヲ完了シナケレバナラスコトナルガ、機械不足ノ今日ハ事實上不可能ナル、而モ四年内ニ試掘ヲ爲サストノ理由ニ依リ、納稅竝ニ幾多ノ投資ヲ爲シタル權利ヲ無償ニテ取上ゲルコトハ、餘リニ苛酷デハナイカト云フコトデアリマシタ

質疑ノ第二點ハ、山野ヲ跋渉シ容易ナラス苦心ヲ重ネテ發見シタル鑛物ニ關スル試掘權ガ、僅カ四年デ失權スルコトトモナラバ、最早命懸ケデ探鑛スル者ハナクナル、結局探鑛心ヲ沮喪セシメ、探鑛獎勵ノ方針ト逆行スルコトデハナイカ

又質疑ノ第三點ハ、今回ノ試掘制度改正ガ、假ニ妥當ナリトシテモ、此ノ改正ニ依リ、從來久シキニ互リ少カラヌ納稅ヲ爲シ、莫大ナル投資ヲ爲シタル試掘權ヲ、一片ノ法律改正ニ依リ失フコトナリ、試掘權者ハ國家ニ依リ勞ニ酬ユルニ損害ヲ以テセラルルコトトナルガ、之ニ對スル政府ノ見解如何

又質疑ノ第四點ハ政府ハ試掘制度ノ改正ニ依リ、所謂豫備鑛區ヲ否認セントスルモノデハナイカ、若シ又豫備鑛區ヲ探掘權ノ形デ認メルトスレバ、今直チニ開發セザル地域ニ試掘ノ爲、資材、資金、勞力等ヲ使用スルコトハ、現下ノ經濟上特ニ損失デハナイカ、更ニ又、鑛業法第四十條トノ關係ハ如何ナル解釋ヲ下サルコトナルカ

次ニ質疑ノ第五點ハ、眞ニ本改正ノ實效ヲ舉ゲシメンガ爲ニハ、政府ハ固ヨリ、日本產金振興株式會社、帝國鑛業開發株式會社等ノ國策會社ガ極メテ積極的ニ民間ト協力スルコトガ必要缺クベカラザルコトト信ズルガ、政府ノ之ニ對スル所信如何等ノ諸點デアリマシタ

政府ノ之ニ對スル答辯ハ、第一點ニ於テ、試掘權ハ單ニ探掘ノ價值ニアリヤ否ヤノ調査ヲ保護スル爲ノ權利ニ過ギナイ、故ニ其ノ期間モ四年デ十分デアル、從來ノ如ク何年デモ其ノ延期ヲ認メルコトハ、試掘權制度ノ趣旨ヲ沒却スル結果トモナルノデ、四年デ打切ルコトト致シ、試掘權制度ヲ其ノ本來ノ趣旨ニ戻シ、權利ヲ濫用ヲ防止シヨウト云フ趣旨デアル、隨テ又本案ハ直接計數的ナ増産ヲ目標トシタモノデハナイ、併ナガラ今後ハ試掘權ハ四年デ打切ルコトトセラレタ結果、敢テ試掘モ爲サズシテ、漫然ト試掘權ヲ保有スルコト云フ弊害ハ、今回ノ改正ニ依ツテ多分ニ矯正セララルコトトナルカラ、此ノ方面カラ探鑛ヲ促進シ、將來ノ鑛產物ノ増産ニ資スルコトトモナル、而シテ今回ノ改正ハ、眞ニ試掘ヲ爲サントスル者ニ對シテハ、政府及ビ半官半民會社ヲ此ノ際徹底的ニ動員シテ、試掘ノ遂行ニ協力スルモノデアツテ、決シテ試掘權ヲ取上ゲヨウトスルモノデハナイ、寧ロ出來ルダケ早く之ヲ本來ノ鑛業權デアル所ノ探掘權ニスルコトヲ促進シヨウト云フノデアアル

第二點ニ於テハ、今回ノ改正ハ半面ニ於テ眞ニ山野ヲ跋渉シタル鑛物ヲ發見シ、試掘權ヲ得タル者ノ轉賣ノ利益ヲ少カラシメルノデハナイカト云フ點ニ付テハ、政府ニ於テハ積極的ニ斯ル鑛物發見者自ラノ試掘ヲ援助シテ、探掘權ヲ設定セシメントスルモノデアルカラ、是等ノ人々ノ探掘心ヲ決シテ阻喪セシメルモノデハナイ

第三點ニ於テハ現在試掘權ヲ持ツテ居ル者ニ付テハ、政府ハ有ユル援助ヲシテ四年内ニ試掘ヲ爲シ得ルヤウニ協力スル、而シテ試掘權ハ從來ノ制度ニ於テモ試掘ヲ爲サシメテ爲ニ認メラレタ權利デアアルカラ、試掘權者モ亦其ノ保有スル鑛區ニ付テ、速ニ探掘ヲ行フ義務ヲ有スルモノデアアル、尙ホ探掘ノ價值アルモノニ付テハ、之ニ探掘權ヲ設定スルノデアアルカラ、一概ニ試掘權ヲ喪失セシムル結果トナルモノデハナイ

第四點ニ於テハ今回ノ改正ハ、鑛業常識上當然ニ認メラレタ然レバキ程度ノ豫備鑛區ヲ決シテ否認セントスルモノデハナイ、唯從前ハ一度試掘權ガ設定セラレタル時ハ、何等ノ試掘行為ヲ爲サズトモ、是ガ存續ヲ事實上認メラレタ來タノデアアルガ、今後ハ鑛業法上ハ探掘鑛區ノ形ニ於テ之ヲ認メルト云フコトニナルノデアアル、而シテ今直チニ開發モシナイ地域ニ、試掘ノ爲、資材、資金、勞力等ヲ使用スルコトハ、國家經濟上損失デアアルト云フノデアアルガ、豫備鑛區等ヲ探掘權ノ形ニ於テ保持スルコト云フコトハ、即チ日本ノ鑛物ノ賦存狀態ニ關スル基礎資料ヲ得テ置クコトトナリ、將來ノ増産實現ニ備ヘルト云フ意味ニ於テ絕對ニ必要デアルト云ヒ

次ニ第五點ニ於テハ今回ノ改正ノ趣旨ハ、單ニ此ノ法律ノ改正ノミニ依ツテ、之ヲ達成シ得ナイコトハ言フマデモナイノデアツテ、其ノ爲ニハ政府及ビ特殊會社ノ積極的ナ協力ガ不可缺ノ要件デアアルコトハ全ク同感デアアル、政府及ビ特殊會社ハ從來ノ活動ニハ遺憾ノ點モ少クナイカラ、今後ハ其ノ陣容ヲ充實スルコト共ニ、積極的ニ民間ニ協力スルコトトスル等ノ答辯ガアリマシタ

尙ホ砂鑛法ニ付キマシテハ多クノ質疑ヲ見ナカツタデアリマスガ、蓋シ委員會ノ空氣ハ、其ノ砂鑛權ノ設定ヲ簡易化シタル點等、大體ニ於テ本法ノ改正ニハ満足ノ意ヲ表セラレタ模様デアツタノデアリマス、其ノ詳細ニ至リマシテハ、之ヲ速記録ニ依ツテ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

以上ニテ質疑ヲ終了致シ、本日委員會ヲ開キ本案ノ討議ニ入りマシタル所、澤田利吉君ヨリ民政、政友、時局同志會、第一議員俱樂部ヨリ成ル希望條件ヲ附シタル共同修正案ガ提出サレマシタ、其ノ修正案ヲ朗讀致シマス

第十條 本法施行ノ際現ニ存スル試掘權ノ存續期間ハ本法施行ノ日ヨリ四年トス但シ主務大臣已ムコトヲ得ザル事由アリト認メルトキハ石油ノ目的トスル試掘權ニ付テハ四年以内、石油以外ノ鑛物ヲ目的トスル試掘權ニ付テハ二年以内之ヲ延長スルコトヲ得

次ニ希望條件ヲ朗讀致シマス

一 政府ハ増産ニ必要ナル資材、勞力ノ配給ヲ完全ニシ探鑛採掘ニ萬遺憾ナキヲ期スベシ

二 政府ハ地質調査及鑛物調査ヲ一層效果的ナラシムベシ

三、政府ハ重要鑛物増産法ノ發動ニ依リ重要鑛物ノ探掘獎勵ヲ一層強化スベシ

四、鑛業助長ニ關スル國策會社ヲシテ其ノ機能ヲ充分發揮セシムベシ

五、政府ハ豫備鑛區及保護鑛區ノ取扱ニ付テハ特別ノ考慮ヲ加フベシ

以上ガ希望條件デアリマス

政府當局ハ此ノ修正案ニ付テ同意シ、且ツ希望條件ニ付テハ之ヲ尊重スル旨聲明セラレマシタ、之ニ對シマシテ條原義政君、東條貞君、小池四郎君、長谷長次君ヨリ修正案ニ同意ノ旨述べラレマシタ、社會大眾黨ノ川俣清音君ハ此ノ修正案ニ反對ノ意見ヲ述べラレマシタ、斯クシテ採決ノ結果修正案ハ大多數ヲ以テ議決セラレマシタ、尙ホ修正案ノ殘リノ政府原案ニ付キマシテ採決ノ結果全會一致ヲ以テ可決致シマシタ

次ニ砂鑛法中改正法律案ハ採決ノ結果滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此ノ段御報告ヲ申上ゲマス

次ニ尙ホ只今議題トナツテ居リマスル所ノ、有機合成事業法案ニ對シマスル委員會ノ經過ノ概要並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス

先ヅ本法律案ノ内容ハ、既ニ御承知ノ如ク、有機合成事業ノ中、主トシテ「アセチレン」「瓦斯」ニ水素及ビ一酸化炭素ヲ原料トスル有機合成品製造事業ヲ保護助成スルヲ目的トシ、國防上、産業上重要ナル有機合成品ニ限リ、本法ヲ適用セントスルノデアリマシテ、其ノ適用品目ト致シマシテハ、合成「ゴム」ヲ初メトシ、合成「トルオール」、合成「ベンゾール」「メタノール」「ブタノール」、醋酸、合成樹脂、合成纖維等デアリマスガ、合成「ゴム」ハ我國ノ重要不足資源タル天然「ゴム」ニ代用セラルモノデアリマシテ、天然「ゴム」ノ各用途ニ代替シ得ルノミナラズ、天然「ゴム」ニ比較致シマシテ、耐油性、耐酸化性、耐摩耗性等ノ化學的及ビ物理的性質ニ於キマシテ優レテ居リマスノデ、各種「タイヤ」「科學兵器其ノ他ノ軍需用資材」トシテ、極メテ優秀ナル性質ヲ有シテ居ル「デアリマス」、トルオール」「ベンゾール」「メタノール」「ブタノール」醋酸等ノ有機合成品ハ、爆藥、醫藥、染料、塗料、燃料、各種工業藥品等ノ原料トシテ、又合成樹脂ハ金屬、皮革等ノ代用品トシテ、合成纖維ハ

天然纖維又ハ人造纖維ニ代ルモノトシテ、孰レモ國防上、産業上甚ダ重要ナル物資デアリマシテ、更ニ今後有機合成工業ノ力ニ依リ、新ナル合成品ノ出現ガ期待セララル次第デアリマス、隨テ現下ニ於ケル内外ノ諸情勢カラ考ヘマシテ、有機合成工業ハ早急ニ之ヲ確立スルノ要ガアリ、本法案ハ是ガ爲ニ必要ナル助成、指導ヲ爲サントスルモノデアリマス

委員會ハ三月四日ヨリ三回ニ互リ開會致シ、熱心ナル質疑應答ガ交ハサレタノデアリマスルガ、今其ノ論點ヲ申上ゲマスレバ、原料タル「カーバイド」ノ供給確保ノ問題、所要石炭並ニ電力ノ確保ノ問題、有機合成事業確立ノ具體的方策ノ問題、有機合成化學ニ關スル綜合的試驗研究機關設置ノ問題、化學技術者ノ養成並ニ確保ノ問題等ニ付キマシテ、適切且ツ有益、否、委員側ヨリ鞭撻的ノ質疑ガアツタノデアリマスルガ、之ニ對シマシテ政府モ亦極メテ懇切丁寧ナル應答ガアツタノデアリマス

斯ク致シマシテ三月十二日委員會ハ質疑ヲ終了致シ、本月更ニ委員會ヲ開キマシテ、討論ニ入りマシタ所、民政黨ノ澤田利吉君、政友會ノ篠原義政君、同ジク政友會ノ東條貞君、社會大眾黨ノ加藤鐵造君、時局同志會ノ小池四郎君、第一議員俱樂部ノ長谷長次君ヨリ、各、原案贊成ノ意見ヲ述べラレマシタ、斯ク致シマシテ採決ノ結果、滿場一致ヲ以テ原案ヲ可決致シマシタ次第デアリマス、詳細ハ速記録ニ依ツテ御承願ヒタイノデアリマス、以上簡單ニ御報告申上グル次第デアリマス（拍手）

○議長（小山松壽君） 三案中、鑛業法中改正法律案ノ委員長ノ報告ハ修正デアリマスカラ、先ヅ此ノ案ノ審議ヲ爲シ、次ニ他ノ二案ヲ一括シテ審議スルコトト致シマス、是ヨリ鑛業法中改正法律案ノ審議ニ入りマス、本案ノ討論ハ便宜上第一讀會ニ於テ爲ス

コトト致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシ

タ

○服部崎市君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開

カレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君） 服部君ノ勸議ニ御異

議アリマセヌカ

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議

案全部ヲ議題ト致シマス

鑛業法中改正法律案 第二讀會

○議長（小山松壽君） 是ヨリ討論ニ入りマ

ス——川俣清音君

○川俣清音君 我ハ鑛業法中改正法律案ノ

委員長報告ノ中、修正ノ部分ニ付テ反對ノ

意見ヲ述べル者デアリマス

本委員會ハ委員長報告ノ通り、質疑ヲ打

切りマシテカラ今日マデ、約十日間ヲ空費

シタカノ如キ感ヲ呈シテ居ルノデアリマス、

本委員會ノ大勢ハ、最初ニ於キマシテハ、

極ク少數ノ人々ノ修正意見ハ、ボツ／＼見エテ居リマシタケレドモ、大勢ハ原案贊成デアツタノデアリマスガ、最後ニ至リマシテ修正ニ同意サレタノデアリマスケレドモ、其ノ經過カラ見マシテ、私共ハ飽クマデ原案ニ贊成シ、正修正反對致シタイノデアリマス、其ノ理由ハ、本法案提出ノ理由ガ、時局ノ逼迫セル情勢ハ、睡眠鑛區ヲ開發スルト共ニ、徒ニ占有スル試掘權ノ濫用ヲ防止スルノ目的ヲ以テ、試掘權ヲ排除致シマシテ、勞務管理ノ徹底ヲ期セラレル、而シテ技術的ニ採掘可能ナル採掘鑛業權ヲ以テ地下資源埋藏量ヲ明確ニシテ、鑛產資源開發ノ計畫ヲ具體化シ、以テ戰時國民經濟ノ上ニ寄與セントスルノガ、本改正法律案ノ要旨デアルト考ヘルノデアリマス、之ニ對シテ修正者ノ御意見ノ御尤モト見エル點ハ、今日業界ニ於テハ多額ノ金ヲ投資シテ鑛業開發ニ當ツテ居ルノデアアル、中ニハ破産致シテ居ル者スラアル程ニ、鑛業開發ニ熱心ニ當ツテ居ルノデアアル、ソレヲ四年間ニ於テ打切ラレルコトハ堪ヘラレナイカラ、モット延長シタラドウカト云フノデアリマス、一應御尤モノヤウニ聞エマスケレドモ、本鑛業法ハ其立法以來——明治初年ノ鑛山心得以來、日本坑法、或ハ鑛業條令、或ハ現鑛業法等ノ歴史カラ見マシテ、又諸外國ノ立法例等カラ見マシテ、鑛業權ト云フモノハ採掘權ガ主デアリマシテ、試掘權ハ鑛業權ノ極ク一部ニ過ギナイノデアリマス（拍手）殊ニ試掘權ハ採掘權ト違ヒマシテ、勞務管理ノ規定モ不十分デアリマス、又鑛害賠償ノ責任ノ存在モ不十分デアリマス、其ノ責任ニ於テ斯ル不十分ナル試掘權ヲ以テ大規模ノ採掘ヲ爲スコトハ、本法律ノ精神ニ反スルモノデアリマシテ、諸外國ニ其ノ例ヲ見ナイノデアリマス、隨テ試掘權ヲ以テ便宜的ニ採掘行爲ヲ爲ス者ハ不誠意ナル鑛業權者ト言ハナケレバナラナイと思フノデアリマス（拍手）即チ民法ノ第二百六條ノ土地所有權カラ見マシテ、或ハ鑛業法ノ第三條所謂未ダ採掘セラレザル鑛物ハ國有トス——地下ノ埋藏資源ハ國有デアリマス、之ヲ土地カラ分離シテ、取得處分スル權限ガ採掘權デアリマス、試掘權ハ未ダ鑛物ヲ探索調査スル行爲デアリマシテ、之ヲ取得處分スルノ權限ヲ試掘權ハ持ツテ居ラナイノデアリマス、試掘權ハ此ノ地表地下カラ取り出シテ來テ處分スルノ自由ノ權限ヲ持ツテ居リマセヌ、斯ル自由處分ノ權限ヲ持ツテ居ナイモノヲ強化スルト云フコトハ、私ハ穩カデナイコトデアルト考ヘルノデアリ

マス(拍手)鑛業法四十六條、四十八條、或ハ七十三條、七十五條、及ビ鑛業警察規則十一條、六十一條カラ見マシテ、試掘權ト採掘權トハ確然ト區別シテ監督ナサレナケレバナライモノデアルト考ヘルノデアリマス、鑛業經營ハ採掘權ヲ本位ニ指導監督スルコトガ方法ノ明記スル所デアリマスカ、商工省ハ其ノ法ノ命ズル儘ニ責任ヲ負ベキデアリマスケレドモ、今日ノ商工省ハ一塊ノ鑛石ノ欲シサニ、或ハ一握リノ石炭ノ欲シサニ、或ハ僅カナ砂金欲シサニ、法律ニ依ラズシテ此ノ試掘權者ノ採掘行為ヲ放任致シテ來タノデアリマス、此ノ鑛業法ヲ輕シマシテ斯ル行為ヲ放任スルコトハ、私ハ國土保安ノ上カラ、排地擁護ノ上カラ、立法精神カラ見テ嚴ニ戒ムベキコトデアルト考ヘルノデアリマス(拍手)殊ニ此ノ委員會ノ質問應答カラ見マシテ政府ハ深く考ヘサナナケレバナライ事態デアラウト考ヘルノデアリマス、鑛業權者ハ鑛業法規ヲ免角遵奉シナイ傾ガアルノデアリマス、ソレハ指導監督宜シキヲ得ナイ結果デアリ、鑛業法ヲ遵奉スルノ精神ニ疎イ業者ノ多ク現ハレテ參リマシタコトハ、是ハ商工省ノ監督指導宜シキヲ得ナイカラデアルト私ハ思フノデアリマス、斯ル風ニ放任致シテ居リマシタ結果、今日ノヤウナ修正案ガ出テ參リマシタノデアリマシテ、是ハ商工省ノ責任デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、殊ニ此ノ法案ト相次ギマシテ、諸君ノ御審議ニナリマシタ重要案地法ノ改正ヲ含ンデ居リマス字品ノ要案地ノ改正モ、此ノ鑛業法ト相伴ツテ居ルノデアリマス、斯ル重要ナル要案地スラ鑛業開發ノ爲ニ開放スルト云フ建前ニナツテ居ルノデアリマスカ、無責任ナル試掘權者ニ之ヲ任カセルガ如キハ、非常ナ危險デアルト考ヘナケレバナリマセヌ(拍手)隨テ誠意アル所ノ採掘鑛業權者ヲシテ、十分政府ノ監督ノ下ニ鑛業開發ニ當ラシメナケレバナライト云フノガ、私ノ本政府ハ自ラ此ノ鑛業法規ヲ蹂躪サレタカノ

如キ此ノ修正案ニ對シマシテハ、斷乎トシテ同意セザランコトヲ希望スル者デアリマス(拍手)
○議長(小山松壽君) 是ニテ討論ハ結局致シマシタ、採決致シマス、本案ノ委員長報告ニ係ル修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス(賛成者起立)
○議長(小山松壽君) 起立多數
(拍手起立)
○議長(小山松壽君) 仍テ委員長ノ報告ニ係ル修正ハ可決致シマシタ——其ノ他ハ原案ノ通り御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ其ノ他ハ原案ノ通り決シマシタ(拍手)是ニテ本案ノ第二讀會ハ終了致シマシタ
○服部崎市君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第三讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
鑛業法中改正法律案 第三讀會
○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマセヌ、本案ハ第二讀會議決ノ通り確定致シマシタ
(拍手起立)
○議長(小山松壽君) 次ニ砂鑛法中改正法律案、有機合成事業法案ノ審議ニ入リマス、兩案ノ委員長報告ハ孰レモ可決デアリマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○服部崎市君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通

リ可決セラレンコトヲ望ミマス
○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
砂鑛法中改正法律案 第二讀會(確定議)
有機合成事業法案 第二讀會(確定議)
○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ兩案トモ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)
○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際政府提出軍用電氣通信法中改正法律案ヲ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス
○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、軍用電氣通信法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長山本厚三君
軍用電氣通信法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一軍用電氣通信法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十五年三月十四日
委員長 山本 厚三
衆議院議長小山松壽殿
(山本厚三君登壇)

○山本厚三君 軍用電氣通信法中改正法律案ノ委員會ノ經過竝ニ議決ニ付キマシテ御報告申上ゲマス
本法律案立法ノ趣旨ニ付キマシテハ、既ニ本議場ニ於テモ明ニサレタ所デアリマスカラ之ヲ繰返シマセヌ、今日我國ノ軍用電氣通信ノ重要デアルトハ今更言フ俟チマセヌ、近來工業ノ進歩、都市ノ膨脹ニ伴ヒマシテ、電氣的設備又ハ機器使用ノ範圍ガ急激ニ増加ヲ致シテ參リマシタ結果、是等ヨリ發散致シマス所ノ高周波ノ電氣ノ作用ニ依リマシテ、軍用電氣通信ニ非常ナ障害ヲ與ヘルコトニナツタノデアリマス、之ヲ完全ニ防ガントスルノガ今回ノ本法案デアリマスルガ、先ヅ周圍二千米以內ニ特殊區域ト云フモノヲ指定致シマシテ、高周波發生設備ノ施設ヲ許可制度ト致シマシテ其ノ使用ヲ制限シ、除去其ノ他ノ處分ヲ爲シ得ルコトニシヨウト云フノデアリマス、又是等ニ付キマシテ報告ヲ命ジ立入檢査ヲスルト云フヤウナ、強力ナ規定モ設ケルコトニシヨウト云フノデアリマス
本案ニ付キマシテハ、委員ト政府トノ間ニ種々質疑應答ガ行ハレマシタガ、我國今日ノ情勢ニ照シマシテ、緊要ナル立法ト認メ、滿場一致ヲ以テ原案通り可決ヲ致シタ次第デアリマス、此ノ段御報告申上ゲマス(拍手)
○議長(小山松壽君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○服部崎市君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス
○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

軍用電氣通信法中改正法律案

第二讀會(確定議)

○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマセス、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

○服部時君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際、第三號、昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第二號、昭和十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、及ビ追第二號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件ノ三案ヲ一括議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラシムコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、第三號、昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第二號、昭和十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、追第二號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、右三件ヲ一括シテ議題ト致シマス、豫算委員長ノ報告ヲ求メマス

(第三號) 昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案

(特第二號) 昭和十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

(追第二號) 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

報告書

一(第二號) 昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十五年三月十四日

豫算委員長 三土 忠造

衆議院議長小山松壽殿

官報號外 昭和十五年三月十五日 衆議院議事速記第二十六號 (第三號) 昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案外二件

報告書

一(特第二號) 昭和十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十五年三月十四日

豫算委員長 三土 忠造

衆議院議長小山松壽殿

報告書

一(追第二號) 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十五年三月十四日

豫算委員長 三土 忠造

衆議院議長小山松壽殿

三土忠造君

只今議題トナリマシタル各案ニ付キマシテ、豫算委員會ニ於ケル經過竝ニ結果ヲ簡單ニ御報告申上ゲマス

今回ノ昭和十四年度一般會計追加豫算ハ歳入三千二百餘萬圓、歳出三千八百餘萬圓ニアリマシテ、差引歳出ノ超過額ガ六百萬圓トナツテ居リマスルガ、此ノ歳出超過額ハ、昭和十四年度豫算實行上ニ於ケル歳入超過額ヲ以テ、支辨スルコト云フ政府ノ説明デアリマス、尙ホ右金額ヲ前議會及ビ今議會ニ於テ、既ニ協賛ヲ經マシタ昭和十四年度ノ本豫算及ビ追加豫算ニ加算致シマスルト、歳入四十八億四百萬圓、歳出四十八億四千四百萬圓ト相成ル次第デアリマス、是ガ昭和十四年度ノ豫算ノ全部デアリマス、而シテ今回ノ追加豫算ニ付キマシテ、其ノ歳入ノ内譯ハ、經常部ガ千七百三十餘萬圓、臨時部ガ千四百七十餘萬圓デアリマスガ、内專賣局益金、通行税及ビ刑務所收入ノ増加等、普通歳入ニ屬スルモノガ千九百六十餘萬圓、前年度剩餘金繰入ノ増加ガ千二百四十餘萬圓デアリマス、次ニ歳入ノ内譯ハ經常部四百八十餘萬圓、臨時部三千三百二十餘萬圓デアリマシテ、其ノ内主要ナル經費ハ、北支那開發及ビ中支那振興特殊會社ノ補助金二百五十餘萬圓、重要肥料供給補助施設費ノ増加千二百餘萬圓、重要飼料確保施設ニ要スル經費百六十餘萬圓等デアリマス、北支那開發及ビ中支那振興特殊會社補助金ハ、兩會社ニ對シ、同會社法ノ規定ニ依リマシテ、昭和十四年一月一日ヨリ同年十二月三十一日ニ至ル營業年度ニ於ケル投資融資、及ビ自營業業ニ依ル收入ノ不足額ヲ補填スルモノデアリマス、今日マデ此ノ投資ヲ見マスルト、北支那開發會社ノ投資額ガ二億四千七百萬圓、中支那振興會社ノ投資額ガ三千八百萬圓、合セテ二億八千五百萬圓ニナルデアリマスルガ、御承知ノ通り法律ニ依リマシテ、拂込資本ニ對シマシテハ七分、社債ニ對シマシテハ五分ト云フ保證ヲ致シテ居リマスルノデ、右申ス昭和十四年一月一日カラ十二月三十一日マデニ於ケル收入ト、右資本金ニ對スル割合ヲ乘ジタモノトノ差額ダケガ、二百五十萬圓ト云フ補助金ニナル譯デアリマス、又重要肥料供給確保施設費ノ増加ハ、硫酸其ノ他重要無機質肥料ノ供給ヲ確保スル爲、各種ノ方策ヲ講ジ、主要農産物ノ生産遂行ニ遺憾ナキヲ期セントスルモノデ、其ノ經費ノ一部ハ異ニ第二豫備金支出ニ依リ支辨シテ居ルノデアリマスルガ、今回ノ繼續實施スル爲ニ必要ナル經費ト、其ノ後ノ繼續ニ依リ新シイ施設ヲ爲スニ必要ナル經費トヲ要求シテ居ルノデアリマス、重要飼料供給確保施設ニ要スル經費ハ、最近ニ於ケル飼料ノ需要狀況ニ鑑ミ、重要飼料ノ輸入爲、飼料統制機關ヲシテ適切ナル施設ヲ爲サシメントスルモノデアリマス

尙ホ特別會計追加豫算ハ、大藏省預金部、關東局、帝國大學、官立大學、農業再保險、帝國鐵道、朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳、健康保險及ビ郵便年金ノ各特別會計ニ關スルモノデアリマシテ、何レモ本年度内

ニ於テ必要額、ベカラザリ經費ヲ計上シテ居ルノデアリマス

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件ハ、道府縣六大都市等ノ公共團體ガ、生産力擴充計畫ノ遂行其ノ他ノ爲ニ必要ナル勞務者ノ住宅ヲ建設シ、之ニ因リ損失ヲ被ツタ場合ニ、之ヲ國庫ニ於テ補償セントスルモノデアリマス

以上ガ豫算案ノ内容デアリマシテ、金高ハ僅ニ三千餘萬圓デアリマスケレドモ、豫算委員會ニ於キマシテハ約一週間ヲ費シマシテ、各委員トモ熱心ニ質問致シマシテ、問題ヲ明ニ致シタノデアリマスガ、本日午後ニ討論ニ入りマシテ、中村三之丞君、山本芳治君、石坂豐一君、三木武夫君、笠井重治君、此ノ五君ハ、色々言ヒ方ハアリマシタケレドモ、綜合致シマス、本追加豫算中ニハ助成金、獎勵金ガ多分ニ含まレテ居ル、其ノ中時局ニ便乗セルモノト思ハレルモノモアル、又是ガ運用如何ニ依ツテハ、物價政策竝ニ増産計畫ニ逆作用ヲ來スノ虞ナシトシタイモノガアル、故ニ豫算ノ執行ニ當ツテハ、出來得ル限り無駄排除、冗費節約ヲ圖ラレタイ、斯ウ云フ希望ヲ以テ原案ニ賛成致シマス云フコトデ賛成サレマシタ、一人塚本重藏君ハ、商工省所管、臨時部第七款、工業獎勵費ノ中ノ「マッテ」生産獎勵費三十四萬六千九百九十一圓、此ノ金額ヲ削減シタイト云フ修正動議ヲ出シタノデアリマス、「マッテ」ノ供給不足ト云フコトハ洵ニ困ツタコトデ、ソレハ認メテ居リマスケレドモ、斯様ナ方法ニ依ラズシテ、他ニ別途ノ方法ヲ講ジラ宜カラウ、ト言フ意味ハ、製造業者ノミニ補助ヲ與ヘルト云フコトヲセズニ、他ノ方法ニ依ツタラ宜カラウ、斯ウ云フ趣旨ニ依ツテ一應之ヲ削ル、斯ウ云フ動議デアリマシタ、ソレカラ賛成ノ中デ、特ニ石坂豐一君ヨリ附加ヘラレタノハ、農林省ノ所管デアリマスルガ、木材検査ノ費用ガ僅ニ九萬圓餘アルノデアリマス、是ハ木材ノ検査員ヲ養成スルノト、

ソレカラ検査ヲスル其ノ費用デアリマシテ、現在ソレヲヤツテ居リマス所ヲ見マスルト、是ガ爲ニ非常ナ紛争ヲ生ジ、非常ナ迷惑ヲシテ居ル、木材ノ生産出廻リニ非常ナ支障ヲ來シテ居ル現狀ニ鑑ミテ、斯様ナモノハ止メテ宜シカラウ、削減シテ於テ之ヲ通過サシテハ、總括的ニ各派一致ノ希望條件ヲ附ケテ、政府ハ豫算ノ執行ニ當ツテ、成ベク不用ニ歸スルヤウニシテ貰ヒタイト云フ意味デアツタノデアルカラ、是ト同様ノ意味ニ於テ、此ノ追加豫算ハ認メテ置クガ、此ノ費用ニ付テ政府ハ實施ニ當ツテ之ヲ使ハナイヤウニ、而シテ木材ノ生産配給ニ支障ヲ生ゼシメナイヤウニト云フ意味ヲ以テ、警告ヲ附シテ賛成セラレタノデアリマス

以上ヲ以テ討論ハ終リマシテ、採決ニ入リマシタ、先ツ塚本重藏君ノ提出ニ係ル修正案ニ付テ採決ヲ致シマシタ所ガ、少數デアリマシテ否決サレマシタ、豫算原案ニ對スル贊否ニ付テ採決致シマシタ所ガ、多數デアリマシテ可決セラレマシタ、此ノ段御報告致シマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 採決致シマス、三案ノ委員長報告ハ執レモ可決デアリマス、三案ヲ一括シテ委員長報告ノ通り決スルニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(議員起立)
○議長(小山松壽君) 起立議員(拍手起立)

○議長(小山松壽君) 仍テ三案トモ委員長報告ノ通り、全會一致可決確定致シマシタ(拍手) 日程第二、陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス 木村大藏政務次官

第二 陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル法律案

政府ハ支那事變ニ際シ陸軍用又ハ海軍用ノ兵器又ハ造船、造兵若ハ製絨ノ材料物品ノ製造又ハ修理ヲ營ム軍需品工場事業場ニ於テ其ノ材料物品ノ一部不足シ陸軍造兵廠、千住製絨所、陸軍航空工廠資金又ハ海軍工廠資金ノ各特別會計ニ屬スル材料物品ヲ供給スルニ非ザレバ當該製造又ハ修理ヲ完成シ得ザル場合ニ於テ特ニ必要アルトキハ陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ當該特別會計ノ經營ニ妨ナキ限リ當該事業主ニ對シ當該特別會計ニ屬スル材料物品ヲ賣拂フコトヲ得

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(政府委員木村正義君登壇)
○政府委員(木村正義君) 只今議題トナリマシタ陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス

今次ノ事變ニ際シマシテ、陸海軍用ノ兵器等ノ調達並ニ修理ノ圓滑ヲ期スルコト緊要デアリマスル關係上、軍需品工場事業場ノ事業主ニ對シマシテ、陸海軍用ノ兵器等ノ製造又ハ修理ノ爲ニ、特ニ必要アル場合ニ於キマシテハ、陸軍造兵廠、千住製絨所、陸軍航空工廠資金又ハ海軍工廠資金ノ各特別會計ニ屬スル材料物品ヲ賣拂フコトヲ拓ク必要ガアリマスルノデ、陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特例タル本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ協賛ヲ與ヘラレシコトヲ希望致シマス

○議長(小山松壽君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ政府提出、昭和十五年

年度一般會計歳出入ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外五件委員ニ併セ付託サレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際日程第五ヲ繰上ゲ上程シ、其ノ審議ヲ進メラレシコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシタ、日程第五、癩癰防法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス 吉田厚生大臣

第五 癩癰防法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

癩癰防法中左ノ通改正ス

第三條ノ二 癩患者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ得テ勅令ヲ以テ定ムル醫師ニ就キ生殖ヲ不能ナラシムル手術若ハ處置又ハ妊娠中絶ヲ受クルコトヲ得

癩患者ハ心神喪失者ナルトキハ前項ノ規定ニ依リ許可ノ申請ニ付テハ國民優生法第四條第二項乃至第四項ノ規定ヲ準用ス

第四條第一項中「前條」ヲ「第三條」ニ改ム

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(國務大臣吉田茂君登壇)
○國務大臣(吉田茂君) 只今上程セラレマシタ癩癰防法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ御說明申上ゲマス

癩ハ元來遺傳性疾患デハゴザイマセヌデ、傳染病デアリマスガ、其ノ疾患ノ特殊ノ性質ニ鑑ミマシテ、患者ハ其ノ希望ニ依

リ生殖ヲ不能ナラシムル手術、又ハ妊娠中絶ヲ受ケ得ルコトヲ認メマスルコトハ、洵ニ必要已ムヲ得ナイ所デゴザイマス、過日上程セラレマシテ、目下御審議中ノ國民優生法案中ニ於テ、故ナク生殖ヲ不能ナラシムル手術、又ハ放射線照射ヲ行フコトヲ得ザルコトヲ規定セントスルニ件ヒ、癩患者モ斯ル手術等ヲ受ケ得ルコトヲ、明ニ認ムルヲ適當ト致シマスル爲ニ、右ニ關スル規定ヲ追加スルコトニ致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラシコトヲ希望スル次第デゴザイマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ政府提出、國民優生法案委員ニ併セ付託サレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○服部崎市君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、明日五時定期ヨリ本會議ヲ開クコトヲ望ミマス、ハ是ニテ散會セラレシコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時散會

衆議院議事速記第二十一號

中正誤

段行 誤 正
四九一頁 一石一斗六升 二石一斗六升
四九二頁 一石一斗六升 二石一斗六升
四九三頁 一石一斗六升 二石一斗六升

衆議院議事速記第二十三號
中正誤
五二三頁一段一八行目 高橋義次君ノ前ニ清瀨一郎君ヲ加フ
五二三頁二段二行目 高橋義次君ノ前ニ清瀨一郎君ヲ加フ